

平成 16 年度

人事 権業 教育・啓発
実 施 状 況

新京都府人権教育・啓発推進計画推進本部

目 次

1 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

- (1) 保育所・幼稚園
- (2) 学 校
- (3) 地域社会
- (4) 家 庭
- (5) 企業・職場

2 人権に特に関係する職業従事者に対する研修等の推進

- (1) 教職員・社会教育関係職員
- (2) 医療関係者
- (3) 保健福祉関係者
- (4) 消防職員
- (5) 警察職員
- (6) 公務員
- (7) マスメディア関係者

3 個別の人権問題に関する啓発

- (1) 同和問題
- (2) 女性の人権問題
- (3) 子どもの人権問題
- (4) 高齢者の人権問題
- (5) 障害のある人の人権問題
- (6) 外国人の人権問題
- (7) 患者等の人権問題
- (8) さまざまな人権問題

4 計画の推進策

- (1) 指導者の養成
- (2) 人権教育・啓発資料等の整備
- (3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施
- (4) 国、市町村、民間等との連携
- (5) 調査・研究成果の活用

1 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

(1) 保育所・幼稚園

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
保育所職員研修事業	<p>5月19日</p> <p>27日</p> <p>6月25日</p> <p>30日</p> <p>8月12日</p> <p>11月18日</p> <p>3月17日</p> <p>11月18日</p>	<p>家庭とともに人格形成期にある幼児の養育を担う保育所職員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内容〕 講義</p> <p>「子どもの育ちを保障する豊かな保育環境の創造」 早川 勝廣 大阪教育大学教授</p> <p>「これからの子育て支援」 松村 淳子 府こども未来室長</p> <p>「子どもの視点に立った大人の関わり方」 麻田 知寿子、山下 祐子 きょうとCAP</p> <p>「子どもの視点に立った大人の関わり方」 足立 淳子、山口 陽子、川島 祐子、出井 美智子 ふくちやまCAP</p> <p>「絵本づくりは駅伝」 野坂 勇作 絵本作家</p> <p>「こんな保育室でこどもを育てたい」 辻井 正 辻井こども総合研究所長</p> <p>「問題を抱える子どもの対応」 熊本 敬一 府福知山児童相談所相談判定課長</p> <p>ワークショップ 「こんな保育室でこどもを育てたい」 辻井 正 辻井こども総合研究所長</p> <p>〔会場〕 府立総合社会福祉会館、ルビノ京都堀川、福知山市民会館、峰山総合福祉センター</p> <p>〔参加者〕 536名</p> <p>〔評価〕 グループディスカッションなどの参加型研修の導入や受講者が興味を持ちやすいように、子どもに関わる造詣の深い講師を招く等の工夫をしており、保育所職員の人権意識の高揚につながれた。</p>	こども未来室

(1) 保育所・幼稚園

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
私立幼稚園人権教育研修会	12月10日	<p>園児が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、幼稚園教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内 容〕 講 義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「誰もがいのち輝くために」 村上元宏 綾部市教育委員会社会教育主事兼指導主事</p> <p>〔対 象〕 私立幼稚園の設置者及び園長等</p> <p>〔参加者〕98名 会 場：京都私学会館</p> <p>〔評 価〕 目的に適した研修が実施できた。 人権教育を進める上で、教育内容及び発達段階に即した指導に対して有効な支援となった。</p>	文 教 課

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
私立小・中・高等学校人権教育研修会	12月21日	<p>児童生徒が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内容〕 講義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「職場の男女均等取扱いと次世代育成支援対策について」 横内るり子 京都労働局雇用均等室長</p> <p>〔対象〕 私立小・中・高等学校の設置者及び校長等</p> <p>〔参加者〕 60名</p> <p>〔会場〕 京都私学会館</p> <p>〔評価〕 目的に適した研修が実施できた。 教職員の人権意識の高揚とともに、自らの生き方として人権問題を捉え解決する生徒への実践的態度の育成指導に有効な支援となった。</p>	文教課
私立専修・各種学校人権教育研修会	12月3日	<p>生徒が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内容〕 講義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「職場の男女均等取扱いと次世代育成支援対策について」 横内るり子 京都労働局雇用均等室長</p> <p>対象：私立専修学校・各種学校の設置者及び校長等</p> <p>参加者：81名</p> <p>会場：京都私学会館</p> <p>〔評価〕 目的に適した研修が実施できた。 教職員の人権意識の高揚とともに、自らの生き方として人権問題を捉え解決する生徒への実践的態度の育成指導に有効な支援となった</p>	文教課

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
総合講義：医療技術短期大学	H16.8.30 ～ H16.8.31 計2回	<p>府立医科大学医療技術短期大学学生の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内 容〕 総合講義 テーマ：人権教育に関すること 講 師：坂下裕子・竹中ナミ</p> <p>〔対象者〕 医療短期大学部学生30人</p> <p>〔会 場〕 医科大学図書館ホール</p> <p>〔参加者〕 30人</p> <p>〔評 価〕 対象者全員が参加し、目的に適した実施が図られ、医療に従事する者として常に人権意識を持つことへの意識啓発となった。</p>	府立医科大学
総合講義：医学部看護学科	10月7日 14日 21日 28日 11月11日 18日 25日 12月2日 9日 16日 1月13日 20日 27日 各日2回 計26回	<p>府立医科大学学生の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内 容〕 総合講義 テーマ：人権教育 講 師：本学 非常勤講師 林 美輝</p> <p>〔対象者〕 90人</p> <p>〔会 場〕 看護学学舎</p> <p>〔参加者〕 90人</p> <p>〔評 価〕 目的に適した実施が図られ、医療に従事する者として常に人権意識を持つことへの意識啓発となった。</p>	府立医科大学

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
総合講義：医学部医学科	H16.5.28 ～ H17.2.4 計8回	<p>府立医科大学学生の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内容〕 総合講義 テーマ 同和教育・人権教育 講師：星野一正・徳川輝尚・秋定嘉和・近藤元治</p> <p>〔対象者〕 医学部医学科生(100人)</p> <p>〔会場〕 教養教育</p> <p>〔参加者〕 800名(延べ)</p> <p>〔評価〕 対象者が全員参加医療に従事するものとして初めて受講する人権研修はこれまでの研修とは違って新鮮であったと思われる。</p>	府立医科大学
人権教育授業	前期 平成16年 4月～9月 後期 平成16年 10月～ 17年3月	<p>府立大学学生の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内容〕 教養教育科目 人権論 「人権に関する法理念・制度」 福祉社会学部 中島正雄 教授 「人権の歴史」 文学部 小林啓治 助教授 「人権思想」 福祉社会学部 小野秀生 教授</p> <p>人権論 「文化と人権」 文学部 小松 謙 教授 「社会と人権」 人間環境学部 上野勝代 教授 「自然科学と人権」 農学研究科 松井 裕 教授</p> <p>〔参加者〕 対象 各学部生 前期 113人 後期 156人</p> <p>〔評価〕 15年度より内容を変更し、授業内容の充実・改善を図れた。 人権論を全教員が担当するという理念で広範な教員の担当を可能とした。この理念は、今後ともふだんに追求していかねばならない課題でもある。</p>	府立大学

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育研究指定事業 (人権教育学校研究指定事業)</p>	<p>通 年</p>	<p>人権意識を培うための学校教育のあり方について、幅広い観点から実践的研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に努め、その成果を府内全体の学校に波及</p> <p>京都夢・未来指定(府)</p> <p>〔指定校〕 精華町立川西小学校(平成15・16年度指定) 綾部市立豊里中学校(平成16・17年度指定)</p> <p>〔研究主題〕精華町立川西小学校 「一人一人を大切に作る児童の育成を目指す人権教育の在り方ー気づき・考え・よりよい生き方の出来る川西っ子ー」</p> <p>〔特徴的な研究実践〕 ・11月9日 研究発表会及び授業公開を実施。約150名が出席。研究内容を各校の実態に応じて活用できるよう、CDに収め、参加者に配布 ・児童・保護者へのアンケートによる意識調査の実施・分析・活用 「人権意識調査アンケート」「育てたい子ども像アンケート」 ・気づきを大切にしたい人権学習の構築 環境問題「リサイクル活動」(4年生)、自分探しの旅「君たちはどう生きるか」(6年生)等 ・「人権の日」の設定 毎月第3月曜日に設定。児童が1ヶ月間の生活を振り返り、「自己評価カード」に記入 ・「学級人権宣言」「児童会人権宣言」の作成(4～5月)</p> <p>〔研究主題〕綾部市立豊里中学校 「豊かな感性と豊かな人間性の育成～地域社会とむすぶ人権教育」</p> <p>〔特徴的な研究実践〕 ・地域住民・保護者とともに取り組む学習や体験活動の実施 ゲストティーチャーによる人権学習 6月 1年生：社会福祉協議会の職員(障害者理解のために、車椅子体験) 2年生：中丹東保健所の職員(ハンセン病の正しい理解のために) 3年生：中国籍の地域住民(異文化理解のために、中国の楽器演奏) 11月 3年生：結婚差別、部落差別についての講演を2回実施(地域住民も参加) 交流活動 生徒会を中心として敬老会での合唱、2年生の職場体験学習</p> <p>〔評価〕 精華町立川西小学校・綾部市立豊里中学校 ・市町教委が人権意識を培うための学校教育を推進するため、指定された学校で、幅広い観点から実践的研究が推進された。 川西小学校における「人権の日」の設定、豊里中学校における人権問題についての地域住民との交流活動など、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実が図られている。</p>	<p>学校教育課 (人権教育室)</p>

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育研究指定事業 (人権教育学校研究指定事業)</p>	<p>通年</p>	<p>文部科学省指定(国)</p> <p>〔指定校〕 京都府立東舞鶴高等学校(平成16・17年度指定) 精華町立川西小学校(平成15・16年度指定)</p> <p>〔研究主題〕京都府立東舞鶴高等学校 「つながり、響き合い、『生きる力』をはぐくむ人権教育～校種間連携の推進と効果的な指導方法の工夫改善～」</p> <p>〔特徴的な研究実践〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校種間連携活動の充実 毎月1回の保幼小中高連絡会の実施(人権感覚育成の取組の実践交流、授業公開等) ・高齢者・障害者との交流等の体験的活動の実施 10月 社会福祉施設訪問、車椅子体験、点字学習等 ・世界の貧困を主要テーマとする開発教育の手法を取り入れた人権学習の実施 6月 識字問題について <p>〔研究主題〕精華町立川西小学校 「一人一人を大切にする児童の育成を目指す人権教育の在り方ー気づき・考え・よりよい生き方の出来る川西っ子ー」</p> <p>〔特徴的な研究実践〕</p> <p>京都夢・未来指定(府)の欄に掲載</p> <p>〔評価〕 京都府立東舞鶴高等学校 校種間連携の中で実践交流や授業公開を行うことにより、幼児児童生徒の実態を共有するとともに、効果的な体験的活動の実施により、生徒が主体的に活動する場面を多く提供することができた。</p> <p>精華町立川西小学校 町教委が人権意識を培うための学校教育を推進するため、指定された学校で、幅広い観点から実践的研究が推進され、「人権の日」の設定など、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実が図られている。</p>	<p>学校教育課 (人権教育室)</p>

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育研究指定校事業 (人権教育総合推進地域事業)</p>	<p>通年</p>	<p>基本的人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしたい教育の充実を図り、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を実施</p> <p>文部科学省指定(国)</p> <p>夜久野町(平成14・15・16年度指定)</p> <p>[研究主題] 「学校や地域社会における人権教育をどう進めていくか～学力及びふれあい体験活動の充実をめざして～」</p> <p>[特徴的な研究実践]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校共通 <ul style="list-style-type: none"> 学力診断テスト及び学習意識調査の実施・分析 「人権カルタ」作り 「やくの人権の集い」の開催 12月 町内全小中学生及び地域住民が演劇鑑賞：「花咲き山は花ざかり」(劇団虹っ子) ・夜久野中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病療養所との交流 <ul style="list-style-type: none"> 8月 邑久光明園へ訪問(希望者21人参加) ・「メイク・ア・ウィッシュオブ夜久野中学校」の設立(町民の願いをかなえるボランティア活動) 9月 公園などの清掃活動を実施(全学年でのクリーン作戦に合わせて実施) 1月 筋ジストロフィーを患う中学生の夢の実現へ向けた応援メッセージ作り ・トライアルスリーの実施 <ul style="list-style-type: none"> 10月 2年生の職場体験学習 ・「命」の学習 <ul style="list-style-type: none"> 7月 薬物乱用防止教室 11月 乳幼児との交流(子育て支援センター、保育園訪問)等 ・育英小学校・精華小学校・明正小学校 <ul style="list-style-type: none"> 地域の人とのふれあい体験活動 社会福祉施設との交流(竹毛希望の家・グリーンピラ夜久野への訪問) 体験活動交流フォーラムで地域住民に体験活動の報告 ・その他各小学校の特徴的な取組 <ul style="list-style-type: none"> 育英小：「育英小は花ざかり大作戦」 精華小：交流体験活動(「地球家族の一員として」等々) 明正小：親子人権学習会(手話学習3回) <p>[評価] 町教委が各学校の課題を把握し、一人一人を大切にしたい教育を推進するため、各学校で学力診断テスト及び学習意識調査の実施・分析を進めるなど、学力充実への取組が展開された。 また、ハンセン病療養所との交流活動など、幅広い人権問題に視点を当てた取組や、乳幼児とのふれあい活動等様々な視点から命の大切さについての学習を深めるなど、創意ある取組が展開された。</p>	<p>学校教育課 (人権教育室)</p>

(2) 学校

事業名	実施時期	概要				担当課(室)	
人権教育資料作成 (人権教育指導資料作成)	通年	あらゆる人権問題の解決に向けた態度・技能・能力を育成するため、指導資料や学習教材等を作成し、府内の学校等に提供 【内容】 「人権学習事例集」の作成 地域実態に応じた人権学習の内容の充実に向けて、児童生徒の発達段階や知識、習熟度に応じたより実践的な内容の人権学習事例集を作成 【作成内容】				学校教育課 (人権教育室)	
		局 乙訓	名称 「人権学習事例集 乙訓版」	作成部数 650	配布先 管内小・中学校の全学級、人権教育に関わる関係機関(社会教育関係を含む)		特徴 小・中学校の人権学習にすぐ活用できるように、学習指導案、資料、ワークシートをCDに収納し、添付
		山城	「やましろ人権学習指導事例集」	900	管内小・中学校の全学年、高等学校(2部)、人権教育に関わる関係機関		小・中学校の人権学習にすぐ活用できるように、人権教育全体計画、学習指導案、資料、ワークシートをCDに収納し、添付
		南丹	「人権教育指導事例集 共生社会の実現をめざして」	1000	管内小・中・高・養護学校の全学級、人権教育に関わる関係機関		小・中・高・養護学校連携の下に資料を作成し、各学校に配布 高等学校での人権学習事例も掲載
		中丹	「人権教育推進資料集 ほっと・ハッとハート」	1500	管内小・中・高等学校には全学級、養護学校(15部)、人権教育に関わる関係機関		子どもたちに伝えたい思いとして地域の自主教材を掲載。また、保護者・地域社会と連携して子どもを育てる観点から、「子どもの成長や子ども理解」に関する資料を掲載。高等学校での人権学習事例も掲載
		丹後	「人権学習事例集ー共生社会の実現をめざしてー」	800	管内小・中学校の全学級、幼稚園・高等学校(1部)、人権教育に関わる関係機関		管内全ての小・中学校から提出してもらった実践事例をもとに資料を作成し、各学校に配布

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育資料作成 (人権教育指導資料作成)</p>	<p>通年</p>	<p>「人権教育指導事例集」の分冊版の作成 平成16年3月に作成した「人権教育指導事例集」を、引き続き、児童生徒の発達段階を踏まえて活用するよう、各種会議において指導の徹底を図るため、小・中・高等学校毎の分冊版を作成 〔作成部数〕 4,000部 〔配布先〕 各教育局・府立学校・総合教育センター等</p> <p>〔評価〕 「人権学習事例集」 地域の自主教材を掲載したり、全ての学校から実践事例を収集したりすることにより、地域の実態に応じた資料を作成することができた。 CDの中に、掲載している資料やワークシートを収納し、配布することにより、すぐに人権学習で活用することが可能になった。 人権学習の充実に向けて、校長会・教頭会・人権教育の担当者会議等で、効果的な活用に当たっての周知を図ることができた。</p> <p>「人権教育指導事例集」の分冊版 人権教育の全体計画・年間指導計画作成に向けての指示の徹底を図ることができた。</p>	<p>学校教育課 (人権教育室)</p>
<p>人権教育資料作成 (人権教育進路保障資料作成)</p>	<p>通年</p>	<p>経済的理由で児童生徒が希望進路を断念することがないように、府の援護制度一覧を作成し、府内の学校等に提供 〔内容〕 府の援護制度を一覧にして、家庭訪問等で活用できるよう作成 京都府教育委員会のホームページに掲載 〔作成部数〕 33,000部 〔配布先〕 小・中・府立学校・市町村・保健所等相談機関・教育局等へ配布 小・中・府立学校への配布数：およそ教職員数の倍の部数 〔評価〕 経済的理由で児童生徒が希望進路を断念することがないように、各学校をはじめとして、各種相談機関(隣保館等を含む)への配布も行うなど、援護制度の周知徹底を図った。 より広く府民に援護制度の周知を図ることができるよう、京都府教育委員会のホームページにも掲載し、広く府民に制度を周知することが出来た。</p>	<p>学校教育課 (人権教育室)</p>

(2) 学校

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
教職員研修事業	4～7月 6～8月 5～11月	<p>子どもたちが豊かな人権感覚を身に付けられるよう、教職員自らが豊かな人権意識を持つことや、人権教育に関する知識・技能の向上を図ることを目的として実施</p> <p>〔内 容〕 京都府総合教育センターの研修 (1)初任者研修 540名受講(延べ) 初任者・新規採用者研修講座 「人権教育の基本的な視点」「人権教育の現状と課題」「人権教育の果たす役割 - 同和問題について - 」「人権教育における参加型学習の実際」等 (2)経験年数別研修 1032名受講(延べ) 教職経験2年目・3年目・5年目・10年目・20年目研修講座 「学校教育の今日的課題 不登校児童生徒への理解と援助・指導を中心として 」「子どもの人権問題」「障害のある人の人権問題」「女性の人権問題」等 (3)職能別・領域等研修 466名受講(延べ) 校長・新任部長・主任講座 「人権教育推進上の今日的課題」「今日的な教育課題と部長・主任の職務と役割」 人権教育講座 「今後の人権教育の展開」「実践報告」 大学への派遣研修 (1)派遣大学：京都教育大学 (2)派遣教諭及び研究主題 中学校教諭 「自ら興味を持って人権学習に取り組むための工夫 意識調査の考察より 」「 高等学校教諭 「情報化社会における人権教育～メディア・リテラシーの視点を取り入れた人権学習～」</p> <p>〔評 価〕 京都府総合教育センターの研修 初任者をはじめ経験年数別に研修を積み上げていくことにより、また職能別に研修を深めることにより、人権教育に関する知識・技能の向上に努めることができた。 個別の人権問題については、「同和問題」「女性」「子ども」「障害のある人」の人権問題について研修することができた。</p> <p>大学への派遣研修 京都府の人権教育推進の中核として、その指導的役割を果たすことを期待する人材の育成ができた。</p>	学校教育課

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要	担当
人権啓発活動再委託事業	通 年	<p>市町村が行う地域に密着したきめ細かい人権啓発の取組に対して行う財政支援 (国庫委託による人権啓発活動の市町村への再委託)</p> <p>〔対象事業〕 講演会の開催 資料の作成・配布 放送番組の提供 新聞広告の掲載 研修会の開催 その他(イベント、啓発グッズ作成等)</p> <p>〔取組市町村〕 28 市町村</p> <p>〔取組内容〕 講演会 16 事業 資料の作成・配布 35 事業 研修会の開催 5 事業 地域人権啓発活動活性化事業 3 事業 その他(イベント、啓発グッズ作成等) 27 事業</p> <p>〔評価〕 府民に最も身近な市町村等が実施する人権教育・啓発施策に係る財源として、大きな役割を果たしている。</p>	人権啓発推進室
人権問題啓発補助事業	通 年	<p>市町村が行う地域に密着したきめ細かい人権啓発の取組に対して行う財政支援 (市町村の啓発事業に対する府の単独補助)</p> <p>〔対象事業〕 人権問題に関する講演会及び研修会 人権問題に関する啓発資料の作成 その他(知事特認事業)</p> <p>〔取組市町村〕 36 市町村</p> <p>〔取組内容〕 人権問題に関する講演会及び研修会 103 事業 人権問題に関する啓発資料の作成 54 事業 その他(知事特認事業) 64 事業</p> <p>〔補助率〕 1 / 2</p> <p>〔評価〕 府民に最も身近な市町村等が実施する人権教育・啓発施策に係る財源として、大きな役割を果たしている。</p>	人権啓発推進室

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育推進事業 (学習教材・啓発資料整備)</p>	<p>通 年</p>	<p>生涯の各時期に応じて、各人の自発的意思に基づき、人権に関する学習ができるよう、学習教材や啓発資料などの整備を推進</p> <p>〔内 容〕 学校、地域社会、家庭、企業・職場等あらゆる場面で人権について学ぶことができるよう、視聴覚教材をはじめとする学習教材を整備</p> <p>〔作成内容〕 (1) 府民の人権に関する学習活動を支援する指導者用資料の充実 「人権教育資料活用事例集補助教材」(平成17年3月末発行)</p> <p>〔配布部数〕 7,000部</p> <p>〔配布先〕 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校(P T A分を含む)、府立学校(P T A分を含む)、府立教育機関、社会教育関係団体等</p> <p>(2) 家庭教育を支援するための啓発資料等の充実 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-啓発資料」 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-活用資料」</p> <p>〔配布部数〕 啓発資料 50,000部 活用資料 10,000部</p> <p>〔配布先〕 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校、公私立保育所(園)、幼稚園、府立学校、府立教育機関、各教育局、相談機関(児童相談所等)、社会教育関係団体、小児科医院・産婦人科医院等</p> <p>(3) 視聴覚教材の整備 16mmフィルム・ビデオの活用</p> <p>〔視聴者数〕 12,769名</p> <p>〔評 価〕 「人権教育資料活用事例集」をより有効に活用するものとして補助教材を発行したことにより、よりきめ細やかな人権教育の推進に繋がった。 家庭教育の啓発資料は、活用資料によりきめ細かな啓発の推進につなげることができた。 利用数の多い人権教育分野の視聴覚教材の充実を図った。</p>	<p>社会教育課</p>

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概	要	担当課(室)																								
森と小川の教室推進事業 (みどりキャンプ・さわやか グリーンキャンプ)	5月 ~ 11月	障害のある子どもも一緒になって自然の中で共同生活を行うことを通して、心のふれあいを深めながら支援する心を培うなど、ノーマライゼーションの一層の進展を図る。また、多様な自然体験活動をととして、自立心、主体性を培うとともに、自然や環境に対する豊かな感性を養うことを目的として実施		社会教育課																								
	[内容]																											
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">みどりキャンプ</td> <td style="text-align: center;">さわやかグリーンキャンプ</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>るり溪少年自然の家及びその周辺</td> <td>南山城少年自然の家及びその周辺</td> </tr> <tr> <td>期間</td> <td>7/31(土)~8/7(土)7泊8日</td> <td>7/27(火)~30(金)3泊4日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>小学4年生以上・中学生28名及び盲・聾・養護学校小学部4年生以上中学部の児童生徒10名 計38名</td> <td>小学校4年生以上・中学生13名及び養護学校小学部4年生以上・中学部児童生徒4名 計17名</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・カヌー体験(和知川) ・キャンプファイヤー ・その他自然体験活動 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・野外ゲーム ・ハンドクラフト ・その他自然体験活動 </td> </tr> <tr> <td>指導者</td> <td> 桃山学院大学 石田易司教授 京都教育大学 板東忠司教授 </td> <td>桃山学院大学 石田易司教授</td> </tr> <tr> <td>運営スタッフ等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ユースカウンセラー(臨床心理学及び社会福祉学科等の大学生等) ・高校生ボランティア ・保健衛生スタッフ ・るりの会(るり溪のボランティア団体) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・桃山学院大学社会福祉学科研究グループ学生スタッフ ・府立高校ボランティア ・教職員ボランティアスタッフ ・看護スタッフ ・当所ボランティアスタッフ </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議 第1回 5/27 第2回 9/28 ・スタッフ研修会 6/19~20 (1泊2日) ・親子説明会 7/10~11(1泊2日) ・体験発表会 8/7 ・参加者の集い 11/20~21 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者とボランティアスタッフの集い 7/11(1日) ・参加者・保護者とボランティアスタッフ交流会 9/11~12(1泊2日) </td> </tr> </table>		みどりキャンプ		さわやかグリーンキャンプ	実施場所	るり溪少年自然の家及びその周辺	南山城少年自然の家及びその周辺	期間	7/31(土)~8/7(土)7泊8日	7/27(火)~30(金)3泊4日	参加人数	小学4年生以上・中学生28名及び盲・聾・養護学校小学部4年生以上中学部の児童生徒10名 計38名	小学校4年生以上・中学生13名及び養護学校小学部4年生以上・中学部児童生徒4名 計17名	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・カヌー体験(和知川) ・キャンプファイヤー ・その他自然体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・野外ゲーム ・ハンドクラフト ・その他自然体験活動 	指導者	桃山学院大学 石田易司教授 京都教育大学 板東忠司教授	桃山学院大学 石田易司教授	運営スタッフ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ユースカウンセラー(臨床心理学及び社会福祉学科等の大学生等) ・高校生ボランティア ・保健衛生スタッフ ・るりの会(るり溪のボランティア団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃山学院大学社会福祉学科研究グループ学生スタッフ ・府立高校ボランティア ・教職員ボランティアスタッフ ・看護スタッフ ・当所ボランティアスタッフ 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議 第1回 5/27 第2回 9/28 ・スタッフ研修会 6/19~20 (1泊2日) ・親子説明会 7/10~11(1泊2日) ・体験発表会 8/7 ・参加者の集い 11/20~21 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者とボランティアスタッフの集い 7/11(1日) ・参加者・保護者とボランティアスタッフ交流会 9/11~12(1泊2日) 		
		みどりキャンプ	さわやかグリーンキャンプ																									
	実施場所	るり溪少年自然の家及びその周辺	南山城少年自然の家及びその周辺																									
	期間	7/31(土)~8/7(土)7泊8日	7/27(火)~30(金)3泊4日																									
	参加人数	小学4年生以上・中学生28名及び盲・聾・養護学校小学部4年生以上中学部の児童生徒10名 計38名	小学校4年生以上・中学生13名及び養護学校小学部4年生以上・中学部児童生徒4名 計17名																									
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・カヌー体験(和知川) ・キャンプファイヤー ・その他自然体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・テント設営、野外炊飯 ・野外ゲーム ・ハンドクラフト ・その他自然体験活動 																									
	指導者	桃山学院大学 石田易司教授 京都教育大学 板東忠司教授	桃山学院大学 石田易司教授																									
	運営スタッフ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ユースカウンセラー(臨床心理学及び社会福祉学科等の大学生等) ・高校生ボランティア ・保健衛生スタッフ ・るりの会(るり溪のボランティア団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃山学院大学社会福祉学科研究グループ学生スタッフ ・府立高校ボランティア ・教職員ボランティアスタッフ ・看護スタッフ ・当所ボランティアスタッフ 																									
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議 第1回 5/27 第2回 9/28 ・スタッフ研修会 6/19~20 (1泊2日) ・親子説明会 7/10~11(1泊2日) ・体験発表会 8/7 ・参加者の集い 11/20~21 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者とボランティアスタッフの集い 7/11(1日) ・参加者・保護者とボランティアスタッフ交流会 9/11~12(1泊2日) 																										
[評価]																												
自然の中での共同生活を通じて「心のバリアフリー」を実現できるきっかけづくりとなった。																												
府立高校生ボランティアが活躍し、このキャンプで育った高校生ボランティアが大学生となりユーススタッフとして活躍している。																												

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要	担当課(室)																											
<p>高校ボランティア活動推進事業</p>	<p>通年</p>	<p>府立高等学校の中から「高校生ボランティア活動地域推進校」を指定し、府内各地域における高校生のボランティア活動を支援することにより、社会性や豊かな人間性をはぐくむため、高校生の社会参加を促進するとともに、高校生を中心とした地域におけるボランティア活動の振興を図ることを目的として実施</p> <p>〔内容〕</p> <p>(1) 推進会議 学校、生徒会、社会教育関係団体、市町村教育委員会等の代表で構成し、全体計画の立案、事業の進行管理等について協議、年2回程度開催</p> <p>(2) 実践活動 地域のスポーツ・文化活動等体験活動への支援、公共施設等環境保全、福祉施設訪問、国際交流・協力活動、募金・収集活動等ボランティア活動の実践 また、府・市町村の体験活動等情報センターに登録するとともに、「土曜日子ども活動支援事業」等の活動にボランティアとして登録</p> <p>(3) 情報提供 校内ではボランティア活動に関する「生徒会だより」等の発行、校外ではボランティア活動情報誌の発行</p> <p>〔実績〕</p> <table border="1" data-bbox="712 783 1895 1038"> <thead> <tr> <th>高校</th> <th>指定年</th> <th>実践活動等の特徴的な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木津</td> <td></td> <td>南山城養護のふれあい交流活動、さわやかグリーンキャンプへの参加(11名)</td> </tr> <tr> <td>園部</td> <td></td> <td>みどりキャンプ・天文教室(るり溪自然の家)の行事への参加(15名)</td> </tr> <tr> <td>宮津</td> <td></td> <td>養護学校、障害のある子どもとの交流等(26名)</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td></td> <td>老人ホーム・保育所訪問、読み聞かせ、ウイキッド事業等(208名)</td> </tr> <tr> <td>乙訓</td> <td></td> <td>(財)長岡京緑の協会と「みどりの跡-ター」事業登録(73名)</td> </tr> <tr> <td>西宇治</td> <td></td> <td>さわやかグリーンキャンプへの参加(19名)、ボランティアセミナー参加(11名)</td> </tr> <tr> <td>城陽</td> <td></td> <td>城陽サマースクールへの参加(5名)</td> </tr> <tr> <td>綾部</td> <td></td> <td>土曜日子ども活動支援事業(加-指導)に参加(10名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔評価〕 府立高校ボランティアの経験を積んだ高校生が、地域で行われる様々な体験活動にボランティアとして協力した。 みどりキャンプ・さわやかグリーンキャンプ等へ高校生ボランティアが参加することにより、障害及び障害のある児童・生徒に対する正しい理解と認識を深めるなど、社会性や豊かな人間性をはぐくむとともに、進路意識の高揚を図り、卒業後もユーススタッフとして活躍する等の広がりが見られた。</p>	高校	指定年	実践活動等の特徴的な内容	木津		南山城養護のふれあい交流活動、さわやかグリーンキャンプへの参加(11名)	園部		みどりキャンプ・天文教室(るり溪自然の家)の行事への参加(15名)	宮津		養護学校、障害のある子どもとの交流等(26名)	網野		老人ホーム・保育所訪問、読み聞かせ、ウイキッド事業等(208名)	乙訓		(財)長岡京緑の協会と「みどりの跡-ター」事業登録(73名)	西宇治		さわやかグリーンキャンプへの参加(19名)、ボランティアセミナー参加(11名)	城陽		城陽サマースクールへの参加(5名)	綾部		土曜日子ども活動支援事業(加-指導)に参加(10名)	<p>社会教育課</p>
高校	指定年	実践活動等の特徴的な内容																												
木津		南山城養護のふれあい交流活動、さわやかグリーンキャンプへの参加(11名)																												
園部		みどりキャンプ・天文教室(るり溪自然の家)の行事への参加(15名)																												
宮津		養護学校、障害のある子どもとの交流等(26名)																												
網野		老人ホーム・保育所訪問、読み聞かせ、ウイキッド事業等(208名)																												
乙訓		(財)長岡京緑の協会と「みどりの跡-ター」事業登録(73名)																												
西宇治		さわやかグリーンキャンプへの参加(19名)、ボランティアセミナー参加(11名)																												
城陽		城陽サマースクールへの参加(5名)																												
綾部		土曜日子ども活動支援事業(加-指導)に参加(10名)																												

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要	担当課(室)																																																																								
京のわくわく体験推進事業	通 年	<p>地域社会で子どもを育てる環境の充実、人間性豊かな青少年の育成を目指し、様々な体験活動を通じて、障害のある子どもたちも一緒に地域の学生、高齢者など幅広い世代の人たちや子ども同士の交流を行う事業を委託実施することにより、子どもたちが地域社会で活動できる体制の整備を推進</p> <p>〔内 容〕</p> <p>(1) 世代間交流支援事業 地域の伝統行事や伝統工芸品作りなど体験活動を通じて、豊富な経験を持つ地域の高齢者や職業の人などと交流を行ったり、キャンプや野外活動において学生や青年のボランティアと交流をしたりするなど、障害のある子どもたちも一緒に地域の多くの異世代の人たちとの交流を推進</p> <p>(2) 子ども同士交流支援事業 地域で、障害のある子どもたちも一緒に工作や理科実験、音楽など多様な体験活動を行ったり、ともに過ごす居場所を作ったりすることにより、地域社会での子どもたちの交流を推進</p> <p>(3)15の市町村教育委員会及び市町村教育委員会が推薦する実行委員会に委託</p> <table border="1" data-bbox="734 772 1883 1214"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>長岡京市</th> <th>大山崎町</th> <th>宇治市</th> <th>八幡市</th> <th>井手町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業名</td> <td>長岡京市京のわくわく体験推進事業</td> <td>大山崎地区わくわく体験推進事業</td> <td>宇治サタデークラブ</td> <td>カエルのたまご事業</td> <td>なかま・地域が集う!IDE わくわく体験</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>361(103)</td> <td>123(62)</td> <td>454(179)</td> <td>937(203)</td> <td>289(0)</td> </tr> <tr> <th>市町村名</th> <th>山城町</th> <th>精華町</th> <th>笠置町</th> <th>八木町</th> <th>園部町</th> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>子どもふれあい体験事業</td> <td>子どもすこやか体験事業</td> <td>笠置ふれあい体験</td> <td>八木町ふれあい交流事業</td> <td>ふるさと園部農業小学校</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>566(81)</td> <td>1,996(62)</td> <td>336(1)</td> <td>339(36)</td> <td>192(7)</td> </tr> <tr> <th>市町村名</th> <th colspan="5">福知山市</th> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>わく!!!ゆく!!!教室</td> <td>川口わくわく体験教室</td> <td>日新ふるさと体験教室</td> <td>北陵親子ふれあい体験教室</td> <td>親子わくわくチャレンジ教室</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>202(0)</td> <td>24(0)</td> <td>144(4)</td> <td>75(0)</td> <td>211(0)</td> </tr> <tr> <th>市町村名</th> <th>福知山市</th> <th>綾部市</th> <th>夜久野町</th> <th>大江町</th> <th>野田川町</th> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>親子わくわくチャレンジ教室</td> <td>ふるさとふれあい交流事業</td> <td>世代間交流支援事業</td> <td>子どもどうし交流支援事業</td> <td>野田川町・京のわくわく</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>89(2)</td> <td>230(16)</td> <td>291(8)</td> <td>211(3)</td> <td>169(9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()の数字は障害のある児童・生徒の参加数</p> <p>〔評 価〕 多様な体験活動をとおして障害のある子どもたちとの交流を深めることができた。 京都らしい体験活動など特色ある活動が展開できた。</p>	市町村名	長岡京市	大山崎町	宇治市	八幡市	井手町	事業名	長岡京市京のわくわく体験推進事業	大山崎地区わくわく体験推進事業	宇治サタデークラブ	カエルのたまご事業	なかま・地域が集う!IDE わくわく体験	参加者数	361(103)	123(62)	454(179)	937(203)	289(0)	市町村名	山城町	精華町	笠置町	八木町	園部町	事業名	子どもふれあい体験事業	子どもすこやか体験事業	笠置ふれあい体験	八木町ふれあい交流事業	ふるさと園部農業小学校	参加者数	566(81)	1,996(62)	336(1)	339(36)	192(7)	市町村名	福知山市					事業名	わく!!!ゆく!!!教室	川口わくわく体験教室	日新ふるさと体験教室	北陵親子ふれあい体験教室	親子わくわくチャレンジ教室	参加者数	202(0)	24(0)	144(4)	75(0)	211(0)	市町村名	福知山市	綾部市	夜久野町	大江町	野田川町	事業名	親子わくわくチャレンジ教室	ふるさとふれあい交流事業	世代間交流支援事業	子どもどうし交流支援事業	野田川町・京のわくわく	参加者数	89(2)	230(16)	291(8)	211(3)	169(9)	社会教育課
市町村名	長岡京市	大山崎町	宇治市	八幡市	井手町																																																																						
事業名	長岡京市京のわくわく体験推進事業	大山崎地区わくわく体験推進事業	宇治サタデークラブ	カエルのたまご事業	なかま・地域が集う!IDE わくわく体験																																																																						
参加者数	361(103)	123(62)	454(179)	937(203)	289(0)																																																																						
市町村名	山城町	精華町	笠置町	八木町	園部町																																																																						
事業名	子どもふれあい体験事業	子どもすこやか体験事業	笠置ふれあい体験	八木町ふれあい交流事業	ふるさと園部農業小学校																																																																						
参加者数	566(81)	1,996(62)	336(1)	339(36)	192(7)																																																																						
市町村名	福知山市																																																																										
事業名	わく!!!ゆく!!!教室	川口わくわく体験教室	日新ふるさと体験教室	北陵親子ふれあい体験教室	親子わくわくチャレンジ教室																																																																						
参加者数	202(0)	24(0)	144(4)	75(0)	211(0)																																																																						
市町村名	福知山市	綾部市	夜久野町	大江町	野田川町																																																																						
事業名	親子わくわくチャレンジ教室	ふるさとふれあい交流事業	世代間交流支援事業	子どもどうし交流支援事業	野田川町・京のわくわく																																																																						
参加者数	89(2)	230(16)	291(8)	211(3)	169(9)																																																																						

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権教育推進事業 (人権教育指導者研修会)	8月25日 11月25日	<p>京都府内の社会教育関係職員等を対象に、地域の実情に即した学習課題を明確にしながら、あらゆる人権問題の解決に役立つ学習活動を推進するために必要な指導者の資質向上を目的とする研修会を実施</p> <p>[内 容]</p> <p>研修会の実施</p> <p>(1)研修会()</p> <p>講 義 「これからの人権教育・啓発の課題」石元 清英 関西大学社会学部教授</p> <p>講 義 ・ワークショップ 事例展開「『人権教育資料活用事例集』の有効活用について」 社会教育課</p> <p>(2)研修会()</p> <p>講 義 「識字教育の新たな展開に向けて」内山 一雄 前天理大学教授</p> <p>講 義 ・ワークショップ グループ討議 「参加型学習の手法を考える」 社会教育課</p> <p>[対象者] 社会教育主事、社会教育指導員、人権教育関係職員、識字学級指導者、学校教育関係者等</p> <p>[参加者] 研修会() 71名 研修会() 69名</p> <p>[評 価] 参加型学習の理解を深めることにより、指導者の資質向上に資することができた。 研修の成果を各教育局の人権教育行政担当者協議会に反映させた。</p>	社会教育課

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要			担当課(室)	
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会)	6月～3月	各教育局が、人権教育指導者研修会等の成果を踏まえながら、関係機関との連携を図り、人権に関する課題解決の方策についての研究協議等を行うとともに、管内市町村の人権に関する取組状況の情報交換を実施 【内容】 地域の実情に応じた研究協議会・講演会の開催 【対象者】 各市町村社会教育・人権教育行政担当者、社会教育委員、学校教育関係者、同和教育・人権教育推進協議会指導者等 【開催状況】			社会教育課	
		乙訓	第1回 9/27 ・研究協議	第2回 1/27 ・ワークショップと講義 「ハンセン病と人権～診療所との交流を通して～」 夜久野町教育委員会		第3回 3/3 ・研究協議 ・情報交換
		山城	10/27 ・研究協議 ・情報交換	12/22 ・実践報告 「加茂町の人権教育について」 加茂町教育委員会 「子どもへの人権教育について」 八幡市立中央小学校 ・研究協議、情報交換		2/7 ・講義 ・「これからの人権教育のあり方」 講師：前山城町教育委員会 教育長 中津川敬朗 ・研究協議、情報交換
		南丹	9/29 ・実践報告 「人権教育における参加型学習の取組について-ワークショップ『人権教育資料』を活用した学習-」 亀岡市教育委員会	11/30 ・実践報告 「わたしメッセージ溢れるまちづくり」 京都府立農芸高等学校 ・研究協議、情報交換		1/14 ・講演会 「これからの人権教育に期待すること-阪神大震災が教えたもの-」 講師 芦屋市立上宮川センター 館長 中尾 由喜雄 ・事業紹介
		中丹	6/18 ・実践報告 「公民館における人権教育の推進について」 夜久野町教育委員会 ・研究協議	8/20 ・講演「これからの人権教育」 講師：元京都府教育庁指導部長太田信之 ・実践報告 「人権問題に関する意識調査から」 福知山市教育委員会		12/17 ・講演「亀岡市の人権教育-市民が進める人権学習-」 亀岡市教育委員会 ・研究協議

(3) 地域社会

事業名	実施時期	概要			担当課(室)	
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会)	通 年	〔開催状況〕			社会教育課	
			第 1 回	第 2 回		第 3 回
		丹後 7/21 ・研究協議 ・情報交換		11/26 ・講演とワークショップ 「実践に結びつく人権学習 のために『ワークショップ』と学 習促進者の役割」 講師：(株)グローバルコン テンツ代表取締役 岩山 仁 ・研究協議		1/26 ・研究協議 ・情報交換
〔参加者〕 374名 〔評価〕 人権教育指導者研修会と連携した取組をするとともに、管内市町村の取組状況の情報交換を通 じて、各市町村における指導者の取組内容の充実につなげることができた。						

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
トータルアドバイスセンター 設置事業	通年	<p>不登校をはじめとする学校不適應問題及び子育てやしつけなどの家庭教育について悩みや不安を抱く、児童生徒及びその保護者に対して、適応指導相談員(精神科医、臨床心理専門家、スクールカウンセラー経験者)、家庭教育カウンセラー(臨床心理専門家)、教育相談指導員(京都府総合教育センター研究主事)が課題解決のための援助及び助言を目的とする総合的な教育相談を実施</p> <p>〔内容〕 教育相談</p> <p>〔実施方法・相談時期〕 電話教育相談 毎日 8:30～20:30(祝日法に基づく休日及び年末年始の休日を除く) 来所教育相談 毎週月～金 10:00～17:00(祝日法に基づく休日及び年末年始の休日を除く) 巡回教育相談 毎月1～2回程度</p> <p>〔相談件数〕 4,300件(延べ)</p> <p>〔評価〕 児童生徒、保護者との定期的、継続的な心理面接を実施し、児童生徒や保護者に対して、課題の早期発見、早期の適切な対応に資する教育相談を実施することができた。</p>	学校教育課 社会教育課

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要				担当課(室)	
家庭教育支援事業 (教育局別家庭教育フォーラム)	通 年	各教育局が、すべての教育の出発点である家庭教育の在り方を見つめ直し、家庭教育に関する学習機会を提供するため、各教育局管内の実情に応じて、企業関係者、学識経験者、関係機関・団体等の参画を得て組織した企画委員会が中心となって家庭における父親の役割の重要性や家庭教育の在り方について、父親だけでなく母親も一緒になって協議する家庭教育フォーラムを実施 [内 容] 家庭教育フォーラム [実施内容]				社会教育課	
		局	実施日	場 所	主 な 内 容		参加者数
		乙訓	1/23	京都府立婦人教育会館	寸劇・対話 「親の言葉かけが子どもをかえる～日常家庭の様子の劇化を通して～」協力：京都府立西乙訓高等学校演劇部 講 演 「もう一度見直そう家庭の在り方～『舞鶴学園における家族の勉強』を通して～」 講師 舞鶴学園園長 桑原 教修 氏		234 人
		山城	1/23	宇治田原町総合文化センター	オープニング 合唱 京都府立城陽養護学校通学高等部 子どもとトーク 「子どもと話そう！家庭のこと 家族のこと」 ア 小中学生の部 加茂町少年少女合唱団 イ 高校生の部 南八幡高等学校演劇部 ウまとめ 龍谷大学大学院教授 友久 久雄 氏		420 人
南丹	11/13	美山文化ホール	聴いてみよう ～中高校生からのメッセージ～ ・平成16年度「少年の主張」 京都府大会知事賞 「命の重みを感じながら」美山町立美山中学校生徒 ・演 奏 第54回関西吹奏楽部コンクール 高校小編成の部優秀賞 京都府立園部高校吹奏楽部 講 演 「育ちを支えるもの」 大津市教育相談センター 講師 相談員・指導主事 三原 透 氏	295 人			

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要				担当課(室)					
家庭教育支援事業 (教育局別家庭教育フォーラム)	通年	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 304 792 331">局</th> <th data-bbox="792 304 889 331">実施日</th> <th data-bbox="889 304 1043 331">場所</th> <th data-bbox="1043 304 1756 331">主な内容</th> <th data-bbox="1756 304 1895 331">参加者数</th> </tr> </thead> </table>				局	実施日	場所	主な内容	参加者数	社会教育課
		局	実施日	場所	主な内容	参加者数					
		中丹	10/2	府立舞鶴勤労者福祉会館	みんなでトーク 「もっていますか?子どもへの一言を」 ~会場の皆さんと一緒に~ 講演 「生きること・学ぶこと・働くこと」 -子どもの幸せ親しだい- 講師 岡山大学大学院教授 山口 茂嘉 氏	345 人					
丹後	12/11	京都府丹後文化会館	講演 「親であることが辛いときに」 ~子育ての現代的課題~ 講師 滋賀大学教育学部教授 住岡 英毅 氏 実践発表 ・「あたたかい家庭・地域・幼稚園で育つ子どもたち」 京丹後市立網野幼稚園PTA会長 田茂井 勇人 氏 ・「地域ぐるみで子育てを」 大阪府泉南郡岬町地域教育協議会 子育て委員会委員長 嶋坂 美和 氏 事務局長 宮川 益和 氏	368 人							
[参加者] 1,662名 [評価] 子どもの視点から家庭の在り方について考えるフォーラムにすることができた。 府立養護学校生徒の作詞・作曲による歌声やダンス発表や、命の大切さを訴えた中学生の作文発表など、思春期の子どもたちのいきいきとした姿をとおして障害のある児童・生徒への理解や人権について保護者が考える機会となった。 家庭教育に悩みや不安のある親や乳幼児を持つ親、父親、これから親になる青年などの参加を得ることにより、児童虐待の要因となっている育児の孤立化を防ぎ育児不安を解消するなど子育てを支援する学習機会となった。											

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)								
家庭教育支援事業 (親子の体験学習)	通年	<p>南山城少年自然の家、るり溪少年自然の家、婦人教育会館の独自のノウハウを持つ府立社会教育施設を活用し、木工、自然散策、野外料理などの親子体験や親子ふれあい活動等を実施し、小学生を中心にした共同体験をとおりて親子の対話を深めるとともに、親同士の交流と子育てに関する情報交換や仲間づくりを促進</p> <p>〔実施内容〕</p> <table border="1" data-bbox="696 443 1895 898"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 443 846 475"></th> <th data-bbox="846 443 1895 475">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 475 846 643">南山城少年自然の家</td> <td data-bbox="846 475 1895 643"> 第1回(8/13~15) 自然体験生活と小さな冒険(加-、アチリ-) 参加者:15家族43名 第2回(1/28~30) 厳冬の冬山に挑戦して霧氷体験 参加者:3家族10名、指導者3名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 643 846 810">るり溪少年自然の家</td> <td data-bbox="846 643 1895 810"> 第1回(5/29~30) 日本の伝統文化に親しむ~ウルクホ-トの作陶~、自然体験~夏野菜の栽培~ 参加者:61名 第2回(10/16~17) 木工教室~テーブルの制作~、自然体験~サマワの収穫~ 参加者:32名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 810 846 898">婦人教育会館</td> <td data-bbox="846 810 1895 898"> 陶芸教室、植物観察・採集・標本づくり、木工教室、ビーズでかざろう、そば打ち、親子で音楽を楽しもう 参加者:延べ381名 </td> </tr> </tbody> </table> <p>〔評価〕 親と子が様々な活動・体験をとおりて絆を深めることができた。 親同士の子育てについての情報交換や仲間づくりにつながった。</p>		内容	南山城少年自然の家	第1回(8/13~15) 自然体験生活と小さな冒険(加-、アチリ-) 参加者:15家族43名 第2回(1/28~30) 厳冬の冬山に挑戦して霧氷体験 参加者:3家族10名、指導者3名	るり溪少年自然の家	第1回(5/29~30) 日本の伝統文化に親しむ~ウルクホ-トの作陶~、自然体験~夏野菜の栽培~ 参加者:61名 第2回(10/16~17) 木工教室~テーブルの制作~、自然体験~サマワの収穫~ 参加者:32名	婦人教育会館	陶芸教室、植物観察・採集・標本づくり、木工教室、ビーズでかざろう、そば打ち、親子で音楽を楽しもう 参加者:延べ381名	社会教育課
	内容										
南山城少年自然の家	第1回(8/13~15) 自然体験生活と小さな冒険(加-、アチリ-) 参加者:15家族43名 第2回(1/28~30) 厳冬の冬山に挑戦して霧氷体験 参加者:3家族10名、指導者3名										
るり溪少年自然の家	第1回(5/29~30) 日本の伝統文化に親しむ~ウルクホ-トの作陶~、自然体験~夏野菜の栽培~ 参加者:61名 第2回(10/16~17) 木工教室~テーブルの制作~、自然体験~サマワの収穫~ 参加者:32名										
婦人教育会館	陶芸教室、植物観察・採集・標本づくり、木工教室、ビーズでかざろう、そば打ち、親子で音楽を楽しもう 参加者:延べ381名										

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育推進事業 (学習教材・啓発資料整備) 【再掲】</p>	<p>通 年</p>	<p>生涯の各時期に応じて、各人の自発的意思に基づき、人権に関する学習ができるよう、学習教材や啓発資料などの整備を推進</p> <p>〔内 容〕 学校、地域社会、家庭、企業・職場等あらゆる場面で人権について学ぶことができるよう、視聴覚教材をはじめとする学習教材を整備</p> <p>〔作成内容〕 (1) 府民の人権に関する学習活動を支援する指導者用資料の充実 「人権教育資料活用事例集補助教材」(平成17年3月末発行)</p> <p>〔配布部数〕 7,000部</p> <p>〔配布先〕 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校(P T A分を含む)、府立学校(P T A分を含む)、府立教育機関、社会教育関係団体等</p> <p>(2) 家庭教育を支援するための啓発資料等の充実 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-啓発資料」 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-活用資料」</p> <p>〔配布部数〕 啓発資料 50,000部 活用資料 10,000部</p> <p>〔配布先〕 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校、公私立保育所(園)、幼稚園、府立学校、府立教育機関、各教育局、相談機関(児童相談所等)、社会教育関係団体、小児科医院・産婦人科医院等</p> <p>(3) 視聴覚教材の整備 16mmフィルム・ビデオの活用</p> <p>〔視聴者数〕 12,769名</p> <p>〔評 価〕 「人権教育資料活用事例集」をより有効に活用するものとして補助教材を発行したことにより、よりきめ細やかな人権教育の推進に繋がった。 家庭教育の啓発資料は、活用資料によりきめ細かな啓発の推進につなげることができた。 利用数の多い人権教育分野の視聴覚教材の充実を図った。</p>	<p>社会教育課</p>

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
児童虐待防止対策推進事業	3月25日	<p>児童虐待の予防等を図るため、関係機関によるネットワークを構築して研修等を実施した。</p> <p>保健機関等職員研修 [内 容] 講義及びグループワーク [テーマ] 「虐待がおこらない地域づくりのために」 山田 和子 和歌山県立医科大学保健看護学部教授 尾崎 米厚 鳥取大学医学部助教授 [参加者] 保健所、市町村職員 23名 [評 価] 保健関係職員が虐待未然防止対策の方向性について考える機会になった。研修内容をもとに地域の具体的な事業に展開できるよう、保健所と市町村の連携が必要。時期的に参加が難しい市町村が多く、開催時期についての検討が必要。</p>	こども未来室
	3月11日	<p>地域別研修 [南部会場] [内 容] 講 義 [テーマ] 「虐待未然防止に係る関係機関とのネットワークについて」 川畑 隆 京都児童相談所判定課長 58名 [会 場] 乙訓保健所 [参加者] 58名</p>	
	9月14日	<p>[北部会場] [内 容] 講 義 [テーマ] 「児童虐待・育児不安の家庭の見方」 阿部 昇 こころのケアステーション生きる力支援センター [会 場] 中丹東保健所 [参加者] 39名 [評 価] 市町村の保健関係者の参加が多く、意識の高さがうかがえた。虐待についての理解を深められたが、今後各市町村で具体的な取り組みに発展させることが課題。</p>	

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
児童虐待防止対策推進事業	3月25日 3月26日	<p>ワークショップ 〔内容〕 ワークショップ 〔テーマ〕 「地域子育てワークショップ」 きょうとCAP 〔対象者〕 一般府民、関係職員等 〔参加者〕 45名 〔評価〕 子ども自身の権利とエンパワメントについて、理解が深まった。 参加者の満足度は高かったが、関係者が多く、一般の参加者の参加が少なかった。</p>	こども未来室
	2月23日 宇治 3月8日 京都 3月9日 福知山 3月1日 14日	<p>児童福祉等関係職員研修 〔内容〕 講演 〔テーマ〕 「地域における児童相談の意義と役割」 津崎 哲郎 花園大学社会福祉学部教授 〔対象者〕 市町村、保健所児童相談等担当職員 〔参加者〕 75名 〔対象者〕 市町村、保健所児童相談等担当職員</p> <p>地域別児童相談担当者研修 〔テーマ〕 「市町村における児童相談体制の構築」 〔参加者〕 37名(宇治児童相談所分) 40名(京都児童相談所分) 52名(福知山児童相談所分) 〔評価〕 具体的な事例をもとに検討、相談の実技講習を取り入れ、より現場に即した研修内容であった。 虐待の対応に関する関係者の理解が深まった。 開催時期が年度末であり、児童相談を実施した後の研修の希望が多かった。</p>	

(4) 家庭

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
児童虐待防止対策推進事業	3月25日 12月22日	<p>ワークショップ 一般職員研修 〔内容〕 講義 〔テーマ〕 「こどもの権利を考える」 松村 淳子 府こども未来室長 〔対象者〕 府職員 〔参加者〕 約200名 〔評価〕 子どもを取り巻く現状等を通して、子どもの人権養護の必要性について府職員の理解が深まった。</p>	こども未来室
	通年 3月	<p>啓発事業 児童虐待の防止を図るため、市町村域での関係機関のネットワークを構築して実施する啓発活動等 〔内容〕 児童虐待防止ホームページによる啓発 児童虐待防止CD-ROMの配布 保育所・幼稚園、民生・児童委員用リーフレットの作成 児童虐待防止と援助のためのネットワーク指針の作成 〔評価〕 児童虐待に対する理解を通じて、府民及び地域の関係者の児童の人権についての意識を高めることができたと考える。</p>	

(5) 企業・職場

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
宗教法人関係人権問題研修会	9月13日 16日 11月22日	<p>宗教法人関係者の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>[内 容] 講義：「21世紀の人権と文化 - 世界平和を求めて - 」 木村 公一 福岡国際キリスト教会牧師 「人権の視点より宗教を考える」 松根 鷹 部落解放・人権研究所宗教部会員</p> <p>[会 場] 府立総合社会福祉会館・中丹勤労者福祉会館</p> <p>[参加者] 255名</p> <p>[評 価] ・目的に適した研修が実施できた。 ・宗教法人関係者の人権意識の高揚とともに、日常の活動の中で人権問題を捉え、解決への実践に有効な支援となった</p>	文 教 課
京都人権啓発行政連絡協議会事業	11月12日	<p>京都人権啓発行政連絡協議会（京都地方法務局、近畿財務局京都財務事務所、京都労働局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿運輸局近畿地方整備局及び京都府・京都市で構成）が府内企業を対象に人権問題について正しい理解と認識を深めるために実施する企業向け研修会</p> <p>[内 容] 講 義：「互いを尊重しあえる時代へ」 丘乃 れい シナリオライター 啓発ビデオ上映：「残された日記」</p> <p>[会 場] 京都会館第2ホール</p> <p>[参加者] 746人</p> <p>[評 価] 企業内人権啓発推進員を対象として、人権意識尊重の高揚を図るための研修を実施することにより、人権が尊重される職場づくりや公正な採用選考の実施へ向けた企業等の自主的な取組を支援することができた。</p>	人権啓発推進室
中小企業労働相談事業	通 年	<p>中小企業における労使関係の安定に資するため、解雇・賃金・労働条件など様々な労働問題について、専門相談員が無料で相談</p> <p>[内 容] 労働相談 特別労働相談（弁護士による労働相談（要事前予約））</p> <p>[会 場] 京都中小企業労働相談所（京都市内）、舞鶴中小企業労働相談所（舞鶴勤労者福祉会館内）</p> <p>[評 価] 平成16年度の相談件数は630件となっており、有効に活用されている。</p>	労 政 課

(5) 企業・職場

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
京都労働ニュース(Vivid)発行事業	通年	<p>労使にニーズの高い情報を提供し、良好な労使関係の確立に資するため、労働情勢、労働に関する資料、労働法など法律の解説、雇用労働に関する各種制度などを紹介する冊子を毎月発行</p> <p>(内容) 発行部数：4,000部(毎月発行)</p> <p>〔配布先〕 中小企業組合・団体、労働組合・団体、商工会議所、商工会、市町村、行政機関等</p> <p>〔評価〕 法改正、調査報告、行事案内、各種月間等に係る情報提供手段として、有効に活用されている。</p>	労政課
公正採用選考啓発事業	6月	<p>職場における公正な採用選考システムの確立を図るため、企業が行う採用選考の側面から、広く啓発を行う。</p> <p>〔内容〕 公正採用選考推進旬間啓発ポスター作成(6月10日 40,000枚) 公正採用選考推進旬間新聞意見広告(6月10日掲載/京都・朝日・毎日・読売・産経) 公正採用選考啓発TVスポット(6月10日~19日/KBS京都、15秒×25回) JIS規格履歴書の配付(随時)</p> <p>〔評価〕 ポスター、新聞、テレビというメディアを活用することにより、企業関係者のみならず、広く府民の人権意識の向上を図ることができ、一定の効果があるものと認識</p>	雇用対策プロジェクト
企業内人権問題啓発セミナー	6月10日 11日 15日 16日 9月13日	<p>企業・職場における人権尊重意識の高揚を図るため、企業の人事担当者等を対象として、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修会を実施</p> <p>〔内容〕 講義「企業と人権」 講師(財)世界人権問題研究センター 客員研究員 山本尚友</p> <p>〔会場〕 文化パルク城陽</p> <p>講義「企業と人権」 講師(財)世界人権問題研究センター 嘱託研究員 吉田栄治郎</p> <p>〔会場〕 野田川わーくばる、京都テルサ、シルクホール、京都テルサ</p> <p>〔参加者〕 1,370人</p> <p>〔評価〕 企業の人事担当者研修の機会を与えることにより、企業全体の人権意識の高揚を図ることに寄与しているものと認識</p>	雇用対策プロジェクト

(5) 企業・職場

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
企業・職場人権啓発推進事業	12月 13日 15日 1月 18日 19日	<p>企業の代表者及び商工業関係団体役職員等に対し、あらゆる差別問題への理解を深め、人権意識の高揚を図るための研修会を開催した。</p> <p>〔内容〕 講演会 『子どもの人権をまもるために』 立命館大学教授：野田正人氏 講演会 『すべての人が誇りを持って生きられる社会に』 社会福祉法人プロップステーション理事長：竹中ナミ氏 講演会(参加型研修) 『ちがいを豊かさに～共に生きる社会を作るために』(2カ所で実施) 株式会社グローバルコンテンツ代表取締役：岩山仁氏 啓発映画「同和問題これからの課題」(3カ所で実施) 「それぞれの明日」</p> <p>〔対象者〕 府内企業の代表者及び商工業関係団体役職員等</p> <p>〔会場〕 京都市、宇治市、綾部市及び京丹後市</p> <p>〔参加者〕 410名</p> <p>〔評価〕 昨今、社会問題化している人権問題のうち、児童虐待、障害者の人権問題、在留外国人の人権問題及び同和問題をテーマとして設定し、参加者個人の人権意識の高揚を、概ね図ることができたと考える(参加者アンケートにおいても、講演による人権意識の深まりがあったとする回答が全体中97%得られている)。</p>	商工部金融・組合室
農林漁業関係団体役職員人権啓発研修補助	通年	<p>農林漁業関係団体が実施する研修事業等に対する補助</p> <p>〔内容〕 各団体が研修会を開催するとともに、啓発資料を作成・配布した (農協中央会)研修会6回 啓発資料2種類 (漁協連合会)研修会2回 (森組連合会)研修会4回 啓発資料1種類</p> <p>〔評価〕 研修会の実施や啓発資料の作成・配布を通じて、人権啓発を図ることができた。 今後とも、様々な人権問題に対して、研修会・資料等を通じて啓発を図ることが必要。</p>	農村振興課

(5) 企業・職場

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
農林漁業関係団体職員人権啓発研修	1月 ～ 2月	<p>農林漁業関係団体職員等の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるため研修を実施</p> <p>〔内 容〕 研修会・講演会 テーマ「ジャーナリストの目から見た人権」 ～ともに輝いて・生きる 私の取材ノートから～ 講師(財)世界人権問題研究センター研究部長 福田雅子氏</p> <p>〔会 場〕 北部会場：みやづ歴史の館(宮津市) 南部会場：京都商工会議所(京都市)</p> <p>〔参加者〕 農林漁業関係団体等職員及び府職員 438人</p> <p>〔評 価〕 世界人権宣言や水平社宣言から新京都府人権教育・啓発推進計画に至るまで、基本的で重要な事柄について理解を深める点で、効果があった。 今後とも、身近な人権問題を、社会的・歴史的背景などから考察するようなテーマで研修会を実施することが必要。</p>	農村振興課
建設業者人権啓発研修	2月	<p>建設業者を対象に、人権問題の認識を深めていただき、人権問題の解決に資することを目的として実施する研修</p> <p>〔内 容〕 講 演 90分 演題：「新しい視点から同和問題を考える」 講師：石元清英 関西大学教授 啓発ビデオ上映 55分 題名：「心ひらくとき」</p> <p>乙訓会場 ・日 時 平成17年2月22日(火) 午後1時30分～4時30分 ・会 場 長岡京市立中央公民館 ・対象者 乙訓/山城北/山城南/北桑田支所/南丹 土木事務所管内業者 計90名</p> <p>舞鶴会場 ・日 時 平成17年2月18日(金) 午後1時30分～4時30分 ・会 場 京都府立舞鶴勤労者福祉会館(サンライフ舞鶴) ・対象者 南丹/中丹東/中丹西/丹後 土木事務所管内業者 計124名</p> <p>〔評 価〕 (講演) 部落の歴史や新しい視点からの現状分析を詳しく説明していただくとともに、企業経営としての人権問題に対する心構えをご教示いただき、建設業者にとっての人権意識の再認識の良い機会となった。 (ビデオ上映) 女性記者の職場と家庭・子育ての両立の問題とともに、記者・記事を通じた被差別部落出身者の結婚を巡る両親の理解、心のふれあいを描き、人権問題を考える良い機会となった。</p>	指導検査課

(5) 企業・職場

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
宅地建物取引業者人権啓発	10月 2日 11月 9日 11月17日 11月18日 4月～3月	<p>宅地建物取引業者が住生活の向上に寄与する重要な社会的責務を担っていることから、基本的人権の尊重、特にあらゆる差別の解消に関する啓発の重要性を踏まえて、業界団体の研修会等の機会をとらえて指導・啓発を行う。</p> <p>〔内容〕 業界団体研修時に「基本的人権の尊重」について指導・啓発を行うとともに、従来に引き続いて「取引主任者に対する講習」でも人権問題への配慮について指導・啓発に努めた。</p> <p>〔対象団体等〕 (社)京都府宅地建物取引業協会研修会 11月 9日 綾部中央公民館 参加者191名 11月17日 京都産業会館 " 561名 11月18日 京都産業会館 " 579名 (財)日本賃貸住宅管理協会京都支部研修(オーナーセミナー) 10月 2日 ハートピア京都 参加者201名 取引主任者法定講習 平成16年度 24回開催 受講者約2,443名</p> <p>〔参加者〕 3,975名</p> <p>〔評価〕 賃貸住宅のオーナーに対する指導・啓発が今後の課題である。</p>	建築指導課
府営工業団地立地企業人権問題研修事業	10月29日	<p>府が造成した工業団地(長田野・綾部)に立地する企業の人事・労務管理職等の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内容〕 講演「人権落語 昔から・そしてみんなが」 ～講師 安田 晴彦氏～(滋賀県近江八幡市立桐原東小学校教諭)</p> <p>〔会場〕 福知山市企業交流プラザ</p> <p>〔参加者〕 54名</p> <p>〔評価〕 人権問題に係る正しい理解と認識が深まった。</p>	企業総務室 (開発事業課)
府営工業団地立地企業人権問題研修補助事業	通 年	<p>府営工業団地立地企業の人権担当者等を対象に実施する研修に対して補助</p> <p>〔対象団体〕 (社)長田野工業センター (社)綾部工業団地振興センター</p> <p>〔評価〕 立地企業の人権担当者等に対する研修が実施され、人権啓発の推進が図られた。</p>	企業総務室 (開発事業課)

2 人権に特に関係する職業従事者に対する研修等の推進

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
私立小・中・高等学校人権教育研修会 【再掲】	12月21日	<p>児童生徒が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内容〕 講義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「職場の男女均等取扱いと次世代育成支援対策について」 横内るり子 京都労働局雇用均等室長</p> <p>〔対象〕 私立小・中・高等学校の設置者及び校長等</p> <p>〔参加者〕 60名</p> <p>〔会場〕 京都私学会館</p> <p>〔評価〕 目的に適した研修が実施できた。 教職員の人権意識の高揚とともに、自らの生き方として人権問題を捉え解決する生徒への実践的態様の育成指導に有効な支援となった。</p>	文教課
私立専修・各種学校人権教育研修会 【再掲】	12月3日	<p>生徒が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内容〕 講義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「職場の男女均等取扱いと次世代育成支援対策について」 横内るり子 京都労働局雇用均等室長</p> <p>対象：私立専修学校・各種学校の設置者及び校長等</p> <p>参加者：81名</p> <p>会場：京都私学会館</p> <p>〔評価〕 ・目的に適した研修が実施できた。 ・教職員の人権意識の高揚とともに、自らの生き方として人権問題を捉え解決する生徒への実践的態様の育成指導に有効な支援となった</p>	文教課

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>私立幼稚園人権教育研修会 【再掲】</p>	<p>12月10日</p>	<p>園児が互いの個性や価値観の違い、自己を尊重し、他者を尊重する心をはぐくむとともに、様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を培うことを目的として、教職員の人権意識の高揚を図り、各校の人権教育の充実に資するための研修会を実施する。</p> <p>〔内容〕 講義：「京都府における人権教育・啓発の推進状況」 北澤義之 京都府総務部文教課主査 「誰もがいのち輝くために」 村上元宏 綾部市教育委員会社会教育主事兼指導主事</p> <p>〔対象〕 私立幼稚園の設置者及び園長等</p> <p>〔参加者〕98名 会場：京都私学会館</p> <p>〔評価〕 目的に適した研修が実施できた。 人権教育を進める上で、教育内容及び発達段階に即した指導に対して有効な支援となった。</p>	<p>文教課</p>
<p>教職員人権問題研修・学習会</p>	<p>平成16年 11月19日 平成17年 3月1日</p>	<p>同和問題のみでなく、広く人権問題全般に拡大してきたが、その意義を確認しつつ、今日の人権状況にふさわしいテーマとして 子供の人権 セクシュアル・ハラスメント アカデミック・ハラスメント 障害学生の受け入れをめぐる問題 学生指導・学生対応のあり方などを掲げその時々で大切だと思われるテーマに取り組み、教職員の意識の向上に努めた。</p> <p>〔内容〕 15年に実施した学生アンケート結果からをもとに 直接対話形式</p> <p>〔テーマ〕「学生指導・学生対応のあり方について」 府立大学人権教育委員 宮嶋邦明 委員長 小林啓治 委員 大場 修 委員 中野幹夫 委員</p> <p>各学部学生代表及び各研究科院生代表・フロアー教職員との対話形式による講演会</p> <p>〔テーマ〕「今日の学生をどう見るか～学生指導・学生対応のあり方について考える～」 講師 関西学院大学 野田正彰学長付教授</p> <p>〔対象者〕 府立大学教職員</p> <p>〔会場〕 府立大学附属図書館・大学会館</p> <p>〔参加者〕 117人(延べ)</p> <p>〔評価〕 2年間同一テーマとして、深く掘り下げることができ、参加者からも高い評価を得た。 開催を休講日に設定しているが学会等の出席があり、調整が難しい。</p>	<p>府立大学</p>

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
教職員人権啓発研修 (全体研修) 【再掲】(職場研修)	H16.12 ~H17.3	<p>人権全般に係る項目、医療に係る項目、各種人権問題(新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げられている課題)に係る項目を中心とした研修会を実施</p> <p>〔内容〕 研修会 第1回(H16.12.17・H16.12.24) 「同和問題の現状と課題について」 奈良県立同和問題関係資料センター 所長 吉田栄治郎氏 第2回(H17.2.16・H17.2.17) 「患者さんの権利とドクハラ(ドクターハラスメント)」 医療法人慈繁会土屋病院 外科部長 土屋繁裕氏 第3回(H17.3.22・H17.3.23) 「セクシュアル・ハラスメント～医療従事者と患者の場合～」 ウィメンズカウンセリング京都 カウンセラー 周藤由美子氏</p> <p>〔対象者〕 京都府立医科大学全教職員対象(1264人)</p> <p>〔会場〕 本学北臨床講義室</p> <p>〔参加者〕 1225人</p> <p>〔評価〕 業務の都合上研修への参加についてやりくりが大変なところが多かったが、今年度は延べ人数では約97%の職員が参加した。 医療従事者にも関心の深いテーマを選び、各人が自分のこととして日々考えることの出来る内容に重きを置いたため、各人への人権啓発の効果は高かったと考えられる。</p>	府立医科大学

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>教職員研修事業 【再掲】</p>	<p>4～7月 6～8月 5～11月</p>	<p>子どもたちが豊かな人権感覚を身に付けられるよう、教職員自らが豊かな人権意識を持つことや、人権教育に関する知識・技能の向上を図ることを目的として実施</p> <p>〔内 容〕 京都府総合教育センターの研修 (1)初任者研修 540名受講(延べ) 初任者・新規採用者研修講座 「人権教育の基本的な視点」「人権教育の現状と課題」「人権教育の果たす役割 - 同和問題について - 」「人権教育における参加型学習の実際」等 (2)経験年数別研修 1032名受講(延べ) 教職経験2年目・3年目・5年目・10年目・20年目研修講座 「学校教育の今日的課題 不登校児童生徒への理解と援助・指導を中心として 」「子どもの人権問題」「障害のある人の人権問題」「女性の人権問題」等 (3)職能別・領域等研修 466名受講(延べ) 校長・新任部長・主任講座 「人権教育推進上の今日的課題」「今日的な教育課題と部長・主任の職務と役割」 人権教育講座 「今後の人権教育の展開」「実践報告」 大学への派遣研修 (1)派遣大学：京都教育大学 (2)派遣教諭及び研究主題 中学校教諭 「自ら興味を持って人権学習に取り組むための工夫 意識調査の考察より」 高等学校教諭 「情報化社会における人権教育～メディア・リテラシーの視点を取り入れた人権学習～」</p> <p>〔評 価〕 京都府総合教育センターの研修 初任者をはじめ経験年数別に研修を積み上げていくことにより、また職能別に研修を深めることにより、人権教育に関する知識・技能の向上に努めることができた。 個別の人権問題については、「同和問題」「女性」「子ども」「障害のある人」の人権問題について研修することができた。</p> <p>大学への派遣研修 京都府の人権教育推進の中核として、その指導的役割を果たすことを期待する人材の育成ができた。</p>	<p>学校教育課</p>

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権教育推進事業 (人権教育指導者研修会) 【再掲】	8月25日 11月25日	京都府内の社会教育関係職員等を対象に、地域の実情に即した学習課題を明確にしなが、あらゆる人権問題の解決に役立つ学習活動を推進するために必要な指導者の資質向上を目的とする研修会を実施 [内 容] 研修会の実施 (1)研修会() 講 義 「これからの人権教育・啓発の課題」石元 清英 関西大学社会学部教授 講 義 ・ワークショップ 事例展開「『人権教育資料活用事例集』の有効活用について」 社会教育課 (2)研修会() 講 義 「識字教育の新たな展開に向けて」内山 一雄 前天理大学教授 講 義 ・ワークショップ グループ討議「参加型学習の手法を考える」 社会教育課 [対象者] 社会教育主事、社会教育指導員、人権教育関係職員、識字学級指導者、学校教育関係者等 [参加者] 研修会() 71名 研修会() 69名 [評 価] 参加型学習の理解を深めることにより、指導者の資質向上に資することができた。 研修の成果を各教育局の人権教育行政担当者協議会に反映させた。	社会教育課

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)																				
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会) 【再掲】	6月～3月	<p>各教育局が、人権教育指導者研修会等の成果を踏まえながら、関係機関との連携を図り、人権に関する課題解決の方策についての研究協議等を行うとともに、管内市町村の人権に関する取組状況の情報交換を実施</p> <p>〔内容〕 地域の実情に応じた研究協議会・講演会の開催</p> <p>〔対象者〕 各市町村社会教育・人権教育行政担当者、社会教育委員、学校教育関係者、同和教育・人権教育推進協議会指導者等</p> <p>〔開催状況〕</p> <table border="1" data-bbox="696 528 1883 1378"> <thead> <tr> <th></th> <th data-bbox="696 528 1128 560">第1回</th> <th data-bbox="1128 528 1503 560">第2回</th> <th data-bbox="1503 528 1883 560">第3回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 560 792 699">乙訓</td> <td data-bbox="792 560 1128 699"> 9/27 ・研究協議 </td> <td data-bbox="1128 560 1503 699"> 1/27 ・ワークショップと講義 「ハンセン病と人権～診療所との交流を通して～」 夜久野町教育委員会 </td> <td data-bbox="1503 560 1883 699"> 3/3 ・研究協議 ・情報交換 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 699 792 927">山城</td> <td data-bbox="792 699 1128 927"> 10/27 ・研究協議 ・情報交換 </td> <td data-bbox="1128 699 1503 927"> 12/22 ・実践報告 「加茂町の人権教育について」 加茂町教育委員会 「子どもへの人権教育について」 八幡市立中央小学校 ・研究協議、情報交換 </td> <td data-bbox="1503 699 1883 927"> 2/7 ・講義 ・「これからの人権教育のあり方」 講師：前山城町教育委員会 教育長 中津川敬朗 ・研究協議、情報交換 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 927 792 1155">南丹</td> <td data-bbox="792 927 1128 1155"> 9/29 ・実践報告 「人権教育における参加型学習の取組について-ワークショップ『人権教育資料』を活用した学習-」 亀岡市教育委員会 </td> <td data-bbox="1128 927 1503 1155"> 11/30 ・実践報告 「わたしメッセージ溢れるまちづくり」 京都府立農芸高等学校 ・研究協議、情報交換 </td> <td data-bbox="1503 927 1883 1155"> 1/14 ・講演会 「これからの人権教育に期待すること-阪神大震災が教えたもの-」 講師 芦屋市立上宮川センター 館長 中尾 由喜雄 ・事業紹介 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 1155 792 1378">中丹</td> <td data-bbox="792 1155 1128 1378"> 6/18 ・実践報告 「公民館における人権教育の推進について」 夜久野町教育委員会 ・研究協議 </td> <td data-bbox="1128 1155 1503 1378"> 8/20 ・講演「これからの人権教育」 講師：元京都府教育庁指導部長 太田信之 ・実践報告 「人権問題に関する意識調査から」 福知山市教育委員会 </td> <td data-bbox="1503 1155 1883 1378"> 12/17 ・講演「亀岡市の人権教育-市民が進める人権学習-」 亀岡市教育委員会 ・研究協議 </td> </tr> </tbody> </table>		第1回	第2回	第3回	乙訓	9/27 ・研究協議	1/27 ・ワークショップと講義 「ハンセン病と人権～診療所との交流を通して～」 夜久野町教育委員会	3/3 ・研究協議 ・情報交換	山城	10/27 ・研究協議 ・情報交換	12/22 ・実践報告 「加茂町の人権教育について」 加茂町教育委員会 「子どもへの人権教育について」 八幡市立中央小学校 ・研究協議、情報交換	2/7 ・講義 ・「これからの人権教育のあり方」 講師：前山城町教育委員会 教育長 中津川敬朗 ・研究協議、情報交換	南丹	9/29 ・実践報告 「人権教育における参加型学習の取組について-ワークショップ『人権教育資料』を活用した学習-」 亀岡市教育委員会	11/30 ・実践報告 「わたしメッセージ溢れるまちづくり」 京都府立農芸高等学校 ・研究協議、情報交換	1/14 ・講演会 「これからの人権教育に期待すること-阪神大震災が教えたもの-」 講師 芦屋市立上宮川センター 館長 中尾 由喜雄 ・事業紹介	中丹	6/18 ・実践報告 「公民館における人権教育の推進について」 夜久野町教育委員会 ・研究協議	8/20 ・講演「これからの人権教育」 講師：元京都府教育庁指導部長 太田信之 ・実践報告 「人権問題に関する意識調査から」 福知山市教育委員会	12/17 ・講演「亀岡市の人権教育-市民が進める人権学習-」 亀岡市教育委員会 ・研究協議	社会教育課
	第1回	第2回	第3回																				
乙訓	9/27 ・研究協議	1/27 ・ワークショップと講義 「ハンセン病と人権～診療所との交流を通して～」 夜久野町教育委員会	3/3 ・研究協議 ・情報交換																				
山城	10/27 ・研究協議 ・情報交換	12/22 ・実践報告 「加茂町の人権教育について」 加茂町教育委員会 「子どもへの人権教育について」 八幡市立中央小学校 ・研究協議、情報交換	2/7 ・講義 ・「これからの人権教育のあり方」 講師：前山城町教育委員会 教育長 中津川敬朗 ・研究協議、情報交換																				
南丹	9/29 ・実践報告 「人権教育における参加型学習の取組について-ワークショップ『人権教育資料』を活用した学習-」 亀岡市教育委員会	11/30 ・実践報告 「わたしメッセージ溢れるまちづくり」 京都府立農芸高等学校 ・研究協議、情報交換	1/14 ・講演会 「これからの人権教育に期待すること-阪神大震災が教えたもの-」 講師 芦屋市立上宮川センター 館長 中尾 由喜雄 ・事業紹介																				
中丹	6/18 ・実践報告 「公民館における人権教育の推進について」 夜久野町教育委員会 ・研究協議	8/20 ・講演「これからの人権教育」 講師：元京都府教育庁指導部長 太田信之 ・実践報告 「人権問題に関する意識調査から」 福知山市教育委員会	12/17 ・講演「亀岡市の人権教育-市民が進める人権学習-」 亀岡市教育委員会 ・研究協議																				

(1) 教職員・社会教育関係職員

事業名	実施時期	概要			担当課(室)	
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会) 【再掲】	通 年	〔開催状況〕			社会教育課	
			第 1 回	第 2 回		第 3 回
		丹後 ・研究協議 ・情報交換		11/26 ・講演とワークショップ 「実践に結びつく人権学習のために『ワークショップ』と学習促進者の役割」 講師：(株)グローバルコンテツ代表取締役 岩山 仁 ・研究協議		1/26 ・研究協議 ・情報交換
〔参加者〕 374名 〔評価〕 人権教育指導者研修会と連携した取組をするとともに、管内市町村の取組状況の情報交換を通じて、各市町村における指導者の取組内容の充実につなげることができた。						

(2) 医療関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
看護師新規採用者講義	H16.4.8 10:00 ~ 12:00	<p>医療従事者の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内容〕 講演会</p> <p>〔テーマ〕 人権問題について</p> <p>講師 元岐阜大学 教授 藤田敬一</p> <p>〔対象者〕 新規採用看護師、48人</p> <p>〔会場〕 府立ゼミナールハウス</p> <p>〔参加者〕 48人</p> <p>〔評価〕 対象者全員が参加し、今後、常に人権意識をもって従事できるように啓発できたと考える。</p>	府立医科大学
研修医オリエンテーション	H16.4.15 13:00 ~ 13:50	<p>医療従事者の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための講義を実施</p> <p>〔内容〕 講義</p> <p>テーマ：人権意識を磨く</p> <p>講師：本学 病院管理課 課長 錦田明夫</p> <p>〔対象者〕 平成15年度研修医、80人(内、51人所属者)</p> <p>〔会場〕 本学 南臨床講義室</p> <p>〔参加者〕 80人(内、51人所属者)</p> <p>〔評価〕 今後の診療に対して、常に人権意識を持って望む意識を啓発できた。</p>	府立医科大学

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
保健福祉部関係団体職員人権研修(医療従事者)	11月19日 1月17日	<p>保健福祉部関係団体職員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 義:「子どもの人権について」 定本 ゆきこ 京都少年鑑別所児童精神科医 ・啓発映画上映「風のひびき」 <p>〔会 場〕 府職員福利厚生センター</p> <p>〔参 加 者〕 49名</p> <p>〔評 価〕 アンケートにより、子どもの発達障害という切り口から、子どもの人権に対する理解が深まったという意見が多かった。啓発映画では障害者の人権というテーマから、障害者の立場に立って考えることの大切さや、バリアフリーの大切さが理解できたという意見が多く、所期の目標は概ね達成できた。</p>	保健福祉企画室
保健福祉部関係団体職員人権研修(保健福祉関係者)	11月19日 1月17日	<p>保健福祉部関係団体職員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 義:「子どもの人権について」 定本 ゆきこ 京都少年鑑別所児童精神科医 ・啓発映画上映「風のひびき」 <p>〔会 場〕 府職員福利厚生センター</p> <p>〔参 加 者〕 339名</p> <p>〔評 価〕 アンケートにより、子どもの発達障害という切り口から、子どもの人権に対する理解が深まったという意見が多かった。啓発映画では障害者の人権というテーマから、障害者の立場に立って考えることの大切さや、バリアフリーの大切さが理解できたという意見が多く、所期の目標は概ね達成できた。</p>	保健福祉企画室

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
保健福祉事業従事職員人権研修会	12月10日	<p>保健福祉事業従事職員が様々な人権問題に対する認識・理解を高めることにより、住民一人一人の人権を尊重した保健福祉活動の推進を図る。</p> <p>今回は、ハンセン病に関する誤った知識が偏見・差別を招くことによって、いかに本人・家族に大きな苦悩をもたらすのかということを理解するとともに、ハンセン病をはじめとする様々な病気に係る活動において、正しい知識と理解に基づく活動の重要性を認識し、住民に対して正しく啓発できるきっかけとなるようにする。</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研 修 会：ハンセン病における人権について ・講 話：「京都府におけるハンセン病対策について」 成瀬保健福祉部理事 ・啓発映画上映「ハンセン病を知っていますか？」 ・講 演：「私とハンセン病 ～父を語る～」 林 力氏(元九州産業大学教授) <p>〔会 場〕 京都テルサ</p> <p>〔参 加 者〕 保健所及び市町村等において保健福祉事業に従事する職員 37名</p> <p>〔評 価〕 誤った知識が偏見・差別を招くこと、正しい知識の基での活動の重要性等について、理解、再認識した者が多かった。職場に帰って話し合いをしたいという意見もみられ、所期の目標は概ね達成できた。</p>	健康増進室
生活保護関係職員事務打合せ会議	1月13日 ～14日 2月28日 ～ 3月1日	<p>地域住民と密接な関わりを持つ生活保護関係職員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕</p> <p>講 義：「ケースワークの方法」 京都児童相談所 主任児童福祉司 田村浩良 「地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について」 京都社会福祉士会 社会福祉士 外村明美</p> <p>〔会 場〕 府職員福利厚生センター</p> <p>〔参 加 者〕 19名、27名</p> <p>〔評 価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々、被保護者と接し、また地域住民からの生活相談を受けるケースワーカーを対象に、ケースワークの基本を身につけ、親切・丁寧な対応を心がけるよう周知できた。 ・認知症等により日常生活に支援が必要な方の権利を守るための制度について研修し、制度の活用により権利擁護に配慮するよう周知できた。 	生活福祉室

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
生活保護査察指導員会議	7月20日 12月13日	<p>生活保護行政の指導的役割を担う生活保護査察指導員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕 講 義：「京都府ホームレス自立支援等実施計画の推進について」 生活福祉室 生活保護医療担当 担当係長 山崎正則</p> <p>〔会 場〕 府職員福利厚生センター</p> <p>〔参 加 者〕 22名</p> <p>〔評 価〕 ホームレスの自立支援について、京都府が策定した支援計画を中心に説明し、ホームレスへの生活保護の適用や人権擁護について周知できた。</p>	生活福祉室
社会福祉施設長研修会	7月30日	<p>社会福祉施設管理者の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕 研 修 会：「社会福祉施設における人権擁護」 堀内真理子 京都府保健福祉部次長</p> <p>〔会 場〕 ルビノ京都堀川</p> <p>〔参 加 者〕220名</p> <p>〔評 価〕 「人権教育のための国連10年京都府行動計画」のほか、「平成15年中の人権侵犯事件(法務省人権擁護局作成)」及び「セクシャル・ハラスメントの指針(労働省告示)」について研修を行い、概ね所期の目的を達することができた。</p>	地域福祉室

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
社会福祉施設職員等研修	4月19日 5月31日 6月15日 6月22日 10月4日 11月20日 1月19日	<p>子ども、高齢者、障害者等と接する機会の多い社会福祉施設職員等の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕 研 修 会 : 「新任職員に期待したいこと～人間尊重と社会連帯性をふまえて～」 徳川輝尚 身体障害者療護施設こひつじの苑施設長 「対人サービスの基本視点と施設の一員としての基本的態度の形成～より質の高いサービスをめざして～」 植田一重 (株)星和ビジネスサポート 「利用者の立場に立った援助とは」 久田則夫 日本女子大学助教授 「地域の子育ての現状～乳幼児期におけるかかわりの大切さについて～」 工藤充子 ほっとスペースゆう代表 「就業・生活支援センターの取り組みから」 北山守典 やおき福祉社会紀南障害者就業・生活支援センター長</p> <p>〔会 場〕 京都テルサなど6か所 〔参加者数〕734名</p> <p>〔評 価〕 社会福祉施設職員の経験や成長の過程に則して段階的、継続的に人権に関する研修を行い、概ね所期の目的を達成できた。</p>	地域福祉室
民生委員・児童委員協議会代表者研修会	6月18日 25日 30日	<p>地域住民と密接な関わりを持つ民生委員・児童委員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕 講 義 「高齢者虐待と高齢者の人権」 永和良之助 仏教大学社会福祉学部社会福祉学科教授</p> <p>〔会 場〕 府立総合社会福祉会館・ギャラリーかめおか・舞鶴西総合会館</p> <p>〔参 加 者〕 270名</p> <p>〔評 価〕 今回は、人権問題のうち、高齢者の人権問題をテーマとして設定し、参加者の人権意識の高揚を図ることができた。</p>	地域福祉室

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>民生委員・児童委員人権問題啓発研修会</p>	<p>8月20日 31日 2月5日 15日 22日 23日 25日 3月2日 (4箇所) 18日</p>	<p>地域住民と密接な関わりを持つ民生委員・児童委員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を各保健所ごとに実施(旧振興局17A12箇所で開催)</p> <p>[内 容]</p> <p>講 義：「子どもの人権と地域社会～児童養護施設から考える～」</p> <p>西川 満 児童養護施設「京都大和の家」施設長</p> <p>「民生委員活動とプライバシーについて」</p> <p>折田 泰宏 弁護士</p> <p>「被虐待児について～施設の現場」</p> <p>西川 満 児童養護施設「京都大和の家」施設長</p> <p>「人権問題の現状と取り組みの課題」</p> <p>上杉 孝實 京都大学名誉教授</p> <p>「子どもの人権を考える～大人の知恵とこころを」</p> <p>安保 千秋 弁護士</p> <p>「児童虐待について」</p> <p>西川 満 児童養護施設「京都大和の家」施設長</p> <p>「こどもの人権と児童福祉施設」</p> <p>榎田 恵理子 峰山乳児院 施設長</p> <p>「高齢者と人権 - ぼけても心は生きている - 」</p> <p>荒網 清和 呆け老人をかかえる家族の会京都府支部代表</p> <p>「かなしみをわかちあえますか(高齢者の人権と福祉)」</p> <p>永和 良之助 仏教大学社会福祉学部社会福祉学科教授</p> <p>「知的障害者の人権について」</p> <p>森下 多恵子 社会福祉法人みずなぎ学園園長</p> <p>「暮らしの中の人権」</p> <p>宮本 平一 弁護士</p> <p>「いのちと人権を守るために～いのちの電話の現場から～」</p> <p>平田 眞貴子 社会福祉法人京都いのちの電話事務局長</p> <p>[評 価]</p> <p>民生委員・児童委員全員を対象に、各保健所毎に昨今の人権問題のうち、現場に応じたテーマの人権研修を実施することができ、概ね所期の目的を達成できた。</p>	<p>地域福祉室</p>

(3) 保健福祉関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
市町村社会福祉協議会役職員研修	8月2日 3日 9月21日 22日 2月4日 3月14日	<p>地域福祉の推進に重要な役割を担う市町村社会福祉協議会役職員の人権尊重意識の高揚を図るため、人権問題について正しい理解と認識を深めるための研修を実施</p> <p>〔内 容〕 講 義：「社会福祉の動向と社会福祉協議会の役割」 間 哲朗 大阪体育大学助教授 「市町村社会福祉協議会と社協職員に期待すること」 富田 昌吾 寝屋川市民たすけあいの会事務局長 「市町村社協の組織運営と役員・評議員の役割」 小林 良守 千里金蘭大学講師 「社協におけるリスクマネジメントについて」 柴山 孝 (株)ユメコム代表取締役</p> <p>〔会 場〕 府立総合社会福祉会館、京都テルサなど6箇所</p> <p>〔参加者〕 175名</p> <p>〔評 価〕 地域福祉の推進に重要な役割を担う市町村社協の職員に対し、日々の事業に関連したテーマの中で、人権研修を行うことにより、概ね所期の目的を達成できた。</p>	地域福祉室

(4) 消防職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
消防職員人権教育	7月1日 4月20日 10月15日 1月6日	<p>府内の消防職員を対象として、初任・専科教育授業の中で、人権問題の今日的課題を明らかにし、人権の重要性等について意識啓発の高揚を図った。</p> <p>〔内容〕 初任科生及び現任生(消防職員)を対象として、各種消防業務において適切な対応を行えるよう、人権に関する正しい知識と認識を深めるための講義の充実を実施。</p> <p>〔内容〕 1 初任科教育 消防職員：45名 講師 防災室 副室長 植村 義弘 講義内容：人権を尊重するための主な取り組み</p> <p>2 専科教育(初級幹部科) 消防職員：29名 講師 京都市聴覚言語障害センター 生活指導員 三ツ矢 直子 講義内容：聴覚障害者の基礎知識</p> <p>3 専科教育(救助科) 消防職員 52名 講師 文教課 主査 北澤 義之 講義内容：人権教育へのアプローチ</p> <p>4 専科教育(救急科) 消防職員 56名 講師 文教課 主査 北澤 義之 講義内容：人権教育へのアプローチ</p> <p>〔評価〕 受講した消防職員について、講義の内容を理解し、人権への認識と知識を深めることができた。</p>	消防室

(5) 警察職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
被害者対策専科	10月25日 ~29日	<p>被害者等への被害発生直後における危機介入や支援活動を行う上で、被害者支援に従事する警察官(指定被害者支援要員等)の果たす役割が極めて重要であり、被害者等に対する支援活動が被害者等の精神的負担の軽減のみならず、警察の捜査活動に対する理解と協力の確保に必要不可欠であることから、各所属の被害者支援に従事する警察官に対する専門的かつ実践的な教養を行い、被害者支援に関する理解を深めるとともに、その能力向上を図ることを目的として実施。</p> <p>〔会場〕 警察学校(入寮制)</p> <p>〔受講者〕 警察本部の関係所属及び警察署において被害者支援に従事する警察官 30名</p> <p>〔内容〕 ・犯罪被害遺族、民間被害者支援団体、弁護士等の部外講師による講義の実施 ・想定事例に基づいた被害者支援要領の研究等 ・臨床心理士等による被害者心理及び警察におけるカウンセリング制度についての教養</p> <p>〔評価〕 実際に被害者支援に当たる警察官を対象として実践的な教養を実施し、被害者等の人権に配慮した業務推進体制の充実を図った。 被害者等のニーズが多様化してきているため、教養内容等もその都度検討する必要がある。</p>	警務課犯罪被害者対策室

(5) 警察職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
犯罪被害者支援係担当者研修会	5月14日 21日	<p>警察署において被害者支援を担当する幹部警察官に対して、具体的な支援事例や効果的な支援方策等を教養することにより、被害者等の心情に配慮した支援活動の推進を図ることを目的として実施。</p> <p>〔会場〕 警察本部・福知山警察署</p> <p>〔受講者〕 警察署犯罪被害者支援係の担当者 33名</p> <p>〔内容〕 ・犯罪被害者支援業務の留意事項 ・犯罪被害者等給付金裁定事務に関する留意事項 ・被害者支援に係る効果的事例の発表及び検討 等</p> <p>〔評価〕 警察署において実際に被害者支援を担当する幹部警察官に対して、支援業務での効果的事例等を発表、検討することにより警察における被害者支援業務の充実が図られ、被害者等の人権に配慮した警察活動の推進が図られた。 被害者等のニーズが多様化してきているため、教養内容等もその都度検討する必要がある。</p>	警務課犯罪被害者対策室
性犯罪指定捜査員研修会	6月10日 6月11日 11月30日	<p>性犯罪被害者等の特異な心理状態に配慮しつつ、その心情に配慮した捜査活動を推進して精神的負担の軽減を図るため、捜査活動に従事する女性警察官を対象として、その専門的な教養を行うことを目的として実施。</p> <p>〔会場〕 警察本部</p> <p>〔受講者〕 性犯罪捜査に従事する女性警察官 67名</p> <p>〔内容〕 ・弁護士、臨床心理士による被害者支援に関する講義 ・性犯罪捜査要領 等</p> <p>〔評価〕 性犯罪被害者等の特異な精神状態等に対する研修により、被害者等の精神的な負担の軽減を図ることができた。 警察官の大量採用を迎え、性犯罪捜査に従事する女性警察官も増員されることが予想されるため、研修会等による教養の徹底を図る必要がある。</p>	警察本部捜査第一課

(5) 警察職員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
手話講習	通 年	<p>障害者の心情に配慮した警察活動を推進する施策の一環として、警察署等において直接市民に接する警察職員に対して、手話技能を習得させることにより、適切な市民応接の推進を目的として実施。</p> <p>〔会 場〕 警察本部</p> <p>〔受講者〕 警察本部、警察署に勤務する警察職員 280名</p> <p>〔内 容〕 習熟程度別による手話技術講習 (財)全日本ろうあ連盟出版局発行「手話教室」のテキスト、ビデオを使用し、窓口業務に直結した手話表現の習得</p> <p>〔評 価〕 手話技能を習得した警察職員を養成することにより、障害者(聾啞者)に対する市民応接の向上が図れた。 手話技能を習得した警察職員の拡大と警察署等への効果的な配置の推進が図れた。</p>	警察本部教養課

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
研修所研修(人権問題研修)	随時	<p>人権尊重の理念や種々の人権問題の本質の理解と、現状・課題の認識を深め、問題解決に積極的に取り組む人権意識の高い職員を育成するための研修を実施</p> <p>職務別研修 〔内容〕 講義、討議 〔対象〕 一般職員、管理・監督職員 〔研修名：テーマ：講師〕 新規採用職員研修(前期)「人権問題について」 鈴木仁修(願念寺住職) 新規採用職員研修(後期)「人権問題」 浅野浩司(人権啓発推進室係長) 一般職員研修「人権問題(映画・グループ討議)」桂 敏哲(職員研修所次長)前田欣邦(研修課長) 一般職員研修「人権問題」中澤 弘(女性政策課主幹) 一般職員研修「人権問題」藤田敬一(元 岐阜大学教授) 新任主任研修「人権問題」上野伸司(人権啓発推進室主幹) 新任係長級研修「人権問題」上野伸司(人権啓発推進室主幹) 新任課長補佐級研修「人権問題」工藤充子(NPO法人ほっとスペースゆう理事長) 新任主幹級研修「人権問題」工藤充子(NPO法人ほっとスペースゆう理事長) 新任課長級研修「人権問題」平岡幹弘(人権啓発推進室室長) 新任専門員研修「人権問題」沼津雅子(知的障害者更生施設みずのき施設長) 管理職特別研修「セクシュアル・ハラスメント対策の現状と課題」牟田和恵(大阪大学人間科学部教授) 管理職特別研修「セクシュアル・ハラスメントの防止について」小松明子(ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー) 〔受研者〕 1,338名(延べ)</p>	職員研修所

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>研修所研修(人権問題研修)</p>	<p>6月 ~ 11月</p>	<p>指導者研修 〔内容〕 講義((財)世界人権問題研究センターが主催する人権大学講座の講義への参加) 〔対象〕 人権問題職場研修指導者 〔研修科目〕 痴呆カルテから-高齢者の人権を守る- 大國美智子(大阪後見支援センター所長) 情報化社会と人権-インターネットの事例から- 田畑 重志(三重県人権問題研究所調査研究員) アイヌと沖縄-その光と影- 佐々木高明(国立民俗学博物館名誉教授) 部落問題をどう伝えるか 石元 清英(関西大学社会学部教授) “うつ病の時代を生きる”-精神医学の立場から- 渡辺洋一郎((社)大阪精神科診療所協会会長) 職場の男女平等をもとめて-住友電工性差別訴訟の8年- 宮地 光子(弁護士) 人権・文明・宗教“いのちの尊厳をみつめて” 山折 哲雄(国際日本文化研究センター所長) 信楽 峻磨(龍谷大学名誉教授) 上田 正昭((財)世界人権問題研究センター理事長) “人権救済”をどうすすめるのか-人権にやさしい社会を- 山崎 公士(新潟大学法科大学院教授) 深刻化する東南アジアの水問題-私たちの暮らしと水・環境- 神田 浩史(ODA改革ネットワーク世話人) 21世紀・人権確立のために人権とは? 横田 洋三(中央大学法科大学院教授) いま国連で「人権教育のための国連10年」とこれから 丹羽 雅雄(弁護士) 村上 正直(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授) 山崎 鈴子(名古屋市男女平等参画審議会委員) 山本 尚友((財)世界人権問題研究センター客員研究員) 「京都市同和地区実態調査」について 社会をめざす- 源 淳子((財)世界人権問題研究センター嘱託研究員) エッセイ集 めざめる女 つぶやく男 -男女共同参画社会をめぐって- 金 時鐘(詩人) 「在日」を生きて「朝鮮」を生きて 上掛 利博(京都府立大学福祉社会学部教授) ｽﾗｲﾄﾞで見えるルカの福祉-女性の社会的地位の向上と「福祉社会」の形成- 盲ろうのひとたちと ともに生きる京都・大阪・兵庫の活動からコミュニケーション法 入門 福島 令子 梅木 久代(京都盲ろう者の会会長) 門川紳一郎(視聴覚二重障害者福祉センターすまいる理事長) 吉田 正行(兵庫盲ろう者友の会会長) 福田 雅子((財)世界人権問題研究センター主任研究員)</p> <p>〔受研者〕 127名(延べ)</p>	<p>職員研修所</p>

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
研修所研修(人権問題研修)	8月4日 10月13日	<p>人権問題職場研修指導者・主任研修 [内容] ワークショップ等 [対象] 人権問題職場研修指導者・主任 [テーマ] 第1回 ワークショップ 自尊感情とエンパワー 学習支援者(ファシリテーター)とは? 金香百合(ホリスティック教育実践研究所代表) 第2回 人権ゆかりの地をたずねて 醍醐寺(三宝院)・伏見稻荷大社 [受研者] 50名(延べ) 人権問題職場研修指導者・主任研修(新任) [内容] 講義・ワークショップ [対象] 人権問題職場研修指導者・主任(新任) [テーマ] 人権問題職場研修について 桂 敏哲(職員研修所次長) 人権行政の動向と課題について 北村武志(人権啓発推進室参事) 参加型職場研修の実践 岩山 仁(株)グローバルコンテンツ代表取締役) [受研者] 59名</p>	職員研修所

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>研修所研修(人権問題研修)</p>	<p>北部会場 11月30日 12月22日</p> <p>南部会場 2月 2日 2月 7日 2月21日 2月25日</p>	<p>人権問題特別研修 〔内容〕 講義 〔対象〕 全職員 〔研修科目〕 (第1回) 人権と行政-身近な人権問題から国家・世代を超えて- セクシュアル・ハラスメントの現状と防止について 安藤仁介((財)世界人権問題研究センター所長) 井上摩耶子(ウイメン・カンパニー 京都代表)</p> <p>(第2回) 同和問題の現状と課題 あなたはどっち? 「子供」「子ども」~こどもの権利を考える~ 山本尚友((財)世界人権問題研究センター客員研究員) 松村淳子(保健福祉部子ども未来室室長)</p> <p>(第1回) 同和問題の現状と課題について 吉田栄治郎(奈良県立同和問題関係史料センター所長) 周藤由美子(ウイメン・カンパニー 京都フェミニストセンター)</p> <p>(第2回) 人権問題の現状と課題について-国際人権法の観点から- 「高齢者の人権」にかかる現在の社会環境についての考察 坂元茂樹(神戸大学大学院法学研究科教授) 高田全康(高齢者総合福祉施設神の園施設長)</p> <p>(第3回) 同和問題の現状と課題について 吉田栄治郎(奈良県立同和問題関係史料センター所長) 障害者の人権について 森 昇(社会福祉法人修光学園理事長)</p> <p>(第4回) インターネットと人権-プロバイダ責任制限法との関連- 加藤敏幸(関西大学総合情報学部教授)</p> <p>子どもの人権を考える~私たちに何ができるか~ 桐野由美子(京都ノートルダム女子大学大学院教授)</p> <p>〔受研者〕 1, 250名(延べ) 〔研修所研修受研者合計〕 2, 824名(延べ) 〔評価〕 人権問題の本質や現状・課題について、一般職員から管理職員まで職位・職務に応じた研修の実施を通じ、公務員として必要な人権意識の高い職員の育成に寄与した。</p>	<p>職員研修所</p>
<p>研修情報の提供</p>	<p>5月 (憲法週間)</p> <p>8月 (人権強調月間)</p> <p>12月 (人権週間)</p>	<p>府職員の人権意識高揚のための自己啓発を支援する情報の提供 〔内容〕 5・8・12月号において人権啓発記事を掲載 〔対象〕 全職員 〔評価〕 情報の提供により、人権意識高揚に向けた自己啓発の促進に役立てた。</p>	<p>職員研修所</p>

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
職場研修	随時	各部局、大学等の職場毎に、人権問題についての正しい理解と認識を深めるための研修を実施 [内容] 講義 ワークショップ 啓発映画上映等 [参加者] 5,498名(延べ) [評価] 職務や地域に関連したテーマの選定、参加型手法の導入やより多くの職員が参加できる機会の確保など、職場の実態に応じた創意工夫による研修の実施を通し、府職員全体の人権問題への理解・認識を深めることに寄与した。	各部局主管課等

(6) 公務員

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権啓発指導者養成研修会	8月20日 8月30日 11月18日 11月25日	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施</p> <p>〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テーマ〕 「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英 (関西大学社会学部教授) 「男女共同参画社会基本法の5年」 福田 雅子 (ジャーナリスト) いのち、響きあって～HIVを通して人権と共生を考える～ 五島真理為 ((特)HIVと人権・情報センター理事長) 外国籍府民の人権 仲尾 宏 (京都造形芸術大学客員教授) インターネットと人権 田中規久雄 (大阪大学大学院法学研究科講師) 親と子の間～里親運動42年の実践から 橋本 明 ((社)家庭養護促進協会事務局長) 性同一性障害と人権 大島 俊之 (神戸学院大学大学院実務法学研究科教授) 変貌する高齢社会と人権の課題 岡山孝太郎 (京都保育福祉専門学院長)</p> <p>〔会場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕632名(延べ) 内訳：京都府461名 市町村142名 民間 29名</p> <p>人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者)：10名(合計16名)</p> <p>〔評価〕 教育委員会と連携し、人権研修の位置付けにしたことから、昨年より参加者数が増加したが、今後、さらに参加者を増やしていくため、より多くの人に参加してもらう取組み・工夫が必要である。</p>	人権啓発推進室

(7) マスメディア関係者

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
マスメディア関係者に対する働きかけ	随時	<p>府政記者に対し、府政記者の異動の都度「新京都府人権教育・啓発推進計画」の趣旨を説明し、人権に配慮した取材・報道を要請。</p> <p>〔対象者〕 42名(延べ)</p> <p>〔評価〕 人権に配慮した取材及び報道がなされており、趣旨が十分伝わっているものと認識</p> <p>各社に対しても「新京都府人権教育・啓発推進計画」の趣旨を説明し、人権に配慮した取材及び報道について継続して要請することが必要</p>	広報課

3 個別の人権問題に関する啓発の推進

事業名	実施時期	概要	担当課(室)														
きょうと府民だよりの発行	8月 12月 ほか	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うために、府政広報紙「きょうと府民だより」を活用した人権啓発を実施。</p> <p>〔内 容〕 特集記事の掲載 8月：人権強調月間特集「ありがとうよかった、あなたがいてくれて」 12月：人権週間特集「幸せな人生を歩みたい それは私たちみんなの願いです」</p> <p>シリーズ記事 人権ゆかりの地を訪ねて(7、9、10月) 人権口コミ講座(11、2、3月) きょうと府民だよりについて</p> <p>〔発行日〕 毎月第1日曜</p> <p>〔発行部数〕 102万部(別途文字拡大版1,500部・点字版500部・テープ版510本)</p> <p>〔評 価〕 好きな記事として読者からはがきが寄せられるなど、一定の定着と効果が得られていると認識している。 人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることが出来るよう、身近な話題や知識を題材とした紙面づくりを行っていくことが必要。</p>	広 報 課														
新聞意見広告 〔人権口コミ情報〕 啓発冊子作成 〔人権口コミ講座 〕	12月 1日 ~10日 (人権週間) 3月	<p>人権週間の時期(12月1日~10日)に人権に関する様々な話題を取り上げ、府民への関心提起をねらいとして行う新聞広告記事を連続して掲載するとともに、当該記事を活用して啓発冊子を作成し、広く府民に配布</p> <p>〔掲 載 紙〕 京都新聞</p> <p>〔口コミ講座発行部数〕 20,000部</p> <p><各回テーマ></p> <table border="1" data-bbox="734 1098 1756 1305"> <tr> <td>全 般</td> <td>エバーサデザイン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年</td> </tr> <tr> <td>同和問題</td> <td>同和問題に関する意識の問題</td> </tr> <tr> <td>女 性</td> <td>女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>子どもの力を発揮させるもの</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>外国人の犯罪は多いのでしょうか</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>性同一性障害者と人権</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>エイズ(AIDS)は今</td> </tr> </table> <p>〔評 価〕 日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題を人権尊重の視点から分かりやすく解説したものを、京都新聞をという媒体を通じてより府民が認識しやすいようにすることにより、府民が人権について具体的に考える機会とすることができた。</p>	全 般	エバーサデザイン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年	同和問題	同和問題に関する意識の問題	女 性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし	子ども	子どもの力を発揮させるもの	外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか	障害者	性同一性障害者と人権	感染症	エイズ(AIDS)は今	人権啓発推進室
全 般	エバーサデザイン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年																
同和問題	同和問題に関する意識の問題																
女 性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし																
子ども	子どもの力を発揮させるもの																
外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか																
障害者	性同一性障害者と人権																
感染症	エイズ(AIDS)は今																

3 個別の人権問題に関する啓発の推進

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
テレビ番組放送 府政ほっと情報! 府政ほっと情報・増刊号!	12月 8月	より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、テレビ放送を活用した人権啓発を実施 [内 容] 8月(人権強調月間)及び12月(人権週間)において、人権問題を取り上げて構成した広報テレビ番組(5分間(12月)又は30分間(8月))(KBS京都)を放送 8月:人権特集「障害者の人権を考える」 12月:人権特集「女性の人権を考える」 [放送回数] 8月 1回(30分番組) 12月 1回(5分番組) [評 価] 広報テレビ番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識 人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた番組づくりを一層推進することが必要	広 報 課
テレビ番組放送 [京都人権情報]	10～3月	より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、映像を通してビジュアルに府民に人権に関する情報等を提供する番組 [放 送 局] K B S 京 都 [放 送 内 容] 人権の擁護・啓発に関する活動を行っているNPO団体等の取組の紹介(番組名) 「竹田の子守唄」 「福祉の地域づくり女性交流会」 「第16回KY0のあけぼのフェスティバル」 「舞鶴学園」 「子育てサポーターグループ」 「ねこぼす」 「ワイワイクラブバンド」 「高齢者地域活性化促進事業」 「丹後福祉応援団」 「第1回アピリンピック京都大会出場の方」 「NPO法人京都肢体者協会車いす社交ダンス」 「NPO法人丹波マンガン記念館」 「京都府名誉友好大使」 「にほんご教室「世界はテマン」 「(社)京都犯罪被害者支援センター」 「ホームレスの人権」 「インターネットによる人権侵害とその対策」 「ユニバーサルデザイン」 「京都人権啓発フェスティバル」 「(財)世界人権問題研究センター」 「人権擁護委員会の活動」 「京都人権啓発推進会議」 [時 間 枠] 毎週日曜日 午前8時30分～45分(年末・年始を除く) [評 価] 様々な視点・立場から人権問題に取り組んでいる団体等の活動を取り上げることにより、人権についてより具体的に考える機会になるとともに、人権問題の解決へ向けて府民が主体的に取り組もうとする意識を高めることに役立っていると考えている。今後はこの番組に出演した団体間の連携が図れるようにしたい。	人権啓発推進室

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ラジオ番組放送 〔京都人権情報〕	4～9月	<p>府民が「人権」について主体的に考える契機ときっかけとするため、人権に関する様々な情報をラジオを通じて府民に提供する番組</p> <p>〔放送局〕 KBS京都</p> <p>〔放送内容〕 人権の擁護・啓発に関する活動を行っている団体等の取組の紹介(番組名) 人権問題全般:「人権擁護委員の活動」,「人権のタテの関係とヨコの関係」,「人権侵害の救済」,「ユニバーサルデザイン」,「自然環境保全と人権」 同和問題:「現代に残る穢れ意識」,「穢れ意識と女人堂・加々刈堂」 女性の人権:「DV・ドメスティック・バイオレンス」,「ジェンダー」,「府立医大・女性専用外来」,「福祉の地域づくり女性交流会」,「第16回KYOのあけぼのフェスティバル」 子どもの人権:「里親制度」,「子どもへの暴力」,「社会的ひきこもり」 高齢者の人権:「高齢者の力を活かそう」,「SKYセンターの活動」,「高齢者虐待」 障害のある人の人権:「聴覚言語障害者 共に生きる」,「全国手話研修センターコミュニティ 嵯峨野」 外国人の人権:「外国人と国籍」,「多文化共生」,「京都府国際センターの活動」 患者等の人権:「ハンセン病学習」,「感染症と人権」,「HIVとAIDS」 犯罪被害者の人権:「犯罪被害者支援センターの活動」 性同一性障害:「性同一性障害者と人権」 インターネットによる人権侵害:「インターネットによる人権侵害とその対策」</p> <p>〔時間枠〕 毎週金曜日 午後5時20分～30分</p> <p>〔評価〕 日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題等を人権尊重の視点から解説したり、様々な視点・立場から人権問題に取り組んでいる団体等の活動を取り上げることにより、人権についてより具体的に考える機会になるとともに、人権問題の解決へ向けて府民が主体的に取り組もうとする意識を高めることに役立っていると考えている。今後はこの番組に出演した団体間の連携が図れるようにしたい。</p>	人権啓発推進室

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
啓発冊子作成 [21世紀を人権の世紀にするために]	3月	国内や京都府の人権尊重に関する取組等を中心に人権問題について体系的に整理した啓発冊子を作成 [内 容] ・「人権」とは ・人権をめぐる国内外の取組 ・人権問題の現状等 (1) 同和問題 (2) 女性 (3) 子ども (4) 高齢者 (5) 障害のある人 (6) 外国人 (7) 患者等 (8) さまざまな人権問題(犯罪被害者、ホームレス、インターネットによる人権侵害、個人情報の保護、性同一性障害者、その他) ・人権啓発の推進 ・人権相談等の対応の充実 [数 量] 15,000部 [評 価] 久しく人権問題について体系的に整理した啓発冊子を作っていなかったために、各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権について学ぶための教材として広く活用された。	人権啓発推進室

(1) 同和問題

事業名	実施時期	概要	担当						
地域交流支援事業	通 年	<p>地域住民の交流促進を通じ、住民の相互理解を深めるとともに、地域活動のリーダーとなる人材の育成や、住民の自覚意識の高揚を図り、人権が真に尊重されるコミュニティを形成するため、市町村が隣保館等の施設を積極的に活用して実施する地域交流事業に対して補助</p> <p>〔対象事業〕 文化交流活動事業 スポーツ交流活動事業 児童交流活動事業</p> <p>〔実施市町村〕 21市町</p> <p>〔実施施設〕 66施設</p> <p>〔実施事業数〕 292事業</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>文化交流活動事業</td> <td style="text-align: right;">188事業</td> </tr> <tr> <td>スポーツ交流活動事業</td> <td style="text-align: right;">18事業</td> </tr> <tr> <td>児童交流活動事業</td> <td style="text-align: right;">86事業</td> </tr> </table> <p>〔評価〕 平成14年度の事業創設以降、実施箇所数、事業数ともに増加しており、市町村における活用が広がっている。 今後、周辺地域を含めた地域社会全体の交流を一層進めていくため、事業の内容や運営方法の工夫見直しを求めていくことが必要。</p>	文化交流活動事業	188事業	スポーツ交流活動事業	18事業	児童交流活動事業	86事業	人権啓発推進室
文化交流活動事業	188事業								
スポーツ交流活動事業	18事業								
児童交流活動事業	86事業								

(1) 同和問題

事業名	実施時期	概要	担当
人権啓発指導者養成研修会 〔同和問題〕【再掲】	8月20日	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施</p> <p>〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔講義内容〕 「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英（関西大学社会学部教授）</p> <p>〔会場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕105名 内訳：京都府79名 市町村22名 民間4名</p> <p>〔評価〕 同和問題について人権啓発指導者に対して認識・考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	人権啓発推進室
啓発冊子作成 〔人権啓発指導者養成研修会 講演録〕【再掲】	3月	<p>職場や地域など府民の身近なところで人権啓発を企画・実施する指導的人材の養成を目的として開催した研修会の内容を、研修参加者以外へも普及し自己研鑽を促すため、同研修会の講演録を中心に関係する資料を整理して啓発冊子を作成</p> <p>〔内容〕 「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英（関西大学社会学部教授）</p> <p>〔数量〕 1,500部</p> <p>〔配布先〕 ・府（庁内関係課、地方機関、府立施設） ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校</p> <p>〔評価〕 同和問題に係る啓発冊子として、各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権に関わる指導者層に対する教材として広く活用された。</p>	人権啓発推進室

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
KYOのあけぼのフェスティバル開催事業	10月16日 17日	<p>男女共同参画社会の実現と、女性問題に関する府民の意識の高揚を図るための講演会等の実施</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性チャレンジシンポジウム ・女性のチャレンジ「よりどりみどり」 ・親子であそぼう広場 ・ワークショップ ほか <p>〔会 場〕</p> <p>京都テルサ</p> <p>〔参加者〕</p> <p>約3,300名</p> <p>〔評 価〕</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けて、女性を中心とする幅広い府民の参加と協力によるフェスティバルを開催することは、多様な男女のイメージの浸透を図るとともに、人権意識の高揚に寄与した。</p>	女性政策課
女性国内交流研修事業	6月22日 7月1日 ～5日	<p>地域社会の諸問題に積極的に取り組む女性リーダーを養成するための研修事業を実施</p> <p>〔内 容〕</p> <p>事前研修 講義「女性と人権」 米田真澄（財）世界人権問題研究センター嘱託研究員 交流研修：活動発表、意見交流、討論会など</p> <p>〔会 場〕</p> <p>船内、訪問先（北海道）</p> <p>〔参加者〕</p> <p>87名</p> <p>〔評 価〕</p> <p>女性と人権に関する研修を必ず実施しており、参加者の人権意識の高揚に寄与した。</p>	女性政策課

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
女性顕彰事業	10月16日	<p>女性の能力発揮を促すための顕彰事業を実施</p> <p>〔内容〕 府内で活躍している女性で特に功績顕著な者の顕彰(受賞者3名・1グループ)</p> <p>〔評価〕 活躍している女性たちを広く社会に顕彰することにより、多くの女性たちに励ましとインセンティブを与えた。</p>	女性政策課
ドメスティック・バイオレンス対策事業	通年	<p>ドメスティック・バイオレンスの被害者支援や防止対策を図るため、被害者のグループカウンセリングや相談体制の整備を実施</p> <p>〔内容〕 一般啓発講座 (南部会場)「DV防止法改正のポイント・地域での取り組みのために」 戒能民江(お茶の水女子大学生生活科学部教授) (北部会場)「DVの理解と被害者へのよりよいサポート」 上大谷 悦子(ウイメンズカウンセリング京都スタッフ)</p> <p>〔参加者〕 南部会場54名 北部会場56名</p> <p>DV相談(DVサポートライン)</p> <p>〔相談件数〕 1,110件</p> <p>DV被害者のグループカウンセリング</p> <p>〔参加者〕 (南部会場)68名(延べ)計10回 (北部会場)15名(延べ)計5回 ・非暴力に係る講座 57名(延べ)</p> <p>〔評価〕 顕在化するDV被害に対する啓発、相談対応、自立支援の充実に大きく寄与している。</p>	女性政策課

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
女性総合センター相談事業	通年	<p>女性に関わる複合的な問題についての相談・カウンセリングの実施</p> <p>〔内容〕 一般相談（利用件数：1,906件） 法律相談（利用件数：92件） フェミニストカウンセリング（利用件数：91件） 女性労働相談（利用件数：1,780件）</p> <p>〔評価〕 女性に対する総合的な相談窓口として定着しており、女性の悩みの解決と社会参画に寄与している。 特に、常に女性弁護士が対応する「法律相談」では、DV被害者に対する専門相談として、DVセンター等からも期待されている。</p>	女性政策課
女性総合センター運営助成事業	通年	<p>男女共同参画推進条例、新KYOのあけぼのプランに基づき、男女共同参画社会づくりを推進する拠点として、女性総合センターの運営及び交流、相談事業等に対して助成</p> <p>〔評価〕 男女共同参画推進条例に基づく拠点施設として年々事業の充実を図っており、府における男女共同参画の推進に大きく寄与している。</p>	女性政策課
女性情報提供事業	通年	<p>女性総合センターの情報提供機能等の充実</p> <p>〔内容〕 関係図書の整備（利用者数：2,188名/貸出冊数：5,108冊） 人材情報の提供（登録者数：1,294名）ほか</p> <p>〔評価〕 男女共同参画等に関する図書の整備や、各分野で活躍する女性や男女共同参画に関する講演等が可能な人材情報の提供提供により、府民の人権についての学習機会の確保に寄与している。</p>	女性政策課
地域内職センター等設置運営事業	通年	<p>内職者の労働条件の向上と生活の安定を図るため、内職者団体の運営に対して助成</p> <p>〔助成対象〕 6団体・8市町</p> <p>〔評価〕 孤立しがちな女性内職従業者を励まし、労働条件の向上と生活の安定に寄与している。</p>	女性政策課
男女共同参画計画推進事業	通年	<p>新KYOのあけぼのプランを総合的・効果的に推進するために、関係機関と連携して行う諸施策を実施</p> <p>〔内容〕 女性政策推進本部・推進員会の開催（1回） 男女共同参画審議会の開催（3回） 女性団体懇話会の開催（1回）</p> <p>〔評価〕 庁内各部署と施策の総合的な調整を行い、また、審議会から、施策の方向性に関する意見を得ながら、広域女性団体とも連携することにより、男女共同参画の推進に寄与している。</p>	女性政策課

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
保育ルーム設置促進事業	通 年	<p>乳幼児を持つ女性の社会参画のための条件整備</p> <p>〔内 容〕 府が実施する講演会等に保育ルームを設置</p> <p>〔設置件数〕 313件</p> <p>〔保育児童数〕 1,269名</p> <p>〔評 価〕 講演等に参加しやすくなったと利用者から好評を得ており、乳幼児を持つ女性の社会参画に寄与している。</p>	女性政策課
地域女性エンパワーメントセミナー事業	1月17日	<p>地域における女性リーダーの資質向上と地域女性団体のネットワーク化を促進するための交流事業を実施</p> <p>〔内 容〕 講演会 「新しい一歩を踏み出そう～活動は楽しくなきゃ!～」 井上はね子(フリー編集者、アミ編集学校代表)</p> <p>〔参加者〕 約200名</p> <p>〔評 価〕 女性の能力発揮を促し、社会参加の促進に寄与している。</p>	女性政策課
女性問題啓発グラフ誌「KYOのあけぼの21」作成	8月 11月 3月	<p>男女共同参画に関する啓発冊子の発行</p> <p>〔数 量〕 8,000部×3回</p> <p>〔評 価〕 男女共同参画について広く府民にわかりやすく啓発するとともに、常時、関係機関・団体や各界のオピニオンリーダー等、約1000箇所にお送りする中で、その理解を得ることに寄与している。</p>	女性政策課
KYOのあけぼの大学開催事業	随 時	<p>男女共同参画の実現と共同参画社会の創造を目指したセミナーの実施</p> <p>〔内 容〕 講義「メディアの中の女性と男性」 小川真知子 西宮市女性センターウェブ情報担当 ほか</p> <p>〔会 場〕 女性総合センターほか</p> <p>〔参加者〕 約3,600名</p> <p>〔評 価〕 女性の人権に関する研修等を実施し、参加者の人権意識の高揚を図ることに寄与している。</p>	女性政策課

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
農業・農村男女共同参画推進事業	H16年5月～3月	<p>農山漁村社会における女性の地位向上、方針決定への参画促進等を図るための啓発の実施</p> <p>〔内容〕 写真コンクールの開催、作品展示等</p> <p>〔テーマ等〕 農林漁業における女性の活躍</p> <p>〔対象者〕 府民</p> <p>〔会場〕 撮影場所 - 府内全域 表彰場所 - 京都府総合見本市会館 作品展示、配布先 - 府庁、写真商店舗、農林漁業団体 応募点数 - 123点 作成部数 - 2,400部</p> <p>〔評価〕 3月10日の農山漁村女性の日にあわせて写真コンクールの優秀作品をポスターにして展示することによって、農林漁業において女性が活躍する様子をアピールでき、農山漁村社会における女性の地位向上の意識を広めることができた。 作品応募した人は、農林漁業に携わる女性のイキイキした表情や様子を表現することにより、女性の地位向上意識が高まった。</p>	農産流通課
女性団体育成事業	通年	<p>府内の広域的な女性団体が行う啓発事業、健康関連事業、ネットワーク促進事業等に対して助成</p> <p>〔助成対象〕 6団体</p> <p>〔評価〕 広域的な活動を行う女性団体の各種事業に助成することにより、女性団体のみならず、広く府民の人権意識の高揚に寄与している。</p>	女性政策課

(2) 女性の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当
人権啓発指導者養成研修会 【女性の人権問題】【再掲】	8月20日	職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施 【概要】 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会 【内容】 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義 【テーマ】 「男女共同参画社会基本法の5年」 福田 雅子(ジャーナリスト) 【会場】 京都テルサ 【参加者】106名 内訳：京都府461名 市町村142名 民間 29名 人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者): 10名(合計16名) 【評価】 女性の人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。	人権啓発推進室

(3)子どもの人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ファミリー・サポート・センターアドバイザー研修の開催	7月16日	<p>ファミリー・サポート・センターのアドバイザーが、会員及び子どもへの接し方等の指導力を養うとともに、他センターとの情報交換を行い、ファミリー・サポート・センター事業についての理解と認識を深めた。</p> <p>〔内容〕 事業種別 研修(講演) テーマ:「子どもの人権を守ること」～親と子を共に支える視点～ 講師:定本ゆきこ(京都少年鑑別所法務技官、精神科医) 〔対象者〕 ファミリー・サポート・センターのアドバイザー、市町村職員等) 〔会場〕 京都府職員福利厚生センター 〔参加者〕 26名 〔評価〕 研修後にアンケートを回収した結果、講演について、80%が「とても参考になったと」評価</p>	労政課
犯罪被害少年等に対する支援事業	通年	<p>犯罪・いじめ・児童虐待等被害少年に対する支援活動のため、少年や保護者等からの相談に対して、従来少年サポートセンターと警察署少年係担当職員が、面接又は電話により必要な助言、指導を行っていたものについて、インターネットの普及により、電子メールが新たなコミュニケーション手段となっている現状を踏まえ、電子メールを活用した相談業務を推進することにより、少年相談業務の拡充を図った。</p> <p>少年相談業務の充実 〔内容〕 電子メールを活用した少年相談業務の実施 (評価) 非面接、非会話での意思伝達が可能であるため、発話・聴覚障害を持つ相談者、ひきこもり・対人不安等の問題を抱えた相談者の相談手段が広がった。 相談者の時間的、交通手段等の問題が解消された。 核心に迫る相談が展開されやすくなった。 保存メールの読み返し、書き込み作業等により、自己の問題や現状を認識し、自身で問題解決に取り組む姿勢が期待できるようになった。</p> <p>少年心理分析の実施 〔内容〕 臨床心理士による継続的な少年相談の推進 臨床心理士の心理分析に基づく効果的なカウンセリングの実施 〔評価〕 仏教大学大学院教授によるスーパーバイズの実施により、臨床心理士の技能の向上が図られ、長期的なカウンセリングが必要となる被害者少年等に対する効果的な支援活動を推進した。</p>	警察本部少年課

(3) 子どもの人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>児童虐待防止対策推進事業 【再掲】</p>	3月25日	<p>児童虐待の予防等を図るため、関係機関によるネットワークを構築して研修等を実施した。</p> <p>保健機関等職員研修 〔内容〕 講義及びグループワーク 〔テーマ〕 「虐待がおこらない地域づくりのために」 山田 和子 和歌山県立医科大学保健看護学部教授 尾崎 米厚 鳥取大学医学部助教授 〔参加者〕 保健所、市町村職員 23名 〔評価〕 保健関係職員が虐待未然防止対策の方向性について考える機会になった。研修内容をもとに地域の具体的な事業の展開を促す契機となった。</p>	<p>こども未来室</p>
	3月11日	<p>地域別研修 〔南部会場〕 〔内容〕 講義 〔テーマ〕 「虐待未然防止に係る関係機関とのネットワークについて」 川畑 隆 京都児童相談所判定課長 58名 〔会場〕 乙訓保健所 〔参加者〕 58名 〔北部会場〕</p>	
	9月14日	<p>〔内容〕 講義 〔テーマ〕 「児童虐待・育児不安の家庭の見方」 阿部 昇 こころのケアステーション生きる力支援センター 〔会場〕 中丹東保健所 〔参加者〕 39名 〔評価〕 市町村の保健関係者の参加が多く、意識の高さがうかがえた。虐待についての理解を深められ、今後の市町村での具体的な取組を促す契機となった。</p>	

(3)子どもの人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>児童虐待防止対策推進事業 【再掲】</p>	<p>3月25日</p>	<p>ワークショップ 一般職員研修 〔内容〕 講義 〔テーマ〕 「こどもの権利を考える」 松村 淳子 府こども未来室長 〔対象者〕 府職員 〔参加者〕 約200名 〔評価〕 子どもを取り巻く現状等を通して、子どもの人権擁護の必要性について府職員の理解が深まった。</p>	<p>こども未来室</p>
	<p>通年 3月</p>	<p>啓発事業 児童虐待の防止を図るため、市町村域での関係機関のネットワークを構築して実施する啓発活動等 〔内容〕 児童虐待防止ホームページによる啓発 児童虐待防止CD-ROMの配布 保育所・幼稚園、民生・児童委員用リーフレットの作成 児童虐待防止と援助のためのネットワーク指針の作成 〔評価〕 児童虐待に対する理解を通じて、府民及び地域の関係者の児童の人権についての意識を高めることができた。</p>	

(3) 子どもの人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>トータルアドバイスセンター 設置事業 【再掲】</p>	<p>通 年</p>	<p>不登校をはじめとする学校不適応問題及び子育てやしつけなどの家庭教育について悩みや不安を抱く、児童生徒及びその保護者に対して、適応指導相談員(精神科医、臨床心理専門家、スクールカウンセラー経験者)、家庭教育カウンセラー(臨床心理専門家)、教育相談指導員(京都府総合教育センター研究主事)が課題解決のための援助及び助言を目的とする総合的な教育相談を実施</p> <p>〔内 容〕 教育相談</p> <p>〔実施方法・相談時期〕 電話教育相談 毎日 8:30～20:30(祝日法に基づく休日及び年末年始の休日を除く) 来所教育相談 毎週月～金 10:00～17:00(祝日法に基づく休日及び年末年始の休日を除く) 巡回教育相談 毎月1～2回程度</p> <p>〔相談件数〕 4,300件(延べ)</p> <p>〔評 価〕 児童生徒、保護者との定期的、継続的な心理面接を実施し、児童生徒や保護者に対して、課題の早期発見、早期の適切な対応に資する教育相談を実施することができた。</p>	<p>学校教育課 社会教育課</p>
<p>人権啓発指導者養成研修会 【子どもの人権問題】【再掲】</p>	<p>11月18日</p>	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施</p> <p>〔概 要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内 容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テーマ〕 親と子の間～里親運動42年の実践から 橋本 明 ((社)家庭養護促進協会事務局長)</p> <p>〔会 場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕44名 内 訳：京都府27名 市町村15名 民間 2名</p> <p>〔評 価〕 子どもの人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

(4) 高齢者の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
高齢者総合相談センターの運営	通年	<p>高齢者が抱える各種の心配、悩み事等に対し、総合的かつ迅速に対応するとともに、各種情報の提供を実施</p> <p>〔事業内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般相談（高齢者及びその家族等からの相談） ・専門相談（法律相談等） ・情報提供（高齢者及び高齢化等に関する各種情報の収集・提供等） <p>〔運営〕</p> <p>（財）京都SKYセンターに委託</p> <p>〔評価〕</p> <p>法律相談等、複雑な案件に応える場の提供により、高齢者の生活への支援など、所期の目的を概ね達成することができた。</p>	高齢・援護室
高齢者自立支援推進委員会の開催	通年	<p>従来の「身体拘束ゼロ推進委員会」を発展的に組替・拡充し、問題が潜在化しがちとなる高齢者虐待等の困難事例への対応策や認知症（痴呆）高齢者対策等を調査・研究するための「高齢者自立支援推進委員会」を開催</p> <p>〔委員会での主な検討事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設等における身体拘束ゼロの推進 ・高齢者虐待問題など、在宅介護における困難事例への対応策の調査・研究 <p>〔評価〕</p> <p>高齢者虐待及び身体拘束に係る実態調査を行うとともに、「痴呆」に替わる用語として、「認知症」を使用することについて、広く関係団体に周知するなどの取組を実施。</p> <p>これらにより、高齢者虐待や認知症等の理解についての啓発が図られた。</p>	介護保険推進室

(4) 高齢者の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権啓発指導者養成研修会 〔高齢者の人権問題〕【再掲】</p>	<p>11月25日</p>	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会を実施 〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会 〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義 〔テーマ〕 変貌する高齢社会と人権の課題 岡山孝太郎(京都保育福祉専門学院長) 〔会場〕 京都テルサ 〔参加者〕54名 内訳：京都府36名 市町村16名 民間2名 人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者):10名(合計16名) 〔評価〕 高齢者の人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

(5) 障害のある人の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
「障害者週間」啓発活動促進事業	12月2日 (障害者のつどい)	<p>障害者週間を中心とした街頭啓発、各種イベント等の実施</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者のつどい(会場：綾部中丹文化会館/参加者：約800名) ・体験発表、お祭り広場 ・啓発ポスターの作成(1,000枚) ・体験作文、ポスターコンクールの実施(入賞作品集の作成：770冊) <p>〔評 価〕</p> <p>障害者の集いの参加者が府内各地より800名を超える方が参加。体験作文、ポスターコンクールには、小学校・中学校等から226点の応募があり、最優秀作をポスター(1000枚)にして府内各地域で掲示。以上のことにより、多くの府民の方に「障害者週間」についてひろく啓発できた。</p>	精神・社会参加室
障害者ふれあい広場「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」開催事業	5月19日 雨天中止	<p>障害者と府民のふれあい、交流の機会となるスポーツイベントの開催</p> <p>〔会 場〕</p> <p>丹波自然運動公園</p> <p>〔評 価〕</p> <p>雨天中止</p>	精神・社会参加室
「京都とっておきの芸術祭」開催事業	9月17日 ～19日	<p>障害者に対する理解と交流の促進を目的とした芸術作品展の実施</p> <p>〔内 容〕</p> <p>公募による障害者の芸術作品展、ものづくりワークショップ及び体験コーナーの実施</p> <p>〔会 場〕</p> <p>京都文化博物館</p> <p>〔参 加 者〕</p> <p>約1,300名</p> <p>〔評 価〕</p> <p>1300名を超える来場者があったが、参加体験型の「ものづくりワークショップ」を行うことにより、作品出展者の関係者以外の方の参加が多くなった。</p>	精神・社会参加室
全国車いす駅伝競走大会開催事業	2月27日	<p>障害者に対する理解と交流の促進を目的とした全国規模の障害者スポーツイベントの実施</p> <p>〔内 容〕</p> <p>都道府県対抗車いす駅伝競走大会(27チーム参加)</p> <p>〔評 価〕</p> <p>本大会をボーイスカウト、ガールスカウト、各種団体をはじめ、ボランティア等、約4,200人の協力を得て開催し、また、当日は、沿道から約50,000人の府民が応援するなど、多くの府民の方に障害者スポーツについてひろく啓発できた。</p>	精神・社会参加室

(5) 障害のある人の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
社会参加事業	通年	<p>障害者の社会参加の促進を図るための啓発等の実施</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加推進会議の開催(年3回) ・福祉機器の展示(5会場) ・身体障害者補助犬の啓発事業を通じたビデオの作成と配付 <p>〔評 価〕</p> <p>多くの府民の方に障害者の理解についてひろく啓発できた。また、補助犬啓発事業の成果物(城陽市内の小学校の取組)を府内小・中学校に送付し、広く啓発できた。</p>	精神・社会参加室
啓発ビデオの貸し出し	通年	<p>障害者問題に関する理解の促進を図るため、障害者問題を取り上げた啓発ビデオ(スポーツ大会記録ビデオ)の貸し出しを実施</p> <p>〔評 価〕</p> <p>教育庁のビデオライブラリーに登録しているが、貸し出し実績低い。このため、障害福祉担当室が実施する相談員研修会等においてビデオ放映するなど、福祉関係者の啓発に活用した。</p>	精神・社会参加室

(6) 外国人の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
外国語生活ガイド作成	通 年	<p>・(財)京都府国際センターホームページにおける府内在住の外国人に対する生活情報の提供 [提供言語] 日本語、英語、ハングル、中国語、ポルトガル語、スペイン語 [評 価] 言葉の障壁により、生活に必要な情報の入手が困難な外国籍府民に対し、母国語で情報を提供することにより、「暮らしやすい、学びやすい、働きやすい」生活環境に寄与している。</p>	国 際 課
ラジオ番組放送	通 年	<p>府内在住の外国人に生活情報等を提供するラジオ番組 [放送局] FM CO・CO・LO [放送内容] 4カ国語による生活情報・府政情報 [評 価] 外国籍府民の主要4言語による府政情報、生活情報の提供をすることで、外国籍府民に必要な府政情報を効果的に提供している。 また、鳥インフルエンザやSARSなどの災害時に、外国籍府民が必要な情報が入手できるよう本事業を活用している。</p>	国 際 課
きょうと探訪留学生交流事業	8月5～6日 9月25～26日	<p>留学生の府に対する理解の促進と府民との交流・理解の促進を目的としたホームステイ等の実施 [内 容] 丹波町 参加者：31名 美山町/参加者：32名 [評 価] ツアー後もホストファミリーと参加留学生の交流が続くなど、府民と留学生の草の根レベルの交流の輪を広げること寄与している。</p>	国 際 課
京都府名誉友好大使任命事業	随 時	<p>府内在住の留学生の中から名誉友好大使を任命し、府主催行事への参加等を通じて、異文化に対する理解を促進 [任命数] 10名(累計95名) [活動状況] 学校における人権学習での講演(4回) 異文化を知るための国際理解事業等の実施(98回) [評 価] 積極的に京都府の活性化や国際化の原動力となるような能力を発揮できるよう、日常的な活動の場づくりや海外との国際交流・国際協力に貢献できる機会づくりを提供している。</p>	国 際 課

(6) 外国人の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
語学指導等を行う外国青年招致事業	-	<p>地域における国際理解の促進を図るため、小中高等学校等で外国語指導等を行う外国青年を招致し、京都府、京都府教育委員会、市町村、市町村教育委員会等に配置</p> <p>〔招致数〕 89名</p> <p>〔評価〕 府内の小・中・高校生の英語能力の向上や国際理解の促進に資するとともに、京都府の国際化の原動力となるような能力を発揮できるよう、日常的な活動の場づくりや海外との国際交流・国際協力に貢献できる機会づくりを提供している。</p>	国際課
外国籍府民のための生活相談	通年	<p>(財)京都府国際センターに相談窓口を設け、英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語で対応</p> <p>〔利用状況〕 1,985名(暦年)</p> <p>〔評価〕 言葉の障壁があり、制度や習慣に不慣れな外国籍府民に対し、専門の相談員が母国語で相談に応じることにより、「暮らしやすい、学びやすい、働きやすい」生活環境に寄与している。</p>	国際課
人権啓発指導者養成研修会 〔外国人の人権問題〕【再掲】	8月30日	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施</p> <p>〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テーマ〕 外国籍府民の人権 仲尾 宏 (京都造形芸術大学客員教授)</p> <p>〔会場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕109名 内訳：京都府86名 市町村18名 民間5名</p> <p>人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者):10名(合計16名)</p> <p>〔評価〕 外国人の人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	人権啓発推進室

(7) 患者等の人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
エイズに関する普及啓発事業	12月	<p>京都府エイズ予防月間を中心とした各種啓発活動</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会・参加型研修会開催(21回/参加者:4,115名) ・啓発ポスター作成(4,000枚) ・啓発パンフレット作成(20,000部) ・ラジオスポット啓発広告(エフエム京都) ・新聞記事下広告や府民だより等による啓発 <p>〔評 価〕</p> <p>平成16年度から新たに参加型の研修会を導入し、受講者の興味関心を高める工夫を行い、評判も良く、概ね所期の目的を達成できた。</p>	健康対策室
ハンセン病対策啓発事業	6月	<p>ハンセン病を正しく理解する週間を中心とした各種啓発活動</p> <p>〔内 容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発リーフレット作成(50,000部) ・パネル等展示(場所:京都府庁1号館展示ロビー、期間:平成16年6月21~25日) <p>〔評 価〕</p> <p>啓発リーフレットについては、平成12年度から一般府民以外に府内全高校3年生に対しても配布しており、概ね所期の目的を達成できた。</p>	健康対策室
人権啓発指導者養成研修会 〔患者の人権〕【再掲】	8月30日	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施</p> <p>〔概 要〕</p> <p>市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内 容〕</p> <p>新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テ ー マ〕</p> <p>いのち、響きあって~HIVを通して人権と共生を考える~ 五島真理為((特)HIVと人権・情報センター理事長)</p> <p>〔会 場〕</p> <p>京都テルサ</p> <p>〔参加者〕111名</p> <p>内 訳:京都府88名 市町村18名 民間5名</p> <p>人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者):10名(合計16名)</p> <p>〔評 価〕</p> <p>HIV感染者に係る人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	人権啓発推進室

(8) さまざまな人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
個人情報保護推進事業	随時	<p>個人情報保護制度に係る啓発の実施</p> <p>〔内容〕 府民だよりにおける啓発記事の掲載(紙面2月版 インターネット版1~3月版) 啓発パンフレットの配布(府政情報センター等で随時配布)</p> <p>〔評価〕 平成17年4月の個人情報保護法の全面施行を控えていたこともあり、法律の施行に伴う事業者の義務等についての問い合わせや相談が増加した。</p>	総務調整課
犯罪被害者対策	通年	<p>犯罪被害者の人権に配慮した事件対応の実施</p> <p>〔内容〕 被害者の安全確保 再被害防止対策の推進 再被害防止実施要綱の確実な実践による被害者保護 地域における被害者の安全の確保 被害者の精神的被害の回復への支援 各種相談業務と連携した臨床心理士の効果的な運用 (社)京都犯罪被害者支援センターと連携した支援活動の推進 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の活性化及び参画団体との連携 被害の補償、被害品の回復 犯罪被害者等給付金支給制度の広報と適切な運用 捜査過程における被害者の二次的被害の防止・軽減 「被害者の手引」の確実な交付 被害者のニーズに対応したカウンセリング活動の実施</p> <p>〔評価〕 京都府犯罪被害者支援連絡協議会の参画機関である京都市をはじめ、各警察署単位における市町村との連携により、犯罪被害者等給付金支援裁定申請に必要な行政証明の無料化を図り、犯罪被害者等の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>(社)京都犯罪被害者支援センターをはじめ、関係機関団体との連携強化を図り、ここの犯罪被害者等に対する効果的かつ継続的な支援活動を推進することが出来た。</p> <p>警察署の犯罪被害者支援係を中心に指定被害者支援要員の積極的な運用を図るとともに、「被害者の手引」等の資料を作成、配布して被害者等の精神的負担の軽減が図られた。</p> <p>被害者支援に対する社会的気運が高まっていることから、今後も行政機関をはじめ関係機関団体との連携強化を図り、施策の推進を図る必要がある。</p>	警察本部警務課 犯罪被害者対策室

(8) さまざまな人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
犯罪被害少年等に対する支援事業 【再掲】	通年	<p>犯罪・いじめ・児童虐待等被害少年に対する支援活動のため、少年や保護者等からの相談に対して、従来少年サポートセンターと警察署少年係担当職員が、面接又は電話により必要な助言、指導を行っていたものについて、インターネットの普及により、電子メールが新たなコミュニケーション手段となっている現状を踏まえ、電子メールを活用した相談業務を推進することにより、少年相談業務の拡充を図った。</p> <p><u>少年相談業務の充実</u></p> <p>〔内容〕 電子メールを活用した少年相談業務の実施</p> <p>〔評価〕 非面接、非会話での意思伝達が可能であるため、発話・聴覚障害を持つ相談者、ひきこもり・対人不安等の問題を抱えた相談者の相談手段が広がった。 相談者の時間的、交通手段等の問題が解消された。 核心に迫る相談が展開されやすくなった。 保存メールの読み返し、書き込み作業等により、自己の問題や現状を認識し、自身で問題解決に取り組む姿勢が期待できるようになった。</p> <p><u>少年心理分析の実施</u></p> <p>〔内容〕 臨床心理士による継続的な少年相談の推進 臨床心理士の心理分析に基づく効果的なカウンセリングの実施</p> <p>〔評価〕 仏教大学大学院教授によるスーパーバイズの実施により、臨床心理士の技能の向上が図られ、長期的なカウンセリングが必要となる被害者少年等に対する効果的な支援活動を推進した。</p>	警察本部少年課

(8) さまざまな人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権啓発指導者養成研修会 [インターネットによる人権侵害]【再掲】	11月18日	職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施 [概要] 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会 [内容] 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義 [テーマ] インターネットと人権 田中規久雄(大阪大学大学院法学研究科講師) [会場] 京都テルサ [参加者] 52名 内訳: 京都府 33名 市町村 15名 民間 4名 人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者): 10名(合計16名) [評価] インターネットによる人権問題について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。	人権啓発推進室
啓発冊子作成 [人権啓発指導者養成研修会講演録]【再掲】	3月	職場や地域など府民の身近なところで人権啓発を企画・実施する指導的人材の養成を目的として開催した研修会の内容を、研修参加者以外へも普及し自己研鑽を促すため、同研修会の講演録を中心に関係する資料を整理して収録 [内容] インターネットと人権 田中規久雄(大阪大学大学院法学研究科講師) [数量] 各1,500部 [配布先] ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校 [評価] インターネットによる人権問題について、各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権に関わる指導者層に対する教材として広く活用された。	人権啓発推進室

(8) さまざまな人権問題

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権啓発指導者養成研修会 〔性同一性障害者の人権問題〕 【再掲】</p>	<p>11月25日</p>	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会の実施 〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会 〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義 〔テーマ〕 性同一性障害と人権 大島 俊之(神戸学院大学大学院実務法学研究科教授) 〔会場〕 京都テルサ 〔参加者〕51名 内訳: 京都府 32名 市町村 17名 民間 2名 人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者): 10名(合計16名) 〔評価〕 性同一性障害について、人権啓発指導者に認識、考えを深めていただく機会を設定することができた。</p>	<p>人権啓発推進室</p>
<p>啓発冊子作成 〔人権啓発指導者養成研修会講演録〕【再掲】</p>	<p>3月</p>	<p>職場や地域など府民の身近なところで人権啓発を企画・実施する指導的人材の養成を目的として開催した研修会の内容を、研修参加者以外へも普及し自己研鑽を促すため、同研修会の講演録を中心に関係する資料を整理して啓発冊子を作成 〔内容〕 性同一性障害と人権 大島 俊之(神戸学院大学大学院実務法学研究科教授) 〔数量〕 1,500部 〔配布先〕 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校 〔評価〕 性同一性障害に係る啓発冊子として、各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権に関わる指導者層に対する教材として広く活用された。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

4 計画の推進策
 (1) 指導者の養成

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権啓発指導者養成研修会 【再掲】	8月20日 8月30日 11月18日 11月25日	<p>職場や地域など府民の身近なところで、人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するための研修会を実施</p> <p>〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員等管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テーマ〕 「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英 (関西大学社会学部教授) 「男女共同参画社会基本法の5年」 福田 雅子 (ジャーナリスト) いのち、響きあって～HIVを通して人権と共生を考える～ 五島真理為 ((特)HIVと人権・情報センター理事長) 外国籍府民の人権 仲尾 宏 (京都造形芸術大学客員教授) インターネットと人権 田中规久雄 (大阪大学大学院法学研究科講師) 親と子の間～里親運動42年の実践から 橋本 明 ((社)家庭養護促進協会事務局長) 性同一性障害と人権 大島 俊之 (神戸学院大学大学院実務法学研究科教授) 変貌する高齢社会と人権の課題 岡山孝太郎 (京都保育福祉専門学院長)</p> <p>〔会場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕632名(延べ) 内 訳：京都府461名 市町村142名 民間 29名</p> <p>人権啓発指導者(全ての人権問題に関する講義を受講した者)：10名(合計16名)</p> <p>〔評価〕 教育委員会と連携し、人権研修の位置付けにしたことから、昨年より参加者数が増加したが、今後、さらに参加者を増やしていくため、より多くの人に参加してもらう取組み・工夫が必要である。また、全ての講義を受講した者に対するフォローアップをどのように行うかが課題である。</p>	人権啓発推進室

(1) 指導者の養成

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>教職員研修事業 【再掲】</p>	<p>4～7月 6～8月 5～11月</p>	<p>子どもたちが豊かな人権感覚を身に付けられるよう、教職員自らが豊かな人権意識を持つことや、人権教育に関する知識・技能の向上を図ることを目的として実施</p> <p>〔内 容〕 京都府総合教育センターの研修 (1)初任者研修 540名受講(延べ) 初任者・新規採用者研修講座 「人権教育の基本的な視点」「人権教育の現状と課題」「人権教育の果たす役割 - 同和問題について - 」「人権教育における参加型学習の実際」等 (2)経験年数別研修 1032名受講(延べ) 教職経験2年目・3年目・5年目・10年目・20年目研修講座 「学校教育の今日的課題 不登校児童生徒への理解と援助・指導を中心として 」「子どもの人権問題」「障害のある人の人権問題」「女性の人権問題」等 (3)職能別・領域等研修 466名受講(延べ) 校長・新任部長・主任講座 「人権教育推進上の今日的課題」「今日的な教育課題と部長・主任の職務と役割」 人権教育講座 「今後の人権教育の展開」「実践報告」 大学への派遣研修 (1)派遣大学：京都教育大学 (2)派遣教諭及び研究主題 中学校教諭 「自ら興味を持って人権学習に取り組むための工夫 意識調査の考察より」 高等学校教諭 「情報化社会における人権教育～メディア・リテラシーの視点を取り入れた人権学習～」</p> <p>〔評 価〕 京都府総合教育センターの研修 初任者をはじめ経験年数別に研修を積み上げていくことにより、また職能別に研修を深めることにより、人権教育に関する知識・技能の向上に努めることができた。 個別の人権問題については、「同和問題」「女性」「子ども」「障害のある人」の人権問題について研修することができた。</p> <p>大学への派遣研修 京都府の人権教育推進の中核として、その指導的役割を果たすことを期待する人材の育成ができた。</p>	<p>学校教育課</p>

(1) 指導者の養成

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権教育推進事業 (人権教育指導者研修会) 【再掲】	8月25日 11月25日	<p>京都府内の社会教育関係職員等を対象に、地域の実情に即した学習課題を明確にしながら、あらゆる人権問題の解決に役立つ学習活動を推進するために必要な指導者の資質向上を目的とする研修会を実施</p> <p>〔内容〕 研修会の実施 (1)研修会() 講義 「これからの人権教育・啓発の課題」石元 清英 関西大学社会学部教授 講義・ワークショップ 事例展開「『人権教育資料活用事例集』の有効活用について」 社会教育課 (2)研修会() 講義 「識字教育の新たな展開に向けて」内山 一雄 前天理大学教授 講義・ワークショップ グループ討議「参加型学習の手法を考える」 社会教育課</p> <p>〔対象者〕 社会教育主事、社会教育指導員、人権教育関係職員、識字学級指導者、学校教育関係者等</p> <p>〔参加者〕 研修会() 71名 研修会() 69名</p> <p>〔評価〕 参加型学習の理解を深めることにより、指導者の資質向上に資することができた。 研修の成果を各教育局の人権教育行政担当者協議会に反映させた。</p>	社会教育課

(1) 指導者の養成

事業名	実施時期	概要			担当課(室)
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会) 【再掲】	6月～3月	各教育局が、人権教育指導者研修会等の成果を踏まえながら、関係機関との連携を図り、人権に関する課題解決の方策についての研究協議等を行うとともに、管内市町村の人権に関する取組状況の情報交換を実施 【内容】 地域の実情に応じた研究協議会・講演会の開催 【対象者】 各市町村社会教育・人権教育行政担当者、社会教育委員、学校教育関係者、同和教育・人権教育推進協議会指導者等 【開催状況】			社会教育課
			第1回	第2回	第3回
		乙訓 9/27 ・研究協議		1/27 ・ワークショップと講義 「ハンセン病と人権～診療所との交流を通して～」 夜久野町教育委員会	3/3 ・研究協議 ・情報交換
		山城 10/27 ・研究協議 ・情報交換	12/22 ・実践報告 「加茂町の人権教育について」 加茂町教育委員会 「子どもへの人権教育について」 八幡市立中央小学校 ・研究協議、情報交換		2/7 ・講義 ・「これからの人権教育のあり方」 講師：前山城町教育委員会 教育長 中津川敬朗 ・研究協議、情報交換
		南丹 9/29 ・実践報告 「人権教育における参加型学習の取組について-ワークショップ『人権教育資料』を活用した学習-」 亀岡市教育委員会		11/30 ・実践報告 「わたしメッセージ溢れるまちづくり」 京都府立農芸高等学校 ・研究協議、情報交換	1/14 ・講演会 「これからの人権教育に期待すること-阪神大震災が教えたもの-」 講師 芦屋市立上宮川センター 館長 中尾 由喜雄 ・事業紹介
		中丹 6/18 ・実践報告 「公民館における人権教育の推進について」 夜久野町教育委員会 ・研究協議		8/20 ・講演「これからの人権教育」 講師：元京都府教育庁指導部長 太田信之 ・実践報告 「人権問題に関する意識調査から」 福知山市教育委員会	12/17 ・講演「亀岡市の人権教育-市民が進める人権学習-」 亀岡市教育委員会 ・研究協議

(1) 指導者の養成

事業名	実施時期	概要			担当課(室)	
人権教育推進事業 (人権教育行政担当者協議会) 【再掲】	通 年	〔開催状況〕			社会教育課	
			第 1 回	第 2 回		第 3 回
		丹後 ・研究協議 ・情報交換		11/26 ・講演とワークショップ 「実践に結びつく人権学習 のために『ワークショップ』と学 習促進者の役割」 講師：(株)グローバルコン テンツ代表取締役 岩山 仁 ・研究協議		1/26 ・研究協議 ・情報交換
〔参加者〕 374名 〔評価〕 人権教育指導者研修会と連携した取組をするとともに、管内市町村の取組状況の情報交換を通 じて、各市町村における指導者の取組内容の充実につなげることができた。						

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
啓発冊子作成 [人権口コミ講座]	3月	<p>人権に関する様々な話題を取り上げた新聞広告記事(人権口コミ講座)を活用した啓発冊子を作成し、広く府民に配布</p> <p>[内 容] 平成16年度京都新聞掲載「人権口コミ講座」(12月1日～10日掲載)</p> <p>[テーマ] 「ユニバーサルデザイン」 「人権教育のための国連10年」 「同和問題に関する意識の問題」 「女性犯罪被害者の人権」 「出生率と私たちの暮らし」 「子どもの力を発揮させるもの」 「性同一性障害者と人権」 「外国人の犯罪は多いのでしょうか」 「エイズ(AIDS)は今」 「インターネットと「ネット差別」」</p> <p>[数 量] 20,000部</p> <p>[配布先等] ・イベント等で配布 ・大型店舗・銀行等 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・各市町村 ・府内各学校 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設)</p> <p>[評 価] 冊子の話題を題材として学習会を実施する等広く利用され、人権問題を考えるきっかけづくりに役立っている。</p>	人権啓発推進室

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>啓発冊子作成 〔21世紀を人権の世紀にするために〕 【再掲】</p>	<p>3月</p>	<p>京都人権啓発推進会議設立20周年を記念して、国内や京都府の人権尊重に関する取組等を中心に人権問題を体系的に整理した啓発冊子を作成 〔内容〕 21世紀を人権の世紀にするために 〔数量〕 15,000部 〔配布先等〕 ・イベント等で配布 ・大型店舗・銀行等 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・各市町村 ・府内各学校 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) 〔評価〕 各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権について学ぶための教材として広く活用された。</p>	<p>人権啓発推進室</p>
<p>啓発冊子作成 〔人権啓発指導者養成研修会講演録〕</p>	<p>3月</p>	<p>職場や地域など府民の身近なところで人権啓発を企画・実施する指導的人材の養成を目的として開催した研修会の内容を、研修参加者以外へも普及し自己研鑽を促すため、同研修会の講演録を中心に関係する資料を整理して啓発冊子を作成 〔内容〕 ・「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英(関西大学社会学部教授) ・インターネットと人権 田中規久雄(大阪大学大学院法学研究科講師) ・性同一性障害と人権 大島 俊之(神戸学院大学大学院実務法学研究科教授) 〔数量〕 各1,500部 〔配布先〕 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校 〔評価〕 各関係機関から追加要望があるなど、地域や職場で人権に関わる指導者層に対する教材として広く活用された。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
啓発物品作成(ぬり絵)	11月	<p>芸術系大学学生の協力を得て幼児向け人権尊重に関するぬり絵の作成</p> <p>〔内 容〕 ぬり絵</p> <p>〔数 量〕 12,000冊</p> <p>〔配布先〕 ・京都府私立幼稚園園児大会参加児童 ・イベント等で配布 ・大型店舗 ・府内各学校 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村</p> <p>〔評 価〕 芸術系大学学生の協力を得て従来の者から内容を一新し、子供向けの啓発教材として広く活用された。</p>	人権啓発推進室
人権カルタの作成	11月	<p>標語コンクール優秀作品を活用した幼児・小学校低学年児童向けカルタの作成</p> <p>〔数 量〕 3,600セット</p> <p>〔配布先〕 府内各市町村・小中学校、養・聾学校、幼稚園、保育所、児童館(京都市を除く。)等</p> <p>〔評 価〕 標語コンクールの応募作品を活用し、子供向けの啓発教材として広く活用された。</p>	人権啓発推進室
啓発物品作成(メモ帳)	11月	<p>標語コンクール入賞作品を掲載した啓発物品の作成</p> <p>〔内 容〕 ・標語入り啓発メモ帳</p> <p>〔数 量〕 20,000冊</p> <p>〔配布先〕 ・イベント等で配布 ・大型店舗・銀行等 ・府内各学校 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・各市町村 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設)</p> <p>〔評 価〕 府民が日常使う物品を関係各所へ配布することにより、様々な層へ人権尊重について幅広いPRができた。</p>	人権啓発推進室

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
啓発しおり作成	12月 (人権週間)	<p>「人権擁護啓発ポスターコンクール」・「みんなで創る人権五・七・五標語コンクール」優秀作品を活用したしおりの作成</p> <p>〔数量〕 120,000枚</p> <p>〔配布先〕 府内小・中・高・養護学校への配布を中心にイベント等で配布</p> <p>〔評価〕 ポスターコンクール・標語コンクールの入選作品を掲載したしおりを通じて児童・生徒に対する持続的な啓発を行うことができた。</p>	人権啓発推進室
人権カレンダー作成	12月 (人権週間)	<p>「人権擁護啓発ポスターコンクール」・「みんなで創る人権五・七・五標語コンクール」優秀作品を活用し点字を併用した月めくり壁掛カレンダーの作成</p> <p>〔数量〕 3,600部</p> <p>〔配布状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等で配布 ・障害児(者)施設等 ・府内各学校 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・各市町村 ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) <p>〔評価〕 日付、曜日などに展示表記を併用することにより、点字について具体的に理解することが出来る教材として学校関係者を中心に、好評を得た。</p>	人権啓発推進室
府公用封筒による啓発	通年	<p>府公用封筒に人権啓発標語を印刷することで、府民の人権啓発意識の高揚を図る</p> <p>〔標語〕 「知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権」</p> <p>〔数量〕 年間645,000枚</p> <p>〔評価〕 京都府の人権に係る取組について不特定多数の者にアピールすることが出来た。</p>	財産管理課

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権教育資料作成 (人権教育指導資料作成) 【再掲】	通年	<p>「人権教育指導事例集」の分冊版の作成 平成16年3月に作成した「人権教育指導事例集」を、引き続き、児童生徒の発達段階を踏まえて活用するよう、各種会議において指導の徹底を図るため、小・中・高等学校毎の分冊版を作成 [作成部数] 4,000部 [配布先] 各教育局・府立学校・総合教育センター等 [評価] 「人権学習事例集」 地域の自主教材を掲載したり、全ての学校から実践事例を収集したりすることにより、地域の実態に応じた資料を作成することができた。 CDの中に、掲載している資料やワークシートを収納し、配布することにより、すぐに人権学習で活用することが可能になった。 人権学習の充実に向けて、校長会・教頭会・人権教育の担当者会議等で、効果的な活用に当たっての周知を図ることができた。</p> <p>「人権教育指導事例集」の分冊版 人権教育の全体計画・年間指導計画作成に向けての指示の徹底を図ることができた。</p>	学校教育課 (人権教育室)

(2) 人権教育・啓発資料等の整備

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権教育推進事業 (学習教材・啓発資料整備) 【再掲】</p>	<p>通 年</p>	<p>生涯の各時期に応じて、各人の自発的意思に基づき、人権に関する学習ができるよう、学習教材や啓発資料などの整備を推進 【内 容】 学校、地域社会、家庭、企業・職場等あらゆる場面で人権について学ぶことができるよう、視聴覚教材をはじめとする学習教材を整備 【作成内容】 (1) 府民の人権に関する学習活動を支援する指導者用資料の充実 「人権教育資料活用事例集補助教材」(平成17年3月末発行) 【配布部数】 7,000部 【配布先】 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校(P T A分を含む)、府立学校(P T A分を含む)、府立教育機関、社会教育関係団体等 (2) 家庭教育を支援するための啓発資料等の充実 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-啓発資料」 「みんないきいき未来っ子! -乳幼児期の家庭教育の充実のために-活用資料」 【配布部数】 啓発資料 50,000部 活用資料 10,000部 【配布先】 市町村(教育委員会・公民館等)、市町村立小中学校、公私立保育所(園)、幼稚園、府立学校、府立教育機関、各教育局、相談機関(児童相談所等)、社会教育関係団体、小児科医院・産婦人科医院等 (3) 視聴覚教材の整備 16mmフィルム・ビデオの活用 【視聴者数】 12,769名 【評 価】 「人権教育資料活用事例集」をより有効に活用するものとして補助教材を発行したことにより、よりきめ細やかな人権教育の推進に繋がった。 家庭教育の啓発資料は、活用資料によりきめ細かな啓発の推進につなげることができた。 利用数の多い人権教育分野の視聴覚教材の充実を図った。</p>	<p>社会教育課</p>

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>きょうと府民だよりの発行 【再掲】</p>	<p>8月 12月 ほか</p>	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うために、府政広報紙「きょうと府民だより」を活用した人権啓発を実施。</p> <p>〔内 容〕 特集記事の掲載 8月：人権強調月間特集「ありがとうよかった、あなたがいてくれて」 12月：人権週間特集「幸せな人生を歩みたい それは私たちみんなの願いです」</p> <p>シリーズ記事 人権ゆかりの地を訪ねて(7、9、10月) 人権口コミ講座(11、2、3月) きょうと府民だよりについて</p> <p>〔発行日〕 毎月第1日曜</p> <p>〔発行部数〕 102万部(別途文字拡大版1,500部・点字版500部・テープ版510本)</p> <p>〔評 価〕 好きな記事として読者からはがきが寄せられるなど、一定の定着と効果が得られていると認識している。 人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることが出来るよう、身近な話題や知識を題材とした紙面づくりを行っていくことが必要。</p>	<p>広 報 課</p>

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)														
新聞意見広告	5月 (憲法週間) 8月 (人権強調月間) 12月 (人権週間) 3月	人権の大切さなどを府民に訴えかけるため、「憲法週間」、「人権強調月間」、「人権週間」等節目に効果的にアピールするための新聞記事による広告 [掲載紙] 京都・朝日・毎日・読売・産経(8・3月は京都のみ) [段数] 京都新聞: 5段×3回 (5月) 15段(8・12月) / 10段(3月) 他紙: 2.5段×2回(5月) / 7段(12月) [構成] ・人権尊重に関するメッセージ ・啓発ポスターデザイン ・関連行事等告知ほか [評価] 人権尊重のメッセージや各種啓発事業の告知を広範かつ効果的に実施することができた。 人権尊重のメッセージについては、府民が人権を自らの生活にかかわる具体的なものとして理解することができるよう、引き続き紙面構成を検討・改良していくことが必要。	人権啓発推進室														
新聞意見広告 [人権口コミ情報] 【再掲】 啓発冊子作成 [人権口コミ講座] 【再掲】	12月1日 ~10日 (人権週間) 3月	人権週間の時期(12月1日~10日)に人権に関する様々な話題を取り上げ、府民への関心提起をねらいとして行う新聞広告記事を連続して掲載するとともに、当該記事を活用して啓発冊子を作成し、広く府民に配布 [掲載紙] 京都新聞 [口コミ講座発行部数] 20,000部 <各回テーマ> <table border="1" data-bbox="734 1010 1756 1220"> <tr> <td>全 般</td> <td>エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年</td> </tr> <tr> <td>同和問題</td> <td>同和問題に関する意識の問題</td> </tr> <tr> <td>女 性</td> <td>女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>子どもの力を発揮させるもの</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>外国人の犯罪は多いのでしょうか</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>性同一性障害者と人権</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>エイズ(AIDS)は今</td> </tr> </table> [評価] 日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題を人権尊重の視点から分かりやすく解説したものを、京都新聞という媒体を通じてより府民が認識しやすいようにすることにより、府民が人権について具体的に考える機会とすることができた。	全 般	エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年	同和問題	同和問題に関する意識の問題	女 性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし	子ども	子どもの力を発揮させるもの	外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか	障害者	性同一性障害者と人権	感染症	エイズ(AIDS)は今	人権啓発推進室
全 般	エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年																
同和問題	同和問題に関する意識の問題																
女 性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし																
子ども	子どもの力を発揮させるもの																
外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか																
障害者	性同一性障害者と人権																
感染症	エイズ(AIDS)は今																

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>テレビ番組放送</p> <p>府政ほっと情報!</p> <p>府政ほっと情報・増刊号! 【再掲】</p>	<p>12月</p> <p>8月</p>	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、テレビ放送を活用した人権啓発を実施</p> <p>〔内容〕</p> <p>8月(人権強調月間)及び12月(人権週間)において、人権問題を取り上げて構成した広報テレビ番組(5分間(12月)又は30分間(8月))(KBS京都)を放送</p> <p>8月:人権特集「障害者の人権を考える」</p> <p>12月:人権特集「女性の人権を考える」</p> <p>〔放送回数〕</p> <p>8月 1回(30分番組)</p> <p>12月 1回(5分番組)</p> <p>〔評価〕</p> <p>広報テレビ番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識</p> <p>人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた番組づくりを一層推進することが必要</p>	<p>広報課</p>
<p>テレビスポット放送</p>	<p>5月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>12月</p> <p>3月</p>	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、テレビ放送を活用した人権啓発を実施</p> <p>〔内容〕</p> <p>5月(憲法週間)、8月(人権強調月間)、9月(就職採用選考)、12月(人権週間)、3月(卒業・就職)において、各実施月に応じて構成した30秒のCMをKBS京都で放送</p> <p>〔放送回数〕</p> <p>5月、8月、9月、12月、3月 毎日1回、</p> <p>8月のみ1日2回</p> <p>〔評価〕</p> <p>さまざまな人権問題について、やさしくイメージ化したものを繰り返し放送することにより、効果が得られているものと認識</p> <p>人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れたCMづくりを一層推進することが必要</p>	<p>広報課</p>

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
テレビ番組放送 【京都人権情報】 【再掲】	10～3月	より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、映像を通してビジュアルに府民に人権に関する様々な情報等を提供する番組 【放送局】 KBS京都 【放送内容】 人権の擁護・啓発に関する活動を行っているNPO団体等の取組の紹介(番組名) 「竹田の子守唄」 「福祉の地域づくり女性交流会」 「第16回KY0のあけぼのフェスティバル」 「舞鶴学園」 「子育てサポーターグループ」 「ねこぼす」 「ワイワイクラブバンド」 「高齢者地域活性化促進事業」 「丹後福祉応援団」 「第1回アビリンピック京都大会出場の方」 「NPO法人京都肢体者協会車いす社交ダンス」 「NPO法人丹波マンガ記念館」 「京都府名誉友好大使」 「にほんご教室」 「世界はテマン」 「(社)京都犯罪被害者支援センター」 「ホームレスの人権」 「インターネットによる人権侵害とその対策」 「ユニバーサルデザイン」 「京都人権啓発フェスティバル」 「(財)世界人権問題研究センター」 「人権擁護委員会の活動」 「京都人権啓発推進会議」 【時間枠】 毎週日曜日 午前8時30分～45分(年末・年始を除く) 【評価】 様々な視点・立場から人権問題に取り組んでいる団体等の活動を取り上げることにより、人権についてより具体的に考える機会になるとともに、人権問題の解決へ向けて府民が主体的に取り組もうとする意識を高めることに役立ったと考えている。今後は、この番組等で紹介した団体間の連携が図れるようにしたい。	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ラジオ番組放送 [きょうとほっと情報]	5月 8月 9月 12月	より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、ラジオ放送を活用した人権啓発を実施 [内 容] 5月(憲法週間)、8月(人権強調月間)、9月(就職採用選考)、12月(人権週間)において、各実施月に応じて構成した1分の広報ラジオ番組(KBS京都)を放送 [放送回数] 5月:1回、8月:3回、9月:3回、12月:3回 5月:憲法と基本的人権について 8月:人権強調月間と基本的人権について 9月:就職差別をなくそう 12月:人権週間と基本的人権について [評 価] 府の行事や催しのお知らせの他、府政のさまざまな情報を解りやすく府民に紹介する広報ラジオ番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識 人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた番組づくりを一層推進することが必要	広 報 課
ラジオ番組放送 [Kyoto Prefecture Public Line]	8月 12月	より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、ラジオ放送を活用した人権啓発を実施 [内 容] 8月(人権強調月間)及び12月(人権週間)において、各実施月に応じて構成した2分の広報ラジオ番組(FM京都)を放送 [放送回数] 8月:1回、12月:1回 8月:人権強調月間 12月:人権週間 [評 価] 府の行事や催しのお知らせの他、府政の動きを解りやすく府民に紹介する広報ラジオ番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識 人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた番組づくりを一層推進することが必要	広 報 課

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ラジオ番組放送 〔Kyoto Prefecture Eyes〕	8月	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、ラジオ放送を活用した人権啓発を実施</p> <p>〔内容〕 8月の人権強調月間において、京都府の取組等を5分の広報ラジオ番組(KBS京都)で放送</p> <p>〔放送回数〕 1回</p> <p>〔評価〕 府職員が出演し、DJのインタビューにより府の取組を解りやすく紹介する広報ラジオ番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識</p> <p>人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた番組づくりを一層推進することが必要</p>	広報課
ラジオスポット放送	5月 8月 12月	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、ラジオ放送を活用した人権啓発を実施</p> <p>〔内容〕 5月(憲法週間)、8月(人権強調月間)、12月(人権週間)において、各実施月に応じて構成した30秒のスポット番組を放送(FM京都)</p> <p>〔放送回数〕 5月:7回、8月:12回、12月:14回</p> <p>5月-憲法週間 8月-人権強調月間と基本的人権について 9月-就職差別をなくそう 12月-人権週間と基本的人権について</p> <p>〔評価〕 重点施策やキャンペーンのスポット放送(広報)番組として一定定着した番組を活用しており、効果が得られているものと認識</p> <p>人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた内容づくりを一層推進することが必要</p>	広報課
ラジオスポット放送	12月	<p>より多くの府民に「人権」について主体的に考える契機となるよう、広範な府民に対する効果的な啓発を行うため、ラジオ放送を活用した人権啓発を実施</p> <p>〔内容〕 12月の人権週間をフォローする形で、冬休みを中心に若年層に、基本的人権の大切さを訴える内容の20秒のスポット番組を放送(KBS京都・FM京都)</p> <p>〔放送回数〕 KBS京都:42回、 FM京都:42回</p> <p>〔評価〕 特に若年層に対して繰り返し広報活動を行っており、効果が得られているものと認識</p> <p>人権を自分自身に関わる具体的な権利として認識を深めることができるよう、身近な問題を取り入れた内容づくりを一層推進することが必要</p>	広報課

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ラジオ番組放送 【京都人権情報】 【再掲】	4～9月	府民が「人権」について主体的に考える契機ときっかけとするため、人権に関する様々な情報をラジオを通じて府民に提供する番組 【放送局】 KBS京都 【放送内容】 人権の擁護・啓発に関する活動を行っている団体等の取組の紹介(番組名) 人権問題全般: 「人権擁護委員の活動」、「人権のタテの関係とヨコの関係」、「人権侵害の救済」、「ユニバーサルデザイン」、「自然環境保全と人権」 同和問題: 「現代に残る穢れ意識」、「穢れ意識と女人堂・加刈堂」 女性の人権: 「DV・ドメスティック・バイオレンス」、「ジェンダー」、「府立医大・女性専用外来」、「福祉の地域づくり女性交流会」、「第16回KYOのあけぼのフェスティバル」 子どもの人権: 「里親制度」、「子どもへの暴力」、「社会的ひきこもり」 高齢者の人権: 「高齢者の力を活かそう」、「SKYセンターの活動」、「高齢者虐待」 障害のある人の人権: 「聴覚言語障害者 共に生きる」、「全国手話研修センターコミュニティ 嵯峨野」 外国人の人権: 「外国人と国籍」、「多文化共生」、「京都府国際センターの活動」 患者等の人権: 「ハンセン病学習」、「感染症と人権」、「HIVとAIDS」 犯罪被害者の人権: 「犯罪被害者支援センターの活動」 性同一性障害: 「性同一性障害者と人権」 インターネットによる人権啓発: 「インターネットによる人権侵害とその対策」 【時間枠】 毎週金曜日 午後5時20分～30分 【評価】 日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題等を人権尊重の視点から解説したり、様々な視点・立場から人権問題に取り組んでいる団体等の活動を取り上げることにより、人権についてより具体的に考える機会になるとともに、人権問題の解決へ向けて府民が主体的に取り組もうとする意識を高めることに役立つと考えている。今後は、この番組等で紹介した団体間の連携が図れるようにしたい。	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)															
ひゅうまんシネマフェスタ	8月 (人権強調月間)	<p>小学生とその家族等を主な対象とし、人権強調月間に実施する映画上映会及び啓発パネル展 [上映作品等] 勇気あるホテルととべないホテル けるけるけるっぴ(友達っていいな) アイスエイジ</p> <p>パネル展 絵本「たろうのともだち」「ワニくんの大きな足」 啓発物品配布(じんけんぬりえ、絵本みんななかよし)</p> <p>[会場・開催日]</p> <table border="1" data-bbox="696 555 1491 699"> <tr> <td>8月3日(火)</td> <td>京田辺市立中央公民館 大ホール</td> <td>550人</td> </tr> <tr> <td>8月4日(水)</td> <td>みやづ歴史の館 文化ホール</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>8月9日(月)</td> <td>ガレリアかめおか 響ホール</td> <td>290人</td> </tr> <tr> <td>8月11日(水)</td> <td>福知山市民会館 ホール</td> <td>550人</td> </tr> <tr> <td>8月12日(木)</td> <td>宇治市文化センター 小ホール</td> <td>450人</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計2,240人(1,277人)</p> <p>[評価] 人気の高い作品を上映することにより、例年に比べて多くの参加を得ることができた。 子どもたちが人権について学び、家族や友人と語り合うのに相応しい作品選定に努めるとともに、良好な視聴環境等を確保できるよう運営の在り方を再点検することが必要。</p>	8月3日(火)	京田辺市立中央公民館 大ホール	550人	8月4日(水)	みやづ歴史の館 文化ホール	400人	8月9日(月)	ガレリアかめおか 響ホール	290人	8月11日(水)	福知山市民会館 ホール	550人	8月12日(木)	宇治市文化センター 小ホール	450人	人権啓発推進室
8月3日(火)	京田辺市立中央公民館 大ホール	550人																
8月4日(水)	みやづ歴史の館 文化ホール	400人																
8月9日(月)	ガレリアかめおか 響ホール	290人																
8月11日(水)	福知山市民会館 ホール	550人																
8月12日(木)	宇治市文化センター 小ホール	450人																

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
人権擁護啓発ポスターコンクール	募集期間 7～9月	<p>小・中・高校生がポスター制作を通じて、基本的人権に対する一層の理解を深め、人権尊重の精神を培うために実施する絵画作品のコンクールを実施</p> <p>知事賞受賞者は、京都人権啓発フェスティバルにおいて表彰。京都人権啓発推進会議構成団体各賞受賞者は、同表彰式において作品を紹介</p> <p>〔応募作品数〕 4,415点</p> <p>〔表彰〕</p> <p>知事賞 京都市長賞 京都府教育長賞 京都市教育長賞 京都府市長会会長賞 京都府町村会長賞 京都府人権擁護委員連合会長賞 京都商工会議所会頭賞 京都府商工会連合会会長賞 京都府中小企業団体中央会会長賞 京都府農業協同組合中央会会長賞 京都府社会福祉協議会会長賞</p> <p>優秀賞 各1点 佳作 32点 計104点</p> <p>〔作品展〕 京都市内含む府内7箇所で開催 標語コンクール優秀作品展と同時開催</p> <p>〔評価〕 近年(過去7年ほど)で最多の応募校数であり、特に高校生の応募数が初めて100点を越えた。(参加校数226校 昨年度比9校増)</p> <p>教育委員会と連携し、校長会等で、募集の呼びかけをしたことで、夏休み前に各学校で作品制作についての指導をしていただくことができ、応募作品のよさで効果があった。</p>	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)																														
みんなで創る人権五・七・五 標語コンクール	募集期間 7～9月	<p>人権尊重などを表した五・七・五形式の標語制作を通じて、多くの府民が人権について考える機会とするために実施する標語コンクールを実施 最優秀賞受賞者は京都人権啓発フェスティバルにおいて表彰。優秀賞受賞者は、同表彰式において作品を紹介 〔応募作品数〕 17,623点 〔表彰〕 一般の部 青少年の部 小学生の部 ごとに最優秀賞1点、優秀賞5点 佳作85点 計103点 〔作品展〕 京都市内含む府内7箇所で開催。優秀作品パネル展を順次開催 ポスターコンクール優秀作品展と同時開催 〔評価〕 青少年の部及び小学生の部を中心に多くの作品が集まり、過去最高の応募者・応募作品数となったが、一般の部における応募者が少なく工夫が必要。</p>	人権啓発推進室																														
ポスター・標語コンクール優 秀作品パネル展	通年	<p>ポスターコンクール及び標語コンクール入選作品を府内各所で展示 〔会場〕</p> <table border="1" data-bbox="696 869 1823 1169"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>開催地域</th> <th>実施会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/23～5/7</td> <td>京都市内</td> <td>京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)</td> </tr> <tr> <td>6/15～/21</td> <td>南丹広域振興局管内</td> <td>丹波マーケス(丹波町)</td> </tr> <tr> <td>7/21～/27</td> <td>中丹広域振興局管内</td> <td>さとう綾部店(綾部市)</td> </tr> <tr> <td>8/2～/20</td> <td>京都市内</td> <td>京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)</td> </tr> <tr> <td>9/27～10/1</td> <td>山城広域振興局管内</td> <td>ジャスコ久御山店(久御山町)</td> </tr> <tr> <td>10/20～/26</td> <td>丹後広域振興局管内</td> <td>宮津シーサイドマートミッブル(宮津市)</td> </tr> <tr> <td>1/17～/22</td> <td>京都市内</td> <td>ジャスコ洛南店(京都市)</td> </tr> <tr> <td>2/2～/8</td> <td>山城広域振興局管内</td> <td>平和堂アルプラザ木津(木津町)</td> </tr> <tr> <td>3/2～/8</td> <td>南丹広域振興局管内</td> <td>亀岡サティ(亀岡市)</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔展示物〕 ・ポスターコンクール入選作品 ・標語コンクール入選作品 ・新京都府人権教育・啓発推進計画パネル ・啓発資料(冊子・リーフレット) 〔評価〕 広域振興局単位で商業施設中心に開催することにより、多くの府民が作品に接し、人権について考える機会を広く提供することができた。</p>	実施期間	開催地域	実施会場	4/23～5/7	京都市内	京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)	6/15～/21	南丹広域振興局管内	丹波マーケス(丹波町)	7/21～/27	中丹広域振興局管内	さとう綾部店(綾部市)	8/2～/20	京都市内	京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)	9/27～10/1	山城広域振興局管内	ジャスコ久御山店(久御山町)	10/20～/26	丹後広域振興局管内	宮津シーサイドマートミッブル(宮津市)	1/17～/22	京都市内	ジャスコ洛南店(京都市)	2/2～/8	山城広域振興局管内	平和堂アルプラザ木津(木津町)	3/2～/8	南丹広域振興局管内	亀岡サティ(亀岡市)	人権啓発推進室
実施期間	開催地域	実施会場																															
4/23～5/7	京都市内	京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)																															
6/15～/21	南丹広域振興局管内	丹波マーケス(丹波町)																															
7/21～/27	中丹広域振興局管内	さとう綾部店(綾部市)																															
8/2～/20	京都市内	京都府庁第1号館ロビー(啓発パネル展として開催)																															
9/27～10/1	山城広域振興局管内	ジャスコ久御山店(久御山町)																															
10/20～/26	丹後広域振興局管内	宮津シーサイドマートミッブル(宮津市)																															
1/17～/22	京都市内	ジャスコ洛南店(京都市)																															
2/2～/8	山城広域振興局管内	平和堂アルプラザ木津(木津町)																															
3/2～/8	南丹広域振興局管内	亀岡サティ(亀岡市)																															

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
府庁舎におけるパネル展 (5月・8月 / 1号館)	5月 (憲法週間) 8月 (人権強調月間)	<p>憲法週間、人権強調月間の時期に来庁者に対して人権の大切さを広く訴えかけるため、人権問題に関するパネル等を府庁舎に展示</p> <p>〔会場〕 府庁第1号館ロビー</p> <p>〔期間〕 ・憲法週間：4月23日～5月7日 ・強調月間：8月2日～20日</p> <p>〔展示物等〕 5月(憲法週間)のみ ・「地球市民になろう」、世界人権宣言、「DV関係パネル」(A3縦 13枚) 8月(人権強調月間)のみ ・「シドニーパラリンピックパネル」(22枚)、「全国障害者スポーツ大会パネル」(20枚)</p> <p>5月・8月共通 ・ポスターコンクール入選作品 ・標語コンクール入選作品 ・世界人権宣言55周年京都アピール・パネル ・啓発資料</p> <p>ビデオ上映 8月(人権強調月間)のみ ・人権啓発テレビ番組「京都人権情報」(平成15年度放送19回分)</p> <p>〔評価〕 国連関係機関や庁内他部局の協力を得た資料展示や啓発テレビ番組を収録したビデオ上映を行うことにより、人権について様々な観点から紹介する機会となった。</p>	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
府庁舎におけるパネル展示 (通年 / 2 号館)	通年	<p>人権問題に関するパネル等の展示 [会 場] 府庁第 2 号館東側ロビー [展 示 物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界人権宣言 55 周年京都アピール(常設展示) ・平成 15 年度人権擁護啓発ポスターコンクール 1 2 団体賞複製パネル 4 月 知事賞・京都府教育長賞 5 月 京都市長賞 6 月 京都府市長会会長賞・京都府町村会長賞 7 月 京都府教育長賞・京都府商工会議所会頭賞 8 月 知事賞 9 月 京都府人権擁護委員連合会長賞・京都府商工会連合会会長賞 10 月 京都市長賞・京都府中小企業団体中央会会長賞 11 月 京都府農業協同組合中央会会長賞・京都府社会福祉協議会会長賞 12 月 京都府教育長賞 1 月 知事賞 2 月 京都市長賞 3 月 京都府教育長賞 ・第 2 回みんなで創る人権五・七・五標語コンクール優秀作品パネル(18 枚) 4 月 優秀賞(一般の部)・(青少年の部) 5 月 最優秀賞(一般の部)・優秀賞(小学生の部) 6 月 優秀賞(一般の部)・(小学生の部) 7 月 優秀賞(小学生の部)・優秀賞(小学生の部) 8 月 最優秀賞(青少年の部)・優秀賞(青少年の部) 9 月 優秀賞(小学生の部)・(一般の部) 10 月 優秀賞(青少年の部)・(小学生の部) 11 月 優秀賞(一般の部)・(青少年の部) 12 月 最優秀賞(小学生の部)・優秀賞(小学生の部) 1 月 最優秀賞(一般の部) 2 月 最優秀賞(青少年の部) 3 月 最優秀賞(小学生の部) ・新京都府人権教育・啓発推進計画パネル(2 月 ~) ・啓発資料(冊子・リーフレット) 人権ゆかりの地をたずねて・人権口コミ講座・21 世紀を人権の世紀にするために 絵本等 <p>[評 価] 本庁舎を活用した通年啓発を実施することにより、人権尊重に関するメッセージを継続的に発信することができた。引き続き、定期的に展示内容を更新するなど新鮮なイメージを保持することが必要。</p>	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
啓発ポスター作成・掲出	5月 (憲法週間) 8月 (人権強調週間)	<p>「憲法週間」、「人権強調週間」の節目に府民に人権について考えていただく契機とするため作成する啓発ポスター及び府内各地での掲出</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重に関するメッセージ ・写真、絵画等のデザイン <p>〔数量〕</p> <p>2,300枚</p> <p>〔配布先〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校 ・大型店舗・銀行等 <p>〔評価〕</p> <p>標語コンクールの入選作品をコピーとして活用した親しみやすいポスターを広範に掲出することにより、人権尊重に係る社会的気運を醸成することに役立った。</p>	人権啓発推進室
啓発ポスター作成・掲出	12月 (人権週間)	<p>「人権週間」の時期に府民に人権のついて考えていただく契機とするため「人権擁護啓発ポスターコンクール」知事賞作品及び「みんなで創る人権五・七・五標語コンクール」最優秀賞作品を活用し作成する啓発ポスター及び府内各地での掲出</p> <p>〔数量〕</p> <p>2,700枚</p> <p>〔配布先〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府(庁内関係課、地方機関、府立施設) ・各市町村 ・京都人権啓発推進会議構成団体 ・府内各学校 ・大型店舗・銀行等 <p>〔評価〕</p> <p>ポスターコンクール・標語コンクールの入選作品を活用した親しみやすいポスターを広範に掲出することにより、人権尊重に係る社会的機運を醸成することに役立った。</p>	人権啓発推進室
タクシー・公用車ステッカー広告	8月 (人権強調週間)	<p>「人権強調週間」に標語コンクール最優秀標語や「京都人権情報」ラジオ告知等を掲載したステッカーを作成し、タクシー・公用車へ掲出することによる広告</p> <p>〔数量〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー：車内掲出用・車外掲出用 / 2,000枚 ・公用車：車外掲出用 / 1,853枚 <p>〔評価〕</p> <p>標語コンクール入選作品を表示したステッカー府や市町村の公用車、タクシー等に広く掲出することにより、人権尊重に係る社会的機運を醸成することに役立った。</p>	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
鴨川納涼展	8月7日 (人権強調月間)	<p>人権強調月間の時期に府民が広く集う「鴨川納涼」会場においてコンクール(ポスター・標語)優秀作品等を展示</p> <p>〔会場〕 鴨川河川敷</p> <p>〔評価〕 環境問題に関する啓発イベントの機会をとらえて、人権啓発活動を行うことにより、従来、人権問題に対する関心が低い方々に対しても人権尊重のメッセージを届けることができた。</p>	人権啓発推進室
街頭啓発	8月1日 (人権強調月間) ほか 12月3日 (人権週間) ほか	<p>京都人権啓発推進会議構成団体等が連携して行う屋外啓発活動</p> <p>〔京都市内〕 京都人権啓発推進会議構成団体による啓発物品配布及び桃山高校吹奏楽部によるミニコンサート(8月)パレード(12月)を実施</p> <p>〔府広域振興局管内〕 各広域振興局ごとに編成した実施組織による取組として実施</p> <p>〔実施箇所数〕 8月：83箇所(参加者 956名) 12月：78箇所(1,072名)</p> <p>〔評価〕 府内の行政機関と経済団体・福祉関係団体が広く連携し、府民に人権尊重の理念を直接訴えかけることにより、人権尊重に係る社会的機運を醸成することに役立った。</p>	人権啓発推進室
人権啓発に関するホームページ	通 年	<p>京都府ホームページ(おこしやす京都)の「人権啓発に関するページ」掲載データの充実</p> <p>〔構成〕 新京都府人権教育・啓発推進計画 世界人権宣言55周年京都アピール 啓発冊子紹介(人権ゆかりの地をたずねて、人権口コミ講座、21世紀を人権の世紀にするために 全文PDFファイル化) 京都人権啓発推進会議(街頭啓発・人権啓発フェスティバル・ポスター・標語コンクール等) 府・市町村イベント紹介 等</p> <p>〔評価〕 事業計画の告知や実施状況の紹介を迅速に行うとともに、人権に関する様々なニュースソースとして内容を充実させることが必要。</p>	人権啓発推進室

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>京都人権啓発フェスティバル 2004 in やましろ の開催</p>	<p>12月5日</p>	<p>幅広い府民が人権問題について主体的に学ぶ機会となる親しみやすい総合イベントの開催 [主催] 京都人権啓発推進会議 京都人権啓発活動ネットワーク協議会 [期 日] 平成16年12月5日(日) [内 容] ・コンクール(ポスター・標語)表彰式 ・トークショー「自分に勝ってこそ人生の鉄人」野球解説者 衣笠祥雄 ・コンクール(ポスター・標語)優秀作品展 ・人権啓発パネル展 ・人権関係NPO法人等活動紹介(9団体参加展示コーナー/ステージ発表) ・地域芸能等紹介(3団体参加/ステージ発表) ・人権相談 ほか幅広い府民が人権問題について主体的に学ぶ機会となる親しみやすい総合イベントを市町村・NPO法人等と連携して開催 [会 場] 文化パルク城陽 [参加NPO等] (特)Aunjia(アウンジャ) (特)京都子どもセンター (特)京都コリアン生活センターエルファ (特)京都人権啓発センター (特)京都ケアドッグステーション (特)自由人権国民会議 (特)えがお (特)ピオトップネットワーク京都 京都授産振興センター 京都人権啓発推進会議 [参加者] 約2,200名 [評 価] 住民の主体的な意志により、人権問題に取り組んでいるNPO等の活動を紹介することにより、府民が人権問題の解決へ向けて主体的に取り組もうとする意識を高める一助となった。 また、分野の異なるNPO等が一堂に会してイベント運営に当たることで、NPO等の交流が深まり、新たな活動への広がりへ向けた展望を拓くことができた。 NPO等の参加が出展・出演に止まり、イベントの企画・運営にNPOが有するノウハウを活かしたり、行政とNPO等が相互に連携・協力する関係を築くまでに至らなかったことが今後の課題。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

(3) 効果的な手法による人権教育・啓発の実施

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
「京の府民大学」開設事業	前期 5月 後期 10月	京都府の生涯学習振興基本構想(京都OWN学習プラン)の具体化の一環として、府民が生涯学習に取り組みやすい環境を整備する。 〔内容〕 「京の府民大学」講座案内書の作成・配布 前期：12,000部 後期：10,000部 〔評価〕 配布時期になると府民からの問い合わせも多く、市町村から追加配布の要望もあるなど、府民に親しまれており、生涯学習に対する意識啓発にも寄与している。	スポーツ生涯学習室
生涯学習情報提供事業	通年	府民が生涯学習や生涯スポーツなどに取り組む上で必要な情報を、簡単にそしてリアルタイムに提供し、府民の自主的な学習やスポーツへの取り組みを支援する。 〔内容〕 インターネットにより講座・教室情報、施設情報、団体・グループ情報、人材情報等の生涯学習情報を提供 携帯電話からも情報の入手が可能 〔評価〕 豊富な情報を提供し、また、携帯電話からも講座・教室・イベント情報を調べることができるため、アクセス件数は月平均1,500件程度あるなど、府民への情報提供に大きく寄与し好評を得ている。	スポーツ生涯学習室
人権啓発地域活動事業	8月 (人権強調月間) ほか随時	各広域振興局が庁舎や地元産品などを活用して実施する啓発事業 〔内容〕 ・人権啓発標語看板付きプランター花壇の設置 ・地元産品を活用した啓発物品の作成 ・京都人権啓発フェスティバル・市町村のイベント等における資料展示 〔評価〕 広域振興局が管内の事情を踏まえ、様々な地域資源を活用して積極的な事業展開を図ることが必要。	人権啓発推進室
講演会・シンポジウム等補助	通年	人権問題に関する研究団体等が活動の成果等を活用して行う啓発活動に対して補助 〔対象事業〕 憲法と人権を考える集い等5事業 〔評価〕 民間の研修団対等の活動を支援することにより、府民に多様な啓発の機会を提供することができた。	人権啓発推進室
隣保館等職員研修事業補助	通年	隣保館職員等を対象に実施する研修事業に対して補助 〔評価〕 職員の資質向上を支援することにより、隣保館において効果的な人権啓発活動等を展開する一助となった。	人権啓発推進室

(4) 国、市町村、民間等との連携

事業名	実施時期	概要	担当
京都人権啓発活動ネットワーク協議会事業	通年	<p>京都人権啓発活動ネットワーク協議会（京都地方法務局、京都府人権擁護委員連合会及び京都府・京都市で構成）に参画して実施する啓発活動</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都人権啓発フェスティバルへの参画 ・府内における人権救済制度の在り方に関する研究 ・府民への情報提供（ホームページ開設） ・映画「ハードル」上映 <p>〔評価〕</p> <p>府内における人権救済制度のあり方について、認識を深めることができた。今後、具体化へ向けてさらに幅広く研究を進めることが必要。</p>	人権啓発推進室
財団法人京都府国際センター運営助成	-	<p>京都府国際化プランに基づき、地域の国際化を推進する（財）京都府国際センターの運営及び生活相談や初級日本語講座など外国籍府民支援、国際理解講座等の事業に対して助成</p> <p>（評価）</p> <p>（財）京都府国際センターの運営及び各事業に対して助成することにより、府民の異文化への理解の促進や、外国籍府民に対する人権意識の高揚並びに多文化共生社会の実現に寄与している。</p>	国際課
女性団体育成事業【再掲】	通年	<p>府内の広域的な女性団体が行う啓発事業、健康関連事業、ネットワーク促進事業等に対して助成</p> <p>〔助成対象〕</p> <p>6団体</p> <p>〔評価〕</p> <p>広域的な活動を行う女性団体の各種事業に助成することにより、女性団体のみならず、広く府民の人権意識の高揚に寄与している。</p>	女性政策課
男女共同参画計画推進事業【再掲】	通年	<p>新KYOのあけぼのプランを総合的・効果的に推進するために、関係機関と連携して行う諸施策を実施</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性政策推進本部・推進員会の開催（1回） 男女共同参画審議会の開催（3回） 女性団体懇話会の開催（1回） <p>〔評価〕</p> <p>庁内各部局と施策の総合的な調整を行い、また、審議会から、施策の方向性に関する意見を得ながら、広域女性団体とも連携することにより、男女共同参画の推進に寄与している。</p>	女性政策課

(4) 国、市町村、民間等との連携

事業名	実施時期	概要	担当
京都人権啓発行政連絡協議会事業【再掲】	11月12日	<p>京都人権啓発行政連絡協議会（京都地方法務局、近畿財務局京都財務事務所、京都労働局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿運輸局近畿地方整備局及び京都府・京都市で構成）が府内企業を対象に人権問題について正しい理解と認識を深めるために実施する企業向け研修会</p> <p>〔内容〕 講義：「互いを尊重しあえる時代へ」 丘乃 れい シナリオライター 啓発ビデオ上映：「残された日記」</p> <p>〔会場〕 京都会館第2ホール</p> <p>〔参加者〕 746人</p> <p>〔評価〕 国の関係機関等と共同して、企業内人権啓発推進員を対象とした、人権意識尊重の高揚を図るための研修を実施することにより、人権が尊重される職場づくりや公正な採用選考の実施へ向けた企業等の自主的な取組を支援することができた。</p>	人権啓発推進室
人権啓発活動再委託事業【再掲】	通年	<p>市町村が行う地域に密着したきめ細かい人権啓発の取組に対して行う財政支援（国庫委託による人権啓発活動の市町村への再委託）</p> <p>〔対象事業〕 講演会の開催 資料の作成・配布 放送番組の提供 新聞広告の掲載 研修会の開催 その他(イベント、啓発グッズ作成等)</p> <p>〔評価〕 市町村等が実施する人権教育・啓発施策に係る財源として、大きな役割を果たしている。 市町村との効果的な連携の促進が課題</p>	人権啓発推進室
人権問題啓発補助事業【再掲】	通年	<p>市町村が行う地域に密着したきめ細かい人権啓発の取組に対して行う財政支援（市町村の啓発事業に対する府の単独補助）</p> <p>〔対象事業〕 人権問題に関する講演会及び研修会 人権問題に関する啓発資料の作成 その他(知事特認事業)</p> <p>〔補助率〕 1/2</p> <p>〔評価〕 市町村等が実施する人権教育・啓発施策に係る財源として、大きな役割を果たしている。 市町村との効果的な連携の促進が課題</p>	人権啓発推進室

(4) 国、市町村、民間等との連携

【京都人権啓発推進会議実施事業】

〔構成団体：京都府 京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都府市長会 京都府町村会 京都府人権擁護委員連合会 京都商工会議所
京都府商工会連合会 京都府中小企業団体中央会 京都府農業協同組合中央会 京都府社会福祉協議会〕

事業名	担当
人権擁護啓発ポスターコンクール【再掲】(7月～9月)	人権啓発推進室
みんなで創る人権五・七・五標語コンクール【再掲】(7月～9月)	
鴨川納涼展【再掲】(8月)	
街頭啓発【再掲】(8月、12月)	
京都人権啓発フェスティバル2004 in やましろの開催【再掲】(12月)	
啓発ポスター作成【再掲】(12月)	
人権カレンダー作成【再掲】(12月)	
啓発しおり作成【再掲】(12月)	
啓発冊子作成〔21世紀を人権の世紀にするために〕【再掲】(12月)	
啓発冊子作成〔人権口コミ講座〕【再掲】(3月)	
ポスター・標語コンクール優秀作品パネル展【再掲】(通年)	
人権啓発に関するホームページ【再掲】(通年)	
講演会・シンポジウム等補助【再掲】(通年)	
隣保館等職員研修事業補助【再掲】(通年)	

(5) 調査・研究成果の活用

事業名	実施時期	概要	担当課(室)														
財団法人世界人権問題研究センター運営助成	通年	<p>同和問題や定住外国人の人権問題など総合的に調査研究する専門的研究機関である世界人権問題研究センターの研究活動の充実を図るとともに、研究成果が府民に還元されるよう、研究センターの運営に対しての助成</p> <p>〔評価〕 発足から取り組んでいる共同研究を中心とする調査・研究事業を継続、発展させるとともに、研究成果をなるべく広く、わかりやすい形で府民に知っていただくための講座の開設や機関誌の発行などを行っており、引き続き支援していく必要があると考える。</p>	企画総務課														
新聞意見広告 〔人権口コミ情報〕 【再掲】	12月1日 ～10日 (人権週間)	<p>人権週間の時期に(財)世界人権問題研究センターの研究者の協力を得て、人権に関する様々なカレントな話題を分かりやすく取り上げ、府民への関心提起をねらいとして行う新聞広告記事の掲載</p> <p>〔掲載紙〕 京都新聞</p> <p>〔段数〕 2段</p> <p>〔日数〕 10日間</p> <p>〔内容〕 <各回テーマ></p> <table border="1" data-bbox="734 869 1727 1078"> <tr> <td>全般</td> <td>エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年</td> </tr> <tr> <td>同和</td> <td>同和問題に関する意識の問題</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>子どもの力を発揮させるもの</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>外国人の犯罪は多いのでしょうか</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>性同一性障害者と人権</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>エイズ(AIDS)は今</td> </tr> </table> <p>〔評価〕 (財)世界人権問題研究センターの専門研究者により、日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題を人権尊重の視点から分かりやすく解説することにより、府民が人権について具体的に考える機会とすることができた。</p>	全般	エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年	同和	同和問題に関する意識の問題	女性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし	子ども	子どもの力を発揮させるもの	外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか	障害者	性同一性障害者と人権	感染症	エイズ(AIDS)は今	人権啓発推進室
全般	エバーグリーン/インターネットと「ネット差別」/人権教育のための国連10年																
同和	同和問題に関する意識の問題																
女性	女性犯罪被害者の人権/出生率と私たちの暮らし																
子ども	子どもの力を発揮させるもの																
外国人	外国人の犯罪は多いのでしょうか																
障害者	性同一性障害者と人権																
感染症	エイズ(AIDS)は今																

(5) 調査・研究成果の活用

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>人権啓発指導者養成研修会 【再掲】</p>	<p>8月20日 8月30日 11月18日 11月25日</p>	<p>(財)世界人権問題研究センターの協力を得て行う人権啓発を企画・実施する指導的人材を養成するため(財)世界人権問題研究センターの研究者による人権問題に係る研修会を実施</p> <p>〔概要〕 市町村管理職相当職員、府人権啓発指導員・推進員、京都人権啓発推進会議構成団体管理職相当職員等を対象とする研修会</p> <p>〔内容〕 新京都府人権教育・啓発推進計画に掲げる人権問題に関する識者の講義</p> <p>〔テーマ〕 「新しい視点から同和問題を考える」 石元 清英(関西大学社会学部教授) 「男女共同参画社会基本法の5年」 福田 雅子(ジャーナリスト) 外国籍府民の人権 仲尾 宏(京都造形芸術大学客員教授)</p> <p>〔会場〕 京都テルサ</p> <p>〔参加者〕392名(延べ) 内訳: 京都府 299名 市町村 77名 民間 16名</p> <p>〔評価〕 (財)世界人権問題研究センターの専門研究者の協力を得て、同和問題、女性、在日外国人の問題の中心的な課題について研修会を開催することができた。</p>	<p>人権啓発推進室</p>

(5) 調査・研究成果の活用

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
<p>研修所研修(人権問題研修) 【再掲】</p>	<p>6月 ~ 11月</p>	<p>人権尊重の理念や種々の人権問題の本質の理解と、現状・課題の認識を深め、問題解決に積極的に取り組む人権意識の高い職員を育成するため、職員研修所で実施する指導者研修について、(財)世界人権問題研究センターが主催する人権大学講座への参加により行った。</p> <p>〔内容〕 講義 〔対象〕 人権問題職場研修指導者 〔研修科目〕 痴呆カルテから-高齢者の人権を守る- 大國美智子(大阪後見支援センター所長) 情報化社会と人権-イタ-初事例から- 田畑 重志(三重県人権問題研究所調査研究員) アイヌと沖縄-その光と影- 佐々木高明(国立民俗学博物館名誉教授) 部落問題をどう伝えるか 石元 清英(関西大学社会学部教授) “うつ病の時代を生きる”-精神医学の立場から- 渡辺洋一郎((社)大阪精神科診療所協会会長) 職場の男女平等をもとめて-住友電工性差別訴訟の8年- 人権・文明・宗教“いのちの尊厳をみつめて 宮地 光子(弁護士) 山折 哲雄(国際日本文化研究センター所長) 信楽 峻磨(龍谷大学名誉教授) 上田 正昭((財)世界人権問題研究センター理事長) “人権救済”をどうすすめるのか-人権にやさしい社会を- 山崎 公士(新潟大学法科大学院教授) 深刻化する東南アジアの水問題-私たちの暮らしと水・環境- 神田 浩史(ODA改革ネットワーク世話人) 横田 洋三(中央大学法科大学院教授) 21世紀・人権確立のために人権とは? 丹羽 雅雄(弁護士) いま国連で「人権教育のための国連10年」とこれから 村上 正直(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)</p> <p>山崎 鈴子(名古屋市男女平等参画審議会委員) 山本 尚友((財)世界人権問題研究センター客員研究員) 「京都市同和地区実態調査」について エッセイ 集めざる女 つばやく男 -男女共同参画社会をめざす- 源 淳子((財)世界人権問題研究センター嘱託研究員) 金 時鐘(詩人) 「在日」を生きて「朝鮮」を生きて ｽﾗｲﾄﾞで見る川口の福祉-女性の社会的地位の向上と「福祉社会」の形成- 上掛 利博(京都府立大学福祉社会学部教授) 盲ろうのひとたちと ともに生きる京都・大阪・兵庫の活動からコミュニケーション法 入門 福島 令子 梅木 久代(京都盲ろう者の会会長) 門川紳一郎(視聴覚二重障害者福祉センターすまいる理事長) 吉田 正行(兵庫盲ろう者友の会会長) 福田 雅子((財)世界人権問題研究センター主任研究員)</p> <p>〔受研者〕 127名(延べ)</p>	<p>職員研修所</p>

(5) 調査・研究成果の活用

事業名	実施時期	概要	担当課(室)
ラジオ番組放送 【京都人権情報】 【再掲】	4～9月	府民が人権について主体的に考える契機ときっかけとするため、(財)世界人権問題研究センターの協力を得て人権に関する様々な情報をラジオ番組を通じて府民に提供 【放送局】 KBS京都 【放送内容】 人権の擁護・啓発に関する活動を行っている団体等の取組の紹介(番組名) 人権問題全般:「人権のタテの関係とヨコの関係」、「人権侵害の救済」 同和問題:「現代に残る穢れ意識」、「穢れ意識と女人堂・かつい堂」 女性の人権:「DV・ドメスティック・バイアス」、「ジェンダー」 子どもの人権:「里親制度」 高齢者の人権:「高齢者虐待」 障害のある人の人権:「聴覚障害者問題 共に生きる」 外国人の人権:「外国人と国籍」、「多文化共生」 患者等の人権:「感染症と人権」 【時間枠】 毎週金曜日 午後5時20分～30分 【評価】 日常生活の身近な出来事や社会的に関心の高まっている話題等を世界人権問題研究センターの専門研究者により人権尊重の視点から分かりやすく解説することにより、人権についてより具体的に考える機会になるとともに、人権問題の解決へ向けて府民が主体的に取り組もうとする意識を高めることに役立った。	人権啓発推進室